

**第5次亀岡市総合計画策定に係る
亀岡市まちづくりアンケート
【結果報告書】**

令和元年 12 月

亀 岡 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
3	報告書の見方	1
II	調査結果	2
1	回答者について	2
2	住みごこちや、まちづくりの取組について	5
3	男女共同参画について	21
4	防災・減災対策について	24
5	地域活動（コミュニティ活動）について	28
6	子育て支援、高齢者福祉、障がいのある人の支援について	46
7	社会教育について	52
8	文化政策について	54
9	環境について	57
10	交通網について	66
11	大学との連携について	69
12	行政との関わりについて	73
13	まちの将来について	75

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和3年度からの10年間を計画期間とする「第5次亀岡市総合計画」の策定に向けて、市内在住者からの意見や提案を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：亀岡市全域
- 調査対象者：18歳以上の市内居住者
- 抽出方法：住民基本台帳より3,000件を無作為抽出
- 調査期間：令和元年7月11日（木）～7月31日（水）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 回収結果

調査対象数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
3,000	976	32.5%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 平成26年度の調査結果と比較して、特徴のうかがえる結果については経年比較を行っています。その際、令和元年度調査を「今回調査」、平成26年度調査を「前回調査」と表記しています。

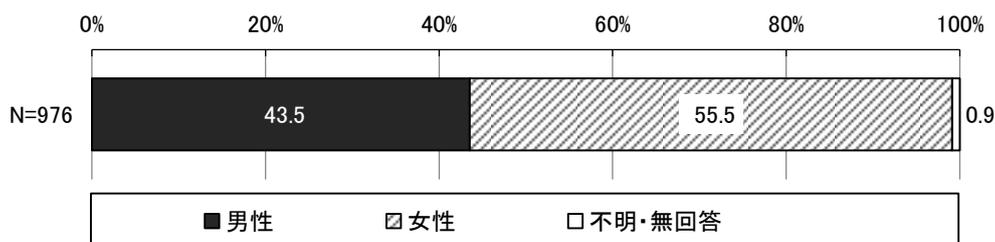
II 調査結果

1 回答者について

(1) 性別〈単数回答〉

〔問1 あなたの性別にあてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

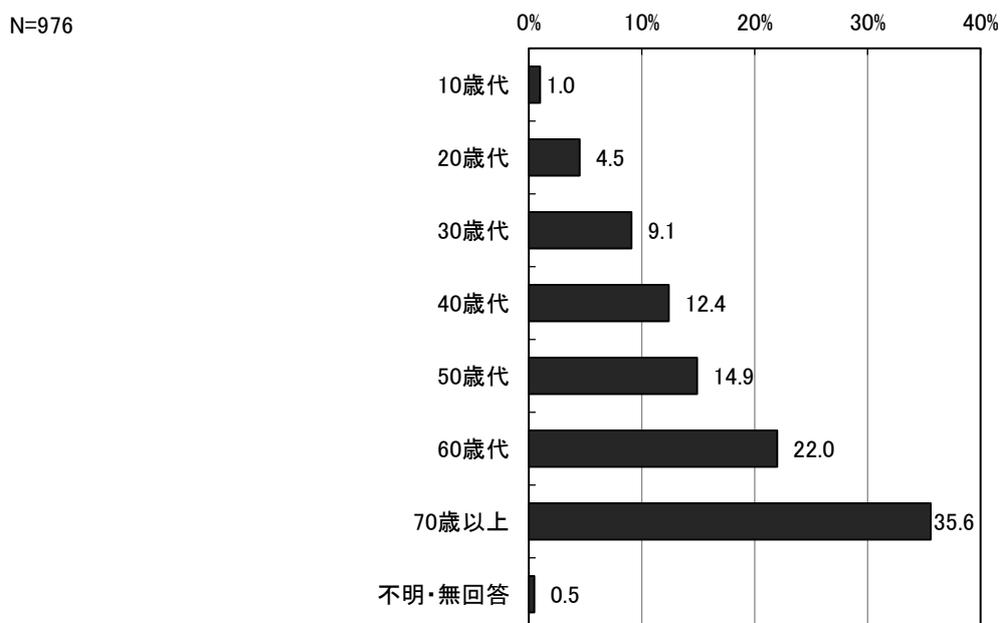
性別については、「男性」が43.5%、「女性」が55.5%となっており、女性が12.0ポイント高くなっています。



(2) 年代〈単数回答〉

〔問2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください（令和元年7月1日現在でお答えください）。〕

年代については、「70歳以上」が35.6%で最も高く、次いで「60歳代」が22.0%となっています。「60歳代」と「70歳以上」の合計が6割近くを占めていることから、調査結果の判断にあたって、場合によっては年齢層による偏りについて留意する必要があると考えられます。

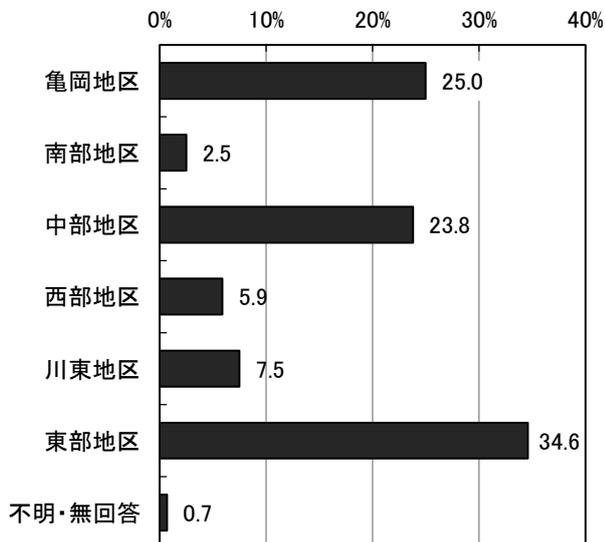


(3) お住まいの地域〈単数回答〉

〔問3 あなたのお住まいは次のどちらですか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

お住まいの地域については、「東部地区」が34.6%で最も高く、次いで「亀岡地区」が25.0%、「中部地区」が23.8%となっています。上位3地区を合算すると8割以上を占めています。

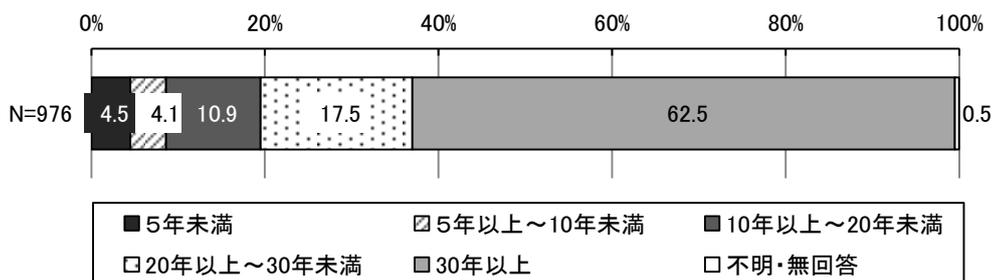
N=976



(4) 居住年数〈単数回答〉

〔問4 あなたはどのくらい亀岡市にお住まいですか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。(引越したことがある方は通算で。〕

居住年数については、「30年以上」が62.5%で最も高く、次いで「20年以上～30年未満」が17.5%となっています。20年以上の、比較的居住歴の長い方からの回答が8割を占めています。

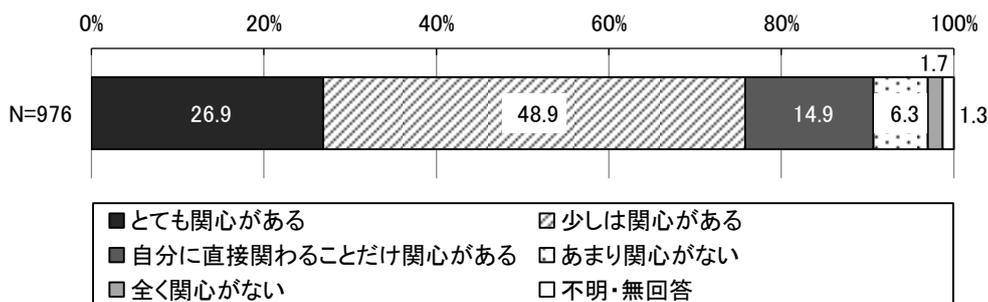


(5) 亀岡市内のまちづくりの計画や取組への関心〈単数回答〉

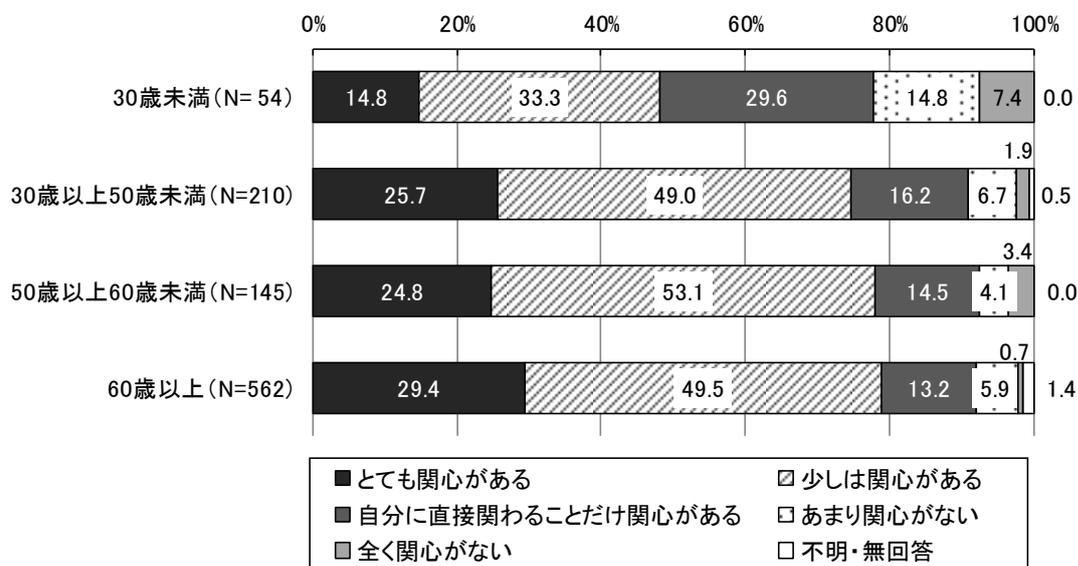
〔問5 あなたは、亀岡市内のまちづくりの計画や取組に関心をお持ちですか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

亀岡市内のまちづくりの計画や取組への関心については、「少しは関心がある」が48.9%で最も高く、次いで「とても関心がある」が26.9%となっています。

年代（4区分／30歳未満・30歳以上50歳未満・50歳以上60歳未満・60歳以上）別にみると、【30歳未満】で「自分に直接関わることだけ関心がある」『関心がない（「あまり関心がない」と「全く関心がない」の合計）』が他の年代より高くなっています。



《年代別クロス集計》



2 住みごこちや、まちづくりの取組について

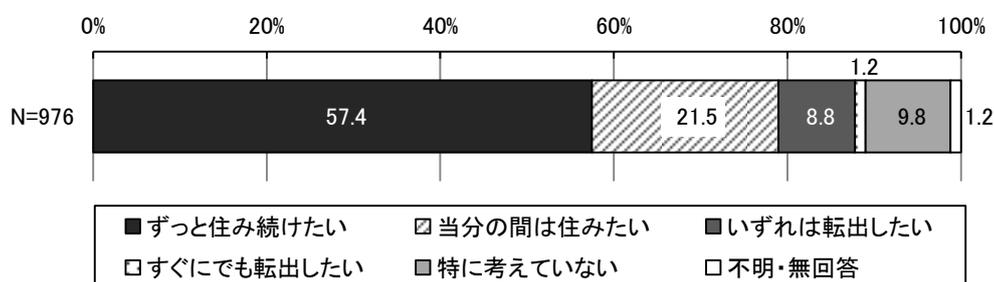
(1) 亀岡市での定住意向〈単数回答〉

〔問6 あなたはこれからも亀岡市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

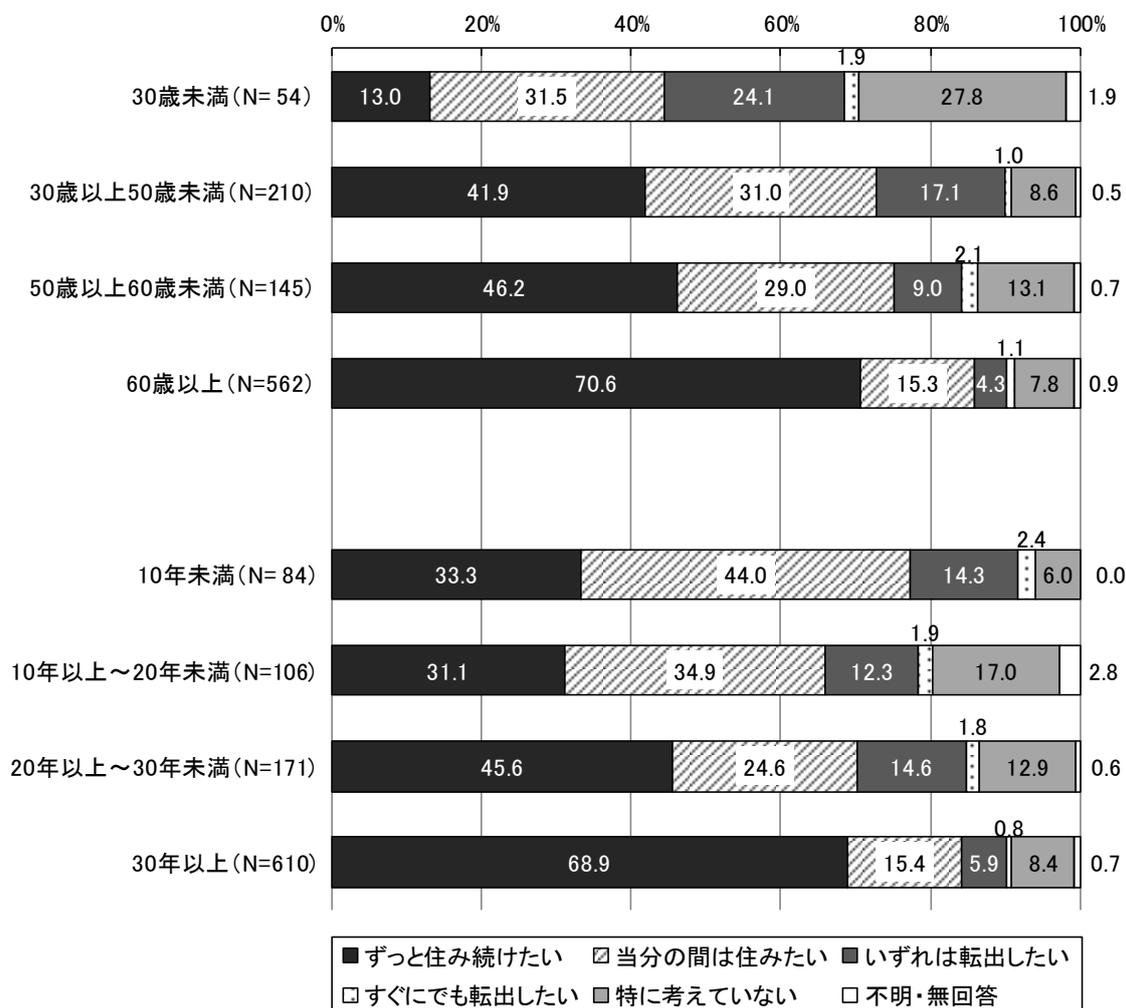
亀岡市での定住意向については、「ずっと住み続けたい」が57.4%で最も高く、次いで「当分の間は住みたい」が21.5%となっています。

年代別にみると、『住み続けたい（「ずっと住み続けたい」と「当分の間は住みたい」の合計）』については、年齢が上がるにつれて概ね高くなっています。

居住年数（4区分／10年未満・10年以上～20年未満・20年以上～30年未満・30年以上）別にみると、【30年以上】で「転出したい」が他の居住年数区分より低くなっています。



《年代別・居住年数別クロス集計》



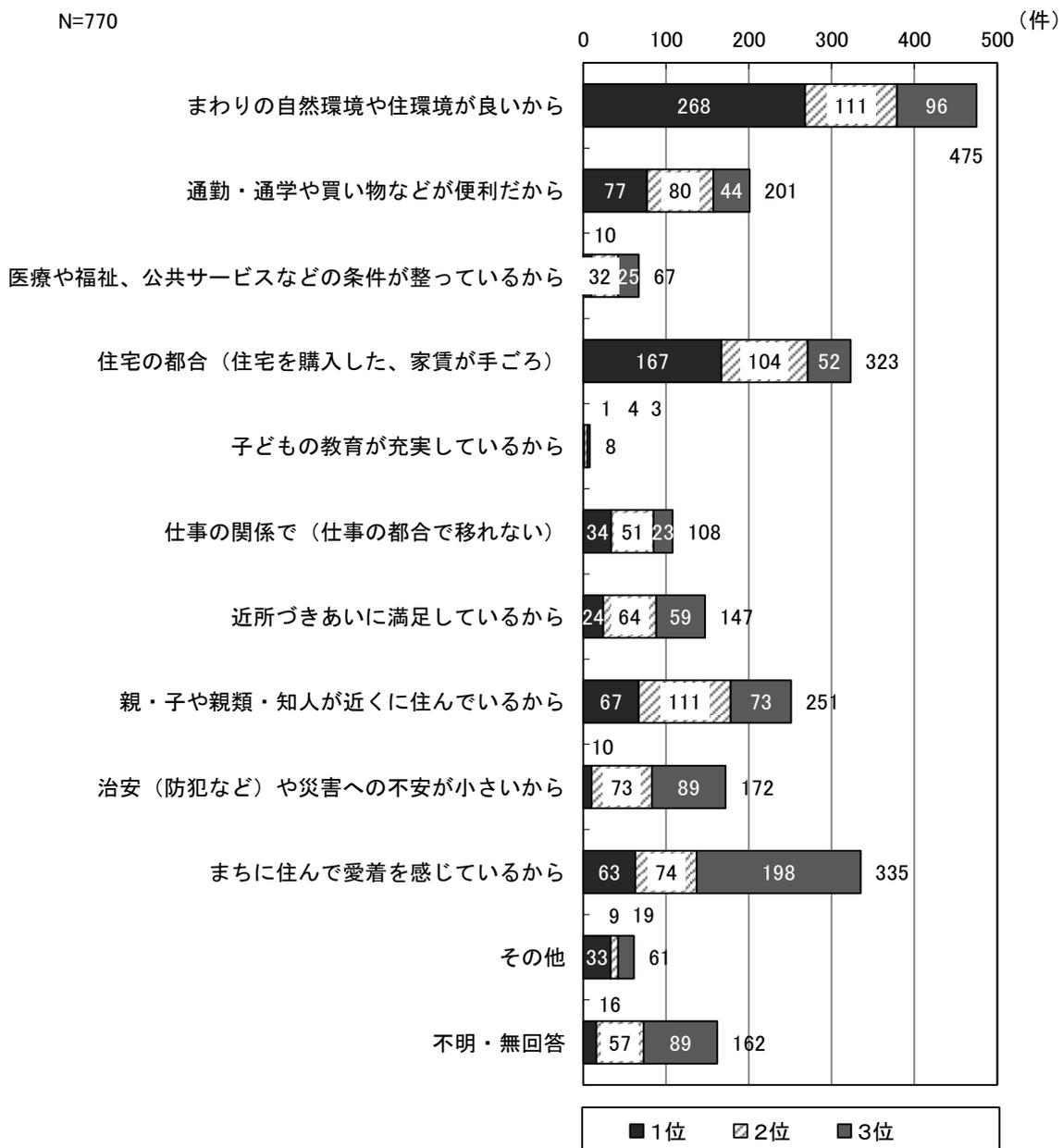
(1) で「ずっと住み続けたい」「当分の間は住みたい」を選んだ方

(2) 亀岡市に定住したい理由〈1位から3位まで回答〉

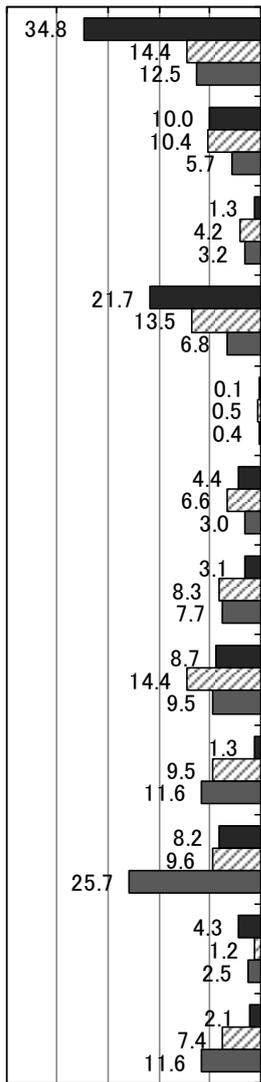
〔問7 問6で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間は住みたい」とお答えの方で、住みたい理由は何ですか。特に大きな理由を第1位から第3位まで番号を選んで、右欄にご記入ください。「11 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

住み続けたい人にその理由を第1位から第3位まで聞いたところ、「まわりの自然環境や住環境が良いから」を1～3位いずれかに選択した方が最も多く、計475件となっています。次いで、「まちに住んで愛着を感じているから」が計335件、「住宅の都合（住宅を購入した、家賃が手ごろ）」が計323件となっています。

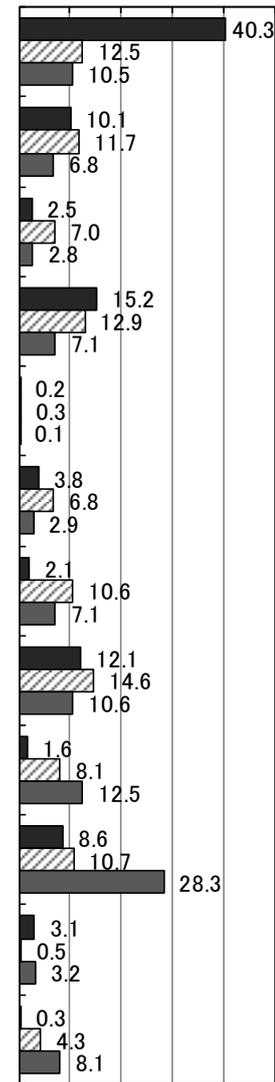
前回調査との比較では、第1位で選ばれた「住宅の都合（住宅を購入した、家賃が手ごろ）」については、6.5ポイント増加しています。



今回調査(N=770)
50% 40% 30% 20% 10% 0%



前回調査(N=869)
0% 10% 20% 30% 40% 50%



■ 1位 □ 2位 ■ 3位

(1) で「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」を選んだ方

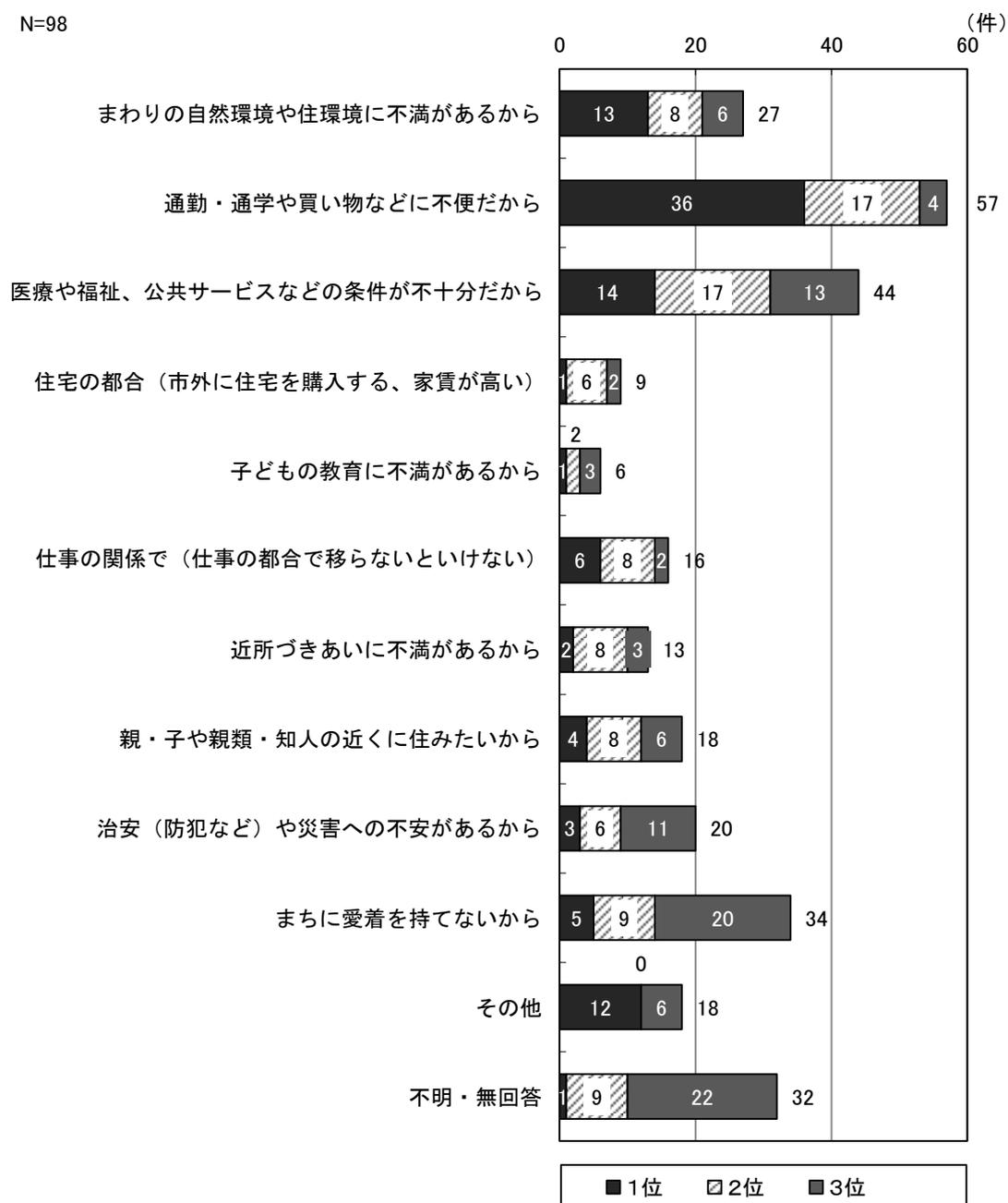
(3) 住み替えたい理由〈1位から3位まで回答〉

〔問8 問6で「3 いずれは転出したい」「4 すぐにでも転出したい」とお答えの方で、住み替えたい理由は何ですか。特に大きな理由を第1位から第3位まで番号を選んで、右欄にご記入ください。「11 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

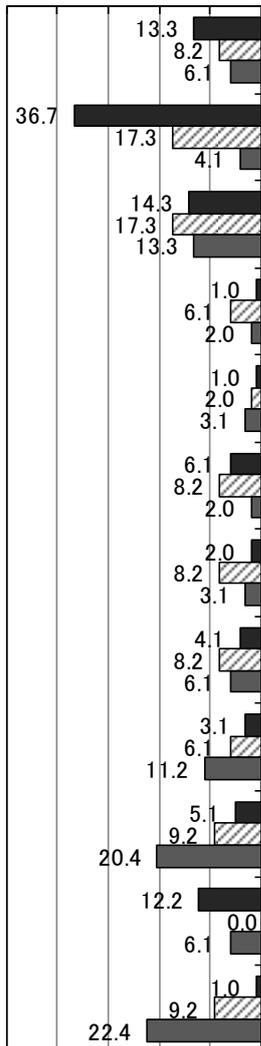
住み替えたい人にその理由を第1位から第3位まで聞いたところ、「通勤・通学や買い物などに不便だから」を1～3位いずれかに選択した方が最も多く、計57件となっています。次いで、「医療や福祉、公共サービスなどの条件が不十分だから」が計44件、「まちに愛着を持ってないから」が計34件となっています。

前回調査との比較では、第2位で選ばれた「医療や福祉、公共サービスなどの条件が不十分だから」については7.4ポイント、第3位に選ばれた「通勤・通学や買い物などに不便だから」については8.9ポイント、それぞれ減少しています。

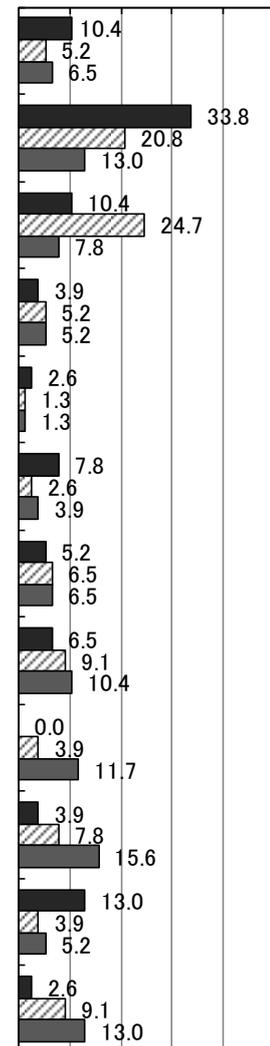
N=98



今回調査(N=98)
50% 40% 30% 20% 10% 0%



前回調査(N=77)
0% 10% 20% 30% 40% 50%



■ 1位 □ 2位 ■ 3位

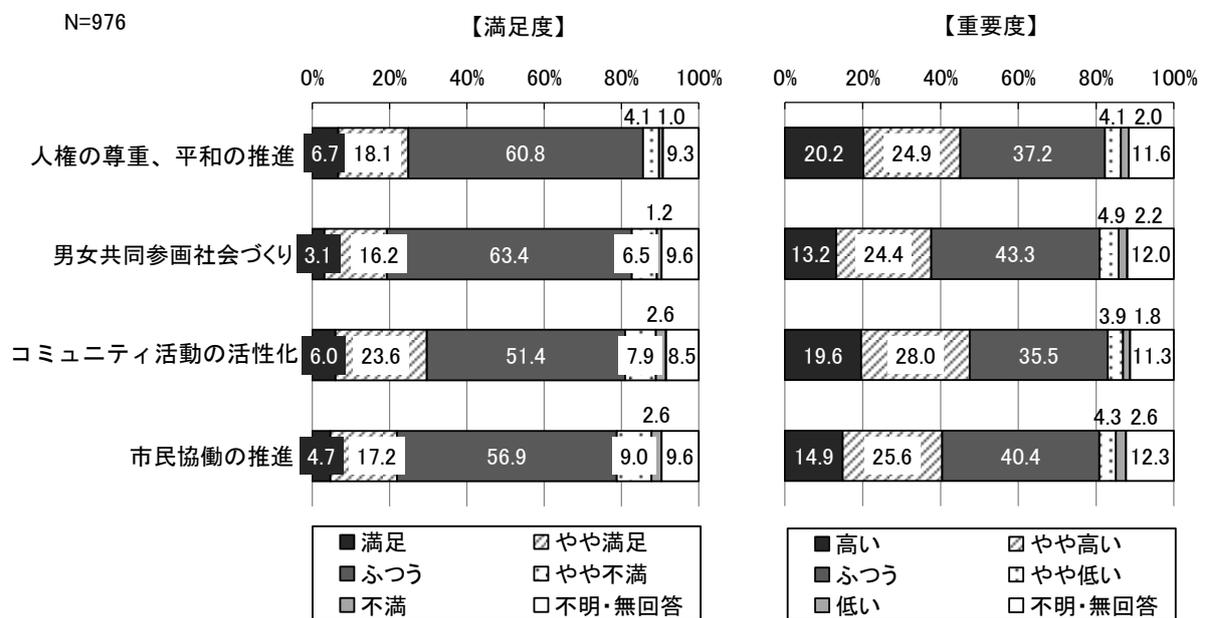
(4) まちの住みごこちやまちづくりについての満足度・重要度〈単数回答〉

〔問9 あなたは、まちの住みごこちやまちづくりについて、日頃どのように感じたり、評価しておられますか。また、今後の重要性について、どのようにお考えですか。回答例にならって、今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

(4) - 1 人権やコミュニティに関すること〈単数回答〉

当該項目内における満足度についてみると、『満足（「満足」と「やや満足」の合計）』は【コミュニティ活動の活性化】が29.6%で最も高く、次いで【人権の尊重、平和の推進】が24.8%となっています。『不満（「不満」と「やや不満」の合計）』は【市民協働の推進】が11.6%で最も高くなっています。

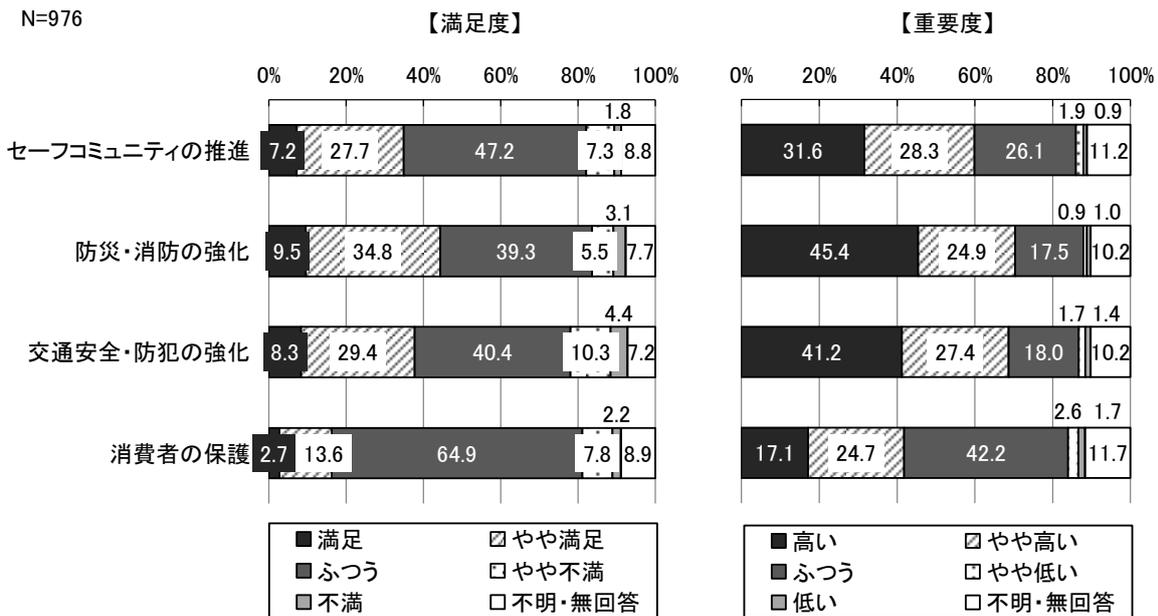
重要度についてみると、『高い（「高い」と「やや高い」の合計）』は【コミュニティ活動の活性化】が47.6%で最も高くなっており、次いで【人権の尊重、平和の推進】が45.1%となっています。また、当該項目内で重要度の最も低い【男女共同参画社会づくり】は、最も高い【コミュニティ活動の活性化】と比べて10.0ポイント低くなっています。



(4) - 2 まちの安全や安心に関すること〈単数回答〉

当該項目内における満足度についてみると、『満足』は【防災・消防の強化】が44.3%で最も高く、次いで【交通安全・防犯の強化】が37.7%となっています。『不満』は【交通安全・防犯の強化】が14.7%で最も高くなっています。

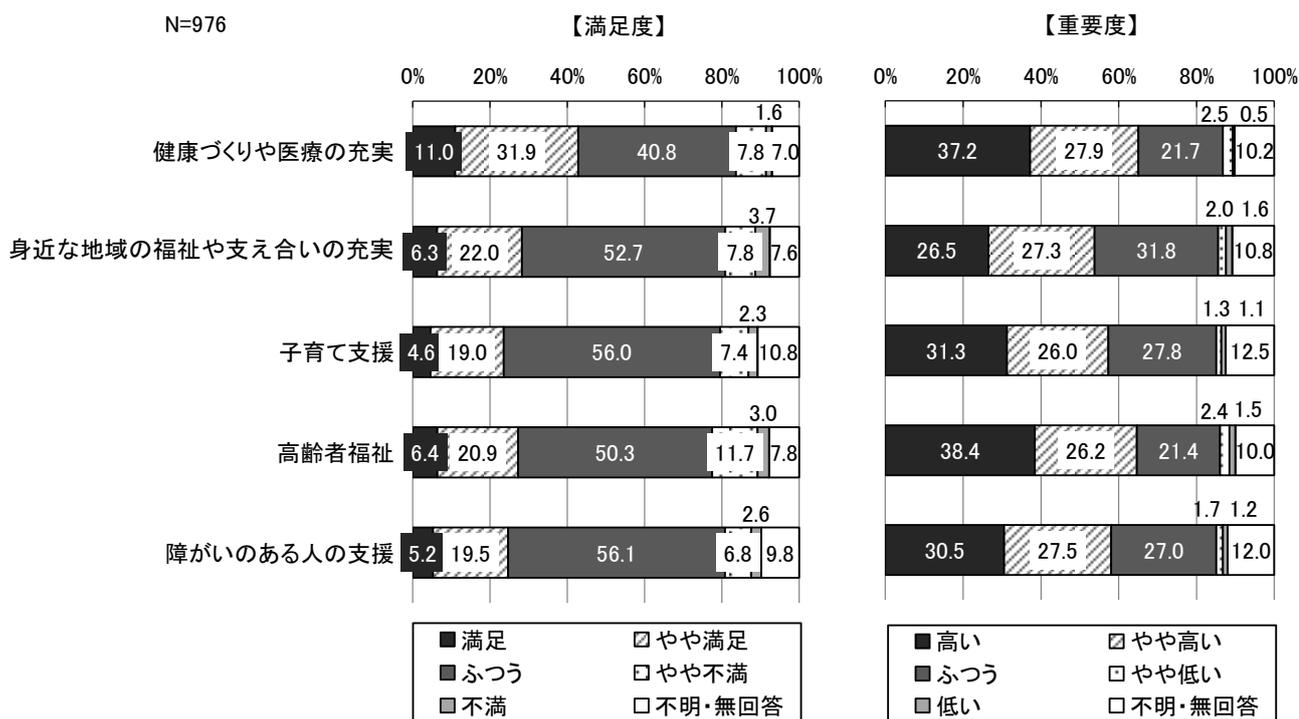
重要度についてみると、『高い』は【防災・消防の強化】が70.3%で最も高くなっており、次いで【交通安全・防犯の強化】が68.6%となっています。また、当該項目内で重要度の最も低い【消費者の保護】は、最も高い【防災・消防の強化】と比べて28.5ポイント低くなっています。



(4) - 3 健康づくりや福祉に関すること〈単数回答〉

当該項目内における満足度についてみると、『満足』は【健康づくりや医療の充実】が42.9%で最も高く、次いで【身近な地域の福祉や支え合いの充実】が28.3%となっています。『不満』は【高齢者福祉】が14.7%で最も高くなっています。

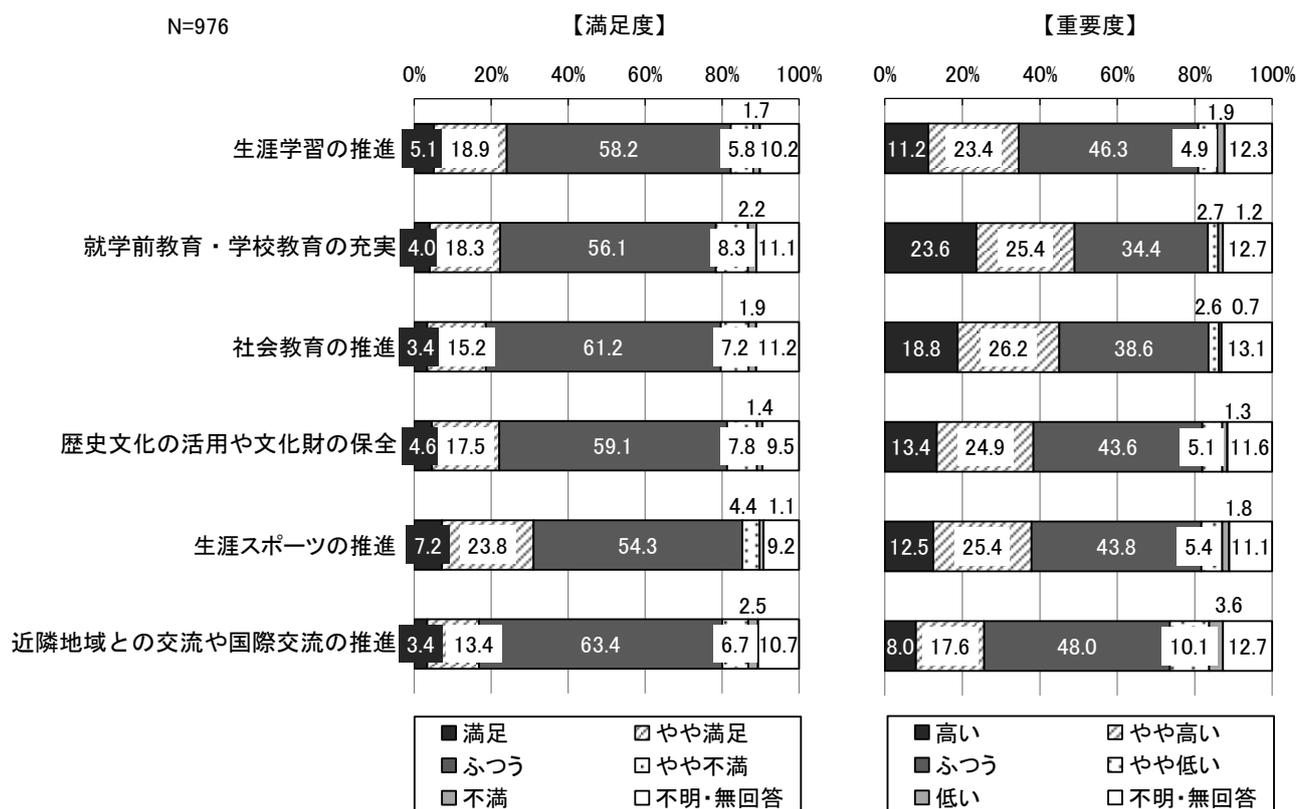
重要度についてみると、『高い』は【健康づくりや医療の充実】が65.1%で最も高くなっており、次いで【高齢者福祉】が64.6%となっています。また、当該項目内で重要度の最も低い【身近な地域の福祉や支え合いの充実】は、最も高い【健康づくりや医療の充実】と比べて11.3ポイント低くなっています。



(4) - 4 学習・教育・文化に関すること〈単数回答〉

当該項目内における満足度についてみると、『満足』は【生涯スポーツの推進】が31.0%で最も高く、次いで【生涯学習の推進】が24.0%となっています。『不満』は【就学前教育・学校教育の充実】が10.5%で最も高くなっています。

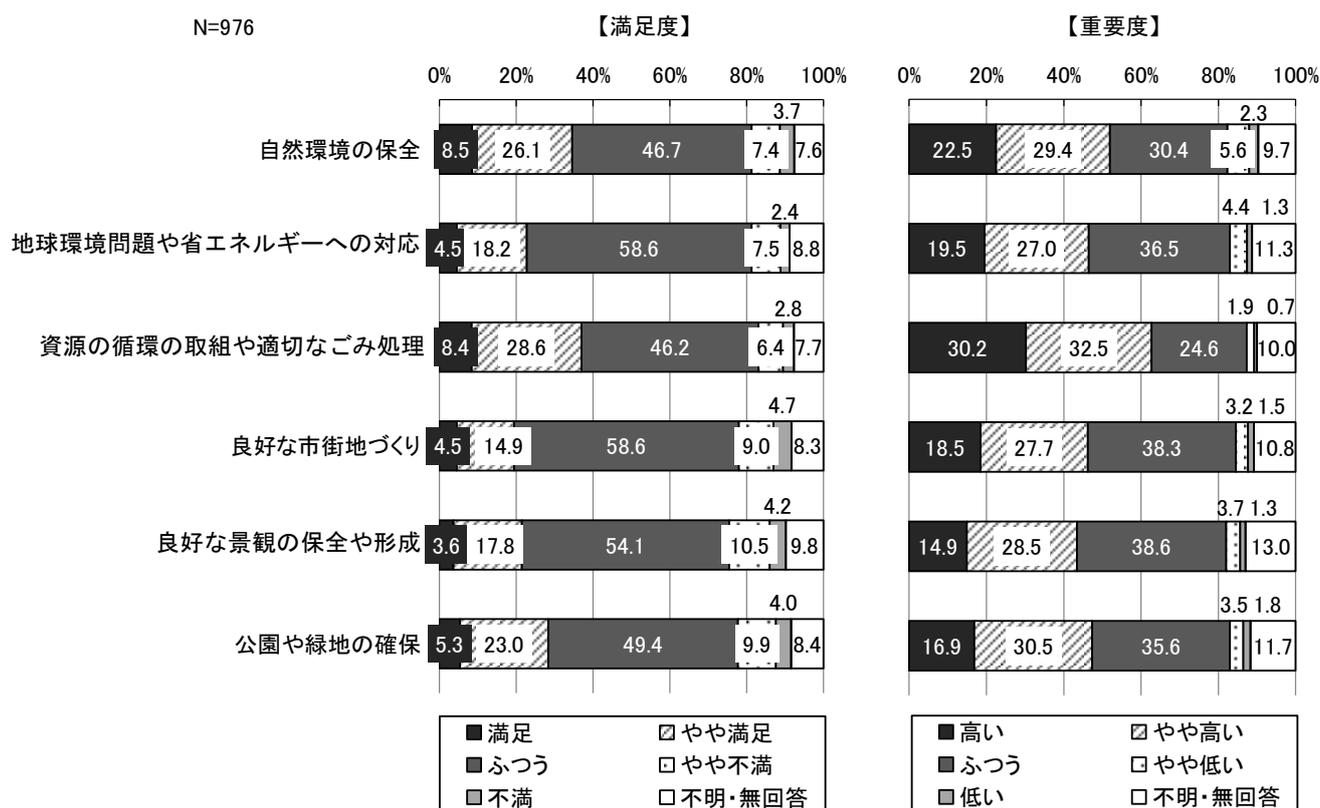
重要度についてみると、『高い』は【就学前教育・学校教育の充実】が49.0%で最も高くなっており、次いで【社会教育の推進】が45.0%となっています。また、当該項目内で重要度の最も低い【近隣地域との交流や国際交流の推進】は、最も高い【就学前教育・学校教育の充実】と比べて23.4ポイント低くなっています。



(4) - 5 地球環境や資源・景観に関すること〈単数回答〉

当該項目内における満足度についてみると、『満足』は【資源の循環の取組や適切なごみ処理】が37.0%で最も高く、次いで【自然環境の保全】が34.6%となっています。『不満』は【良好な景観の保全や形成】が14.7%で最も高くなっています。

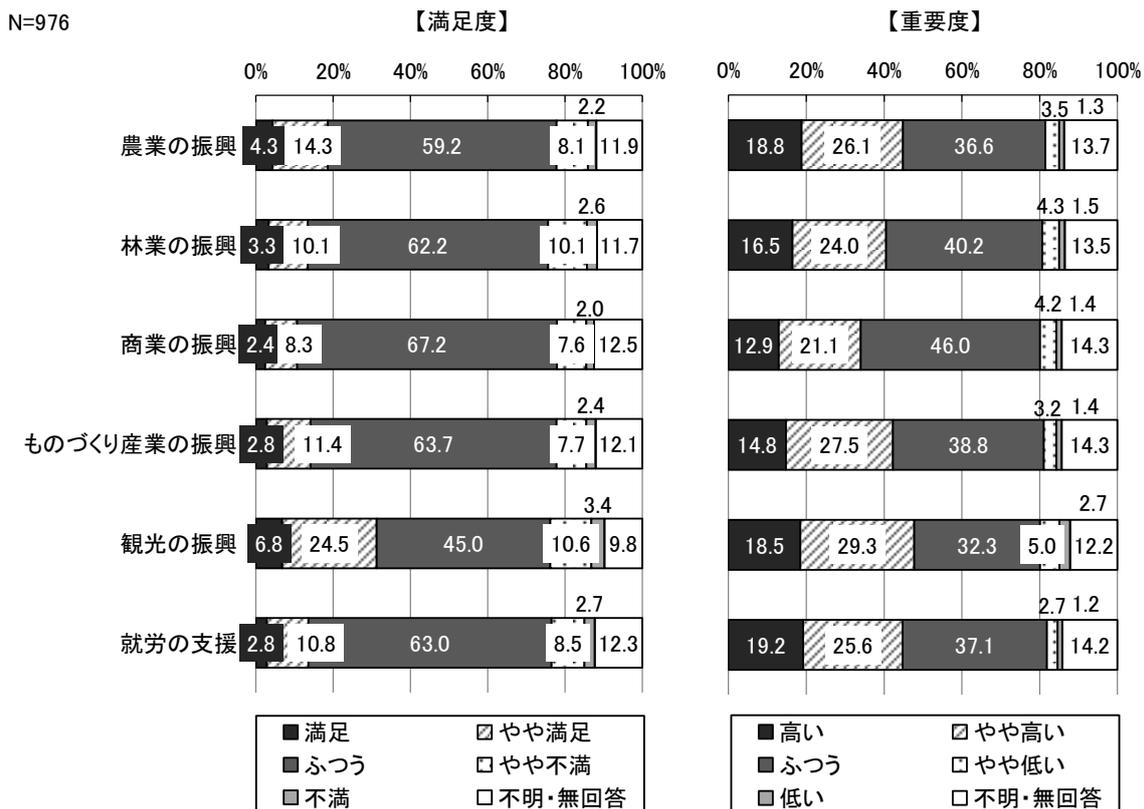
重要度についてみると、『高い』は【資源の循環の取組や適切なごみ処理】が62.7%で最も高くなっており、次いで【自然環境の保全】が51.9%となっています。また、当該項目内で重要度の最も低い【良好な景観の保全や形成】は、最も高い【資源の循環の取組や適切なごみ処理】と比べて19.3ポイント低くなっています。



(4) - 6 産業やにぎわいづくりに関すること〈単数回答〉

当該項目内における満足度についてみると、『満足』は【観光の振興】が31.3%で最も高く、次いで【農業の振興】が18.6%となっています。『不満』についても【観光の振興】が14.0%で最も高くなっています。

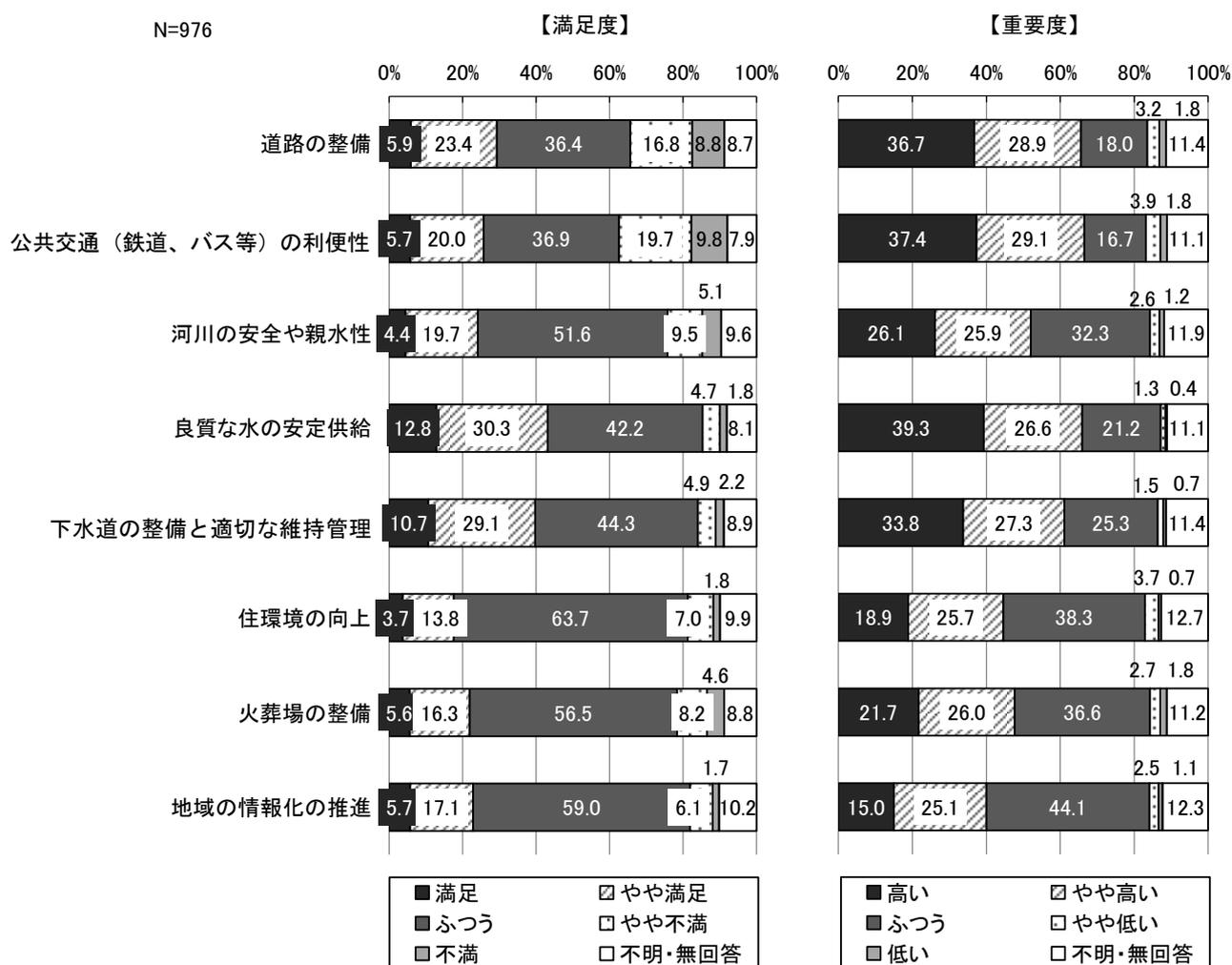
重要度についてみると、『高い』は【観光の振興】が47.8%で最も高くなっており、次いで【農業の振興】が44.9%となっています。また、当該項目内で重要度の最も低い【商業の振興】は、最も高い【観光の振興】と比べて13.8ポイント低くなっています。



(4) - 7 生活の利便性や快適さに関すること〈単数回答〉

当該項目内における満足度についてみると、『満足』は【良質な水の安定供給】が43.1%で最も高く、次いで【下水道の整備と適切な維持管理】が39.8%となっています。『不満』は【公共交通（鉄道、バス等）の利便性】が29.5%で最も高くなっています。

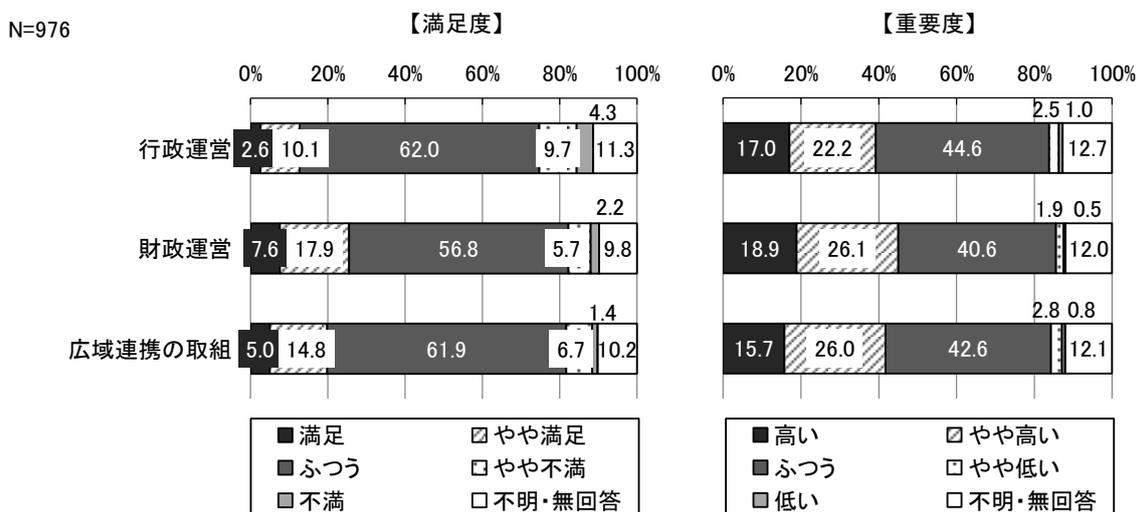
重要度についてみると、『高い』は【公共交通（鉄道、バス等）の利便性】が66.5%で最も高くなっており、次いで【良質な水の安定供給】が65.9%となっています。また、当該項目内で重要度の最も低い【地域の情報化の推進】は、最も高い【公共交通（鉄道、バス等）の利便性】と比べて26.4ポイント低くなっています。



(4) - 8 行財政に関すること〈単数回答〉

当該項目内における満足度についてみると、『満足』は【財政運営】が25.5%で最も高く、次いで【広域連携の取組】が19.8%となっています。『不満』は【行政運営】が14.0%で最も高くなっています。

重要度についてみると、『高い』は【財政運営】が45.0%で最も高くなっており、次いで【広域連携の取組】が41.7%となっています。



(4) - 9 全体について

全42項目の中で『満足（「満足」と「やや満足」の合計）』についてみると、【防災・消防の強化】が44.3%で最も高く、次いで【良質な水の安定供給】が43.1%、【健康づくりや医療の充実】が42.9%となっています。

その一方、低い項目としては、【商業の振興】が10.7%で最も低く、次いで【行政運営】が12.7%、【林業の振興】が13.4%となっています。

『不満（「不満」と「やや不満」の合計）』についてみると、【公共交通（鉄道、バス等）の利便性】が29.5%で最も高く、次いで【道路の整備】が25.6%、【交通安全・防犯の強化】【良好な景観の保全や形成】【高齢者福祉】がともに14.7%となっています。

その一方、低い項目としては、【人権の尊重、平和の推進】が5.1%で最も低く、次いで【生涯スポーツの推進】が5.5%、【良質な水の安定供給】が6.5%となっています。

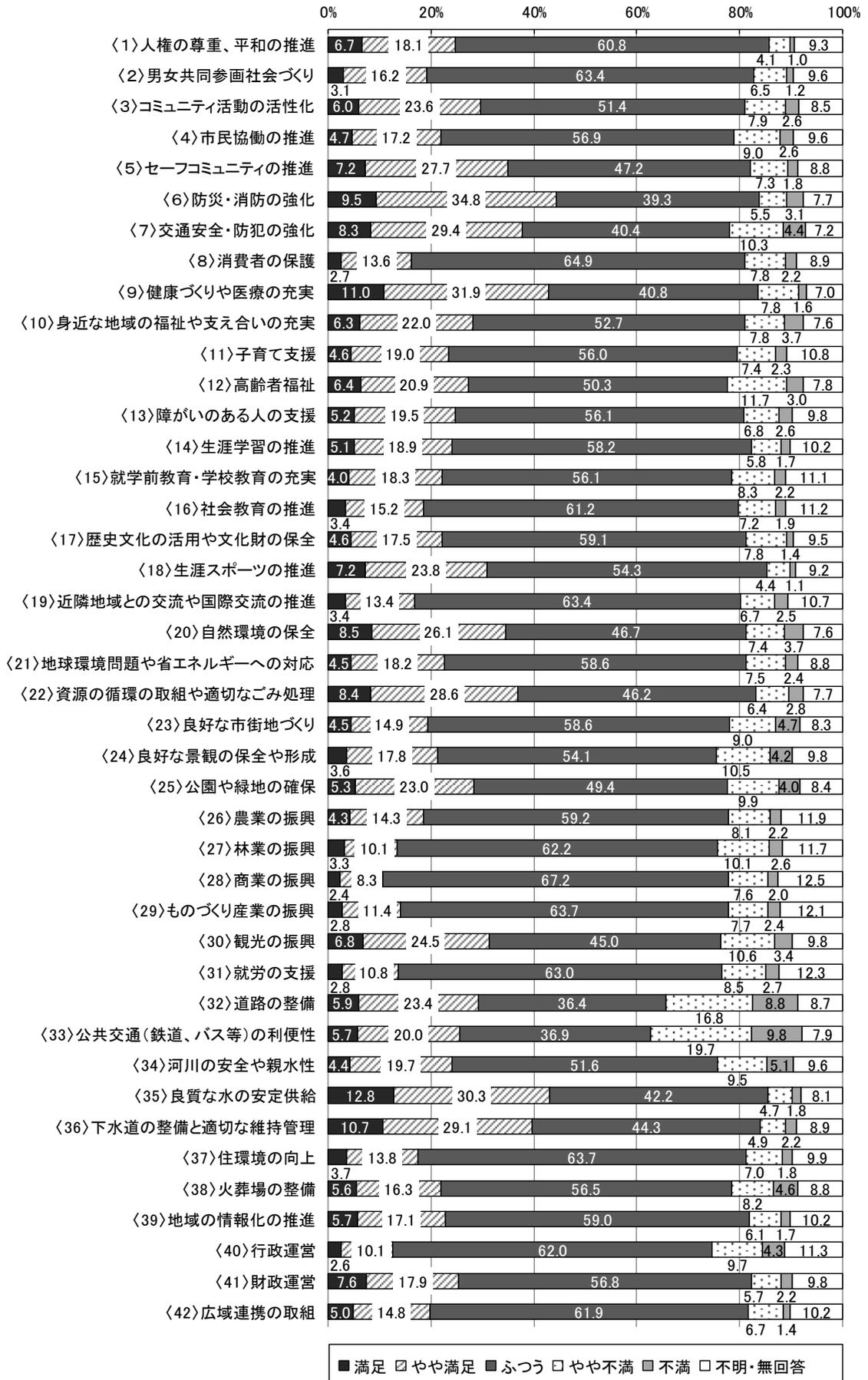
重要度における『高い（「高い」と「やや高い」の合計）』についてみると、【防災・消防の強化】が70.3%で最も高く、次いで【交通安全・防犯の強化】が68.6%、【公共交通（鉄道、バス等）の利便性】が66.5%となっています。

その一方、低い項目としては、【近隣地域との交流や国際交流の推進】が25.6%で最も低く、次いで【商業の振興】が34.0%、【生涯学習の推進】が34.6%となっています。

※なお、重要度における『低い（「低い」と「やや低い」の合計）』については、ほぼすべての項目において「不明・無回答」が上回っている（【近隣地域との交流や国際交流の推進】においてのみ、『低い』が「不明・無回答」より1.0ポイント高い）ため、詳細な分析は行っていません。

【満足度】

N=976



【重要度】

N=976



【満足度上位】

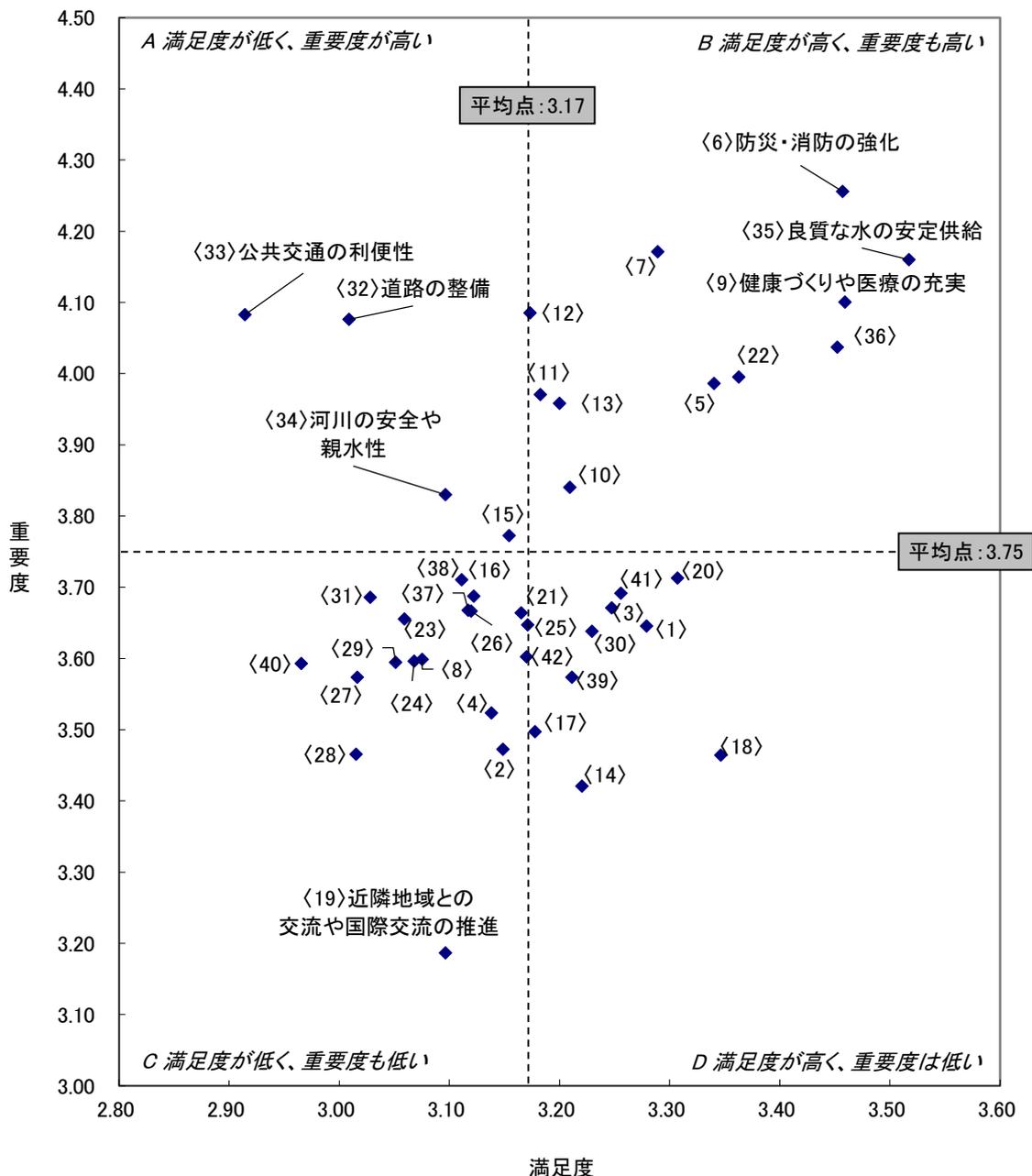
選択項目	係数
〈35〉 良質な水の安定供給	3.52
〈9〉 健康づくりや医療の充実	3.46
〈6〉 防災・消防の強化	3.46
〈36〉 下水道の整備と適切な維持管理	3.45
〈22〉 資源の循環の取組や適切なごみ処理	3.36

【重要度上位】

選択項目	係数
〈6〉 防災・消防の強化	4.26
〈7〉 交通安全・防犯の強化	4.17
〈35〉 良質な水の安定供給	4.16
〈9〉 健康づくりや医療の充実	4.10
〈12〉 高齢者福祉	4.09

※「係数」は、満足度・重要度の5段階評価について、「満足」「高い」を5点、「不満」「低い」を1点として算出した平均値。全回答が「普通」と答えると、係数は3.0となる。

(4) - 10 散布図としての把握



3 男女共同参画について

(1) 固定的な性別役割分担意識について〈単数回答〉

〔問 10 男女共同参画社会を実現するため、市民の皆さんとともに様々な事業に取り組んでいます。あなたは、「男は仕事、女は家庭のことを主として担うべきだ」という考え方について、どう思いますか。次のうちから番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

男は仕事、女は家庭のことを主として担うべきだという固定的な性別役割分担意識については、「そう思わない」が 56.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.2%となっています。

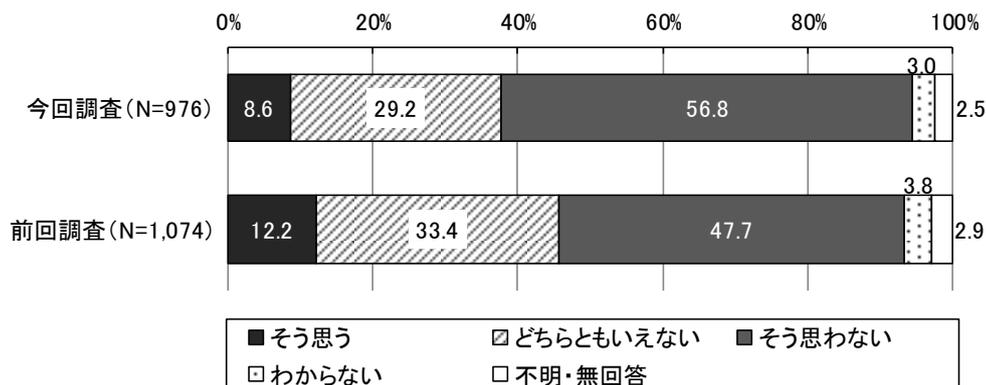
前回調査との比較では、「そう思わない」について、9.1 ポイント増加しています。

男女別にみると、いずれの回答も大きな差はみられません。

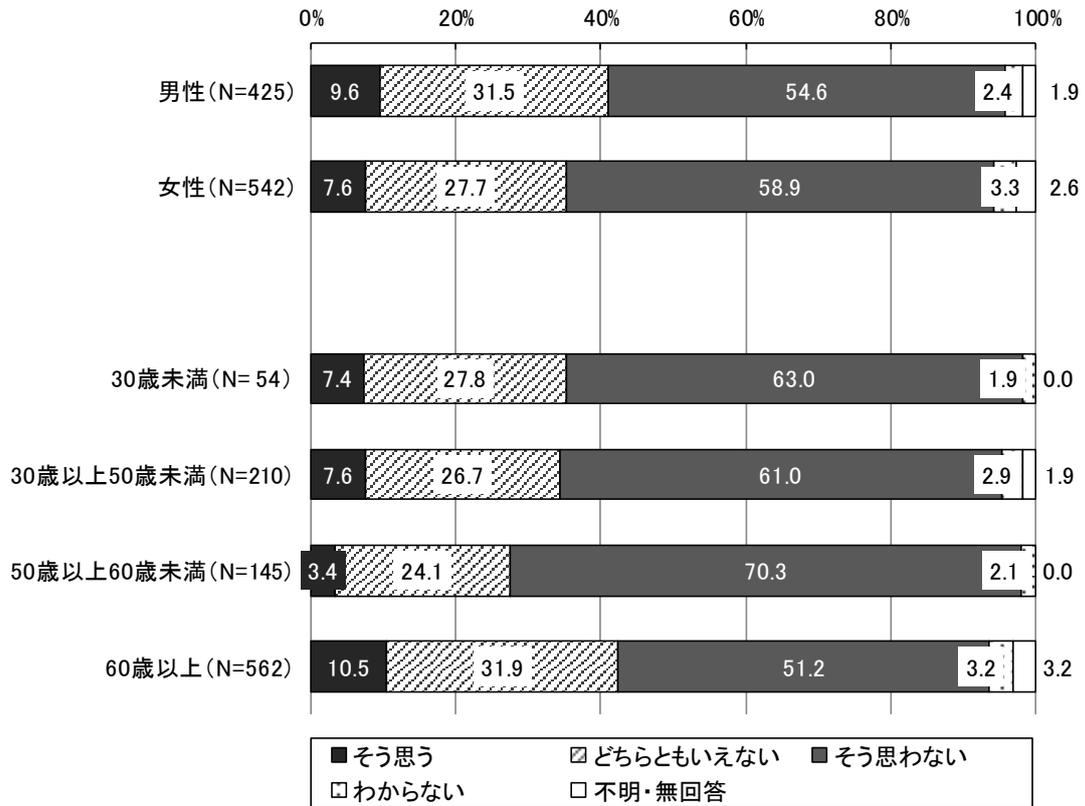
年代別にみると、「そう思わない」について【60 歳以上】が他の年代より低くなっています。

居住年数別にみると、「そう思わない」について【30 年以上】が他の居住年数区分より低くなっています。

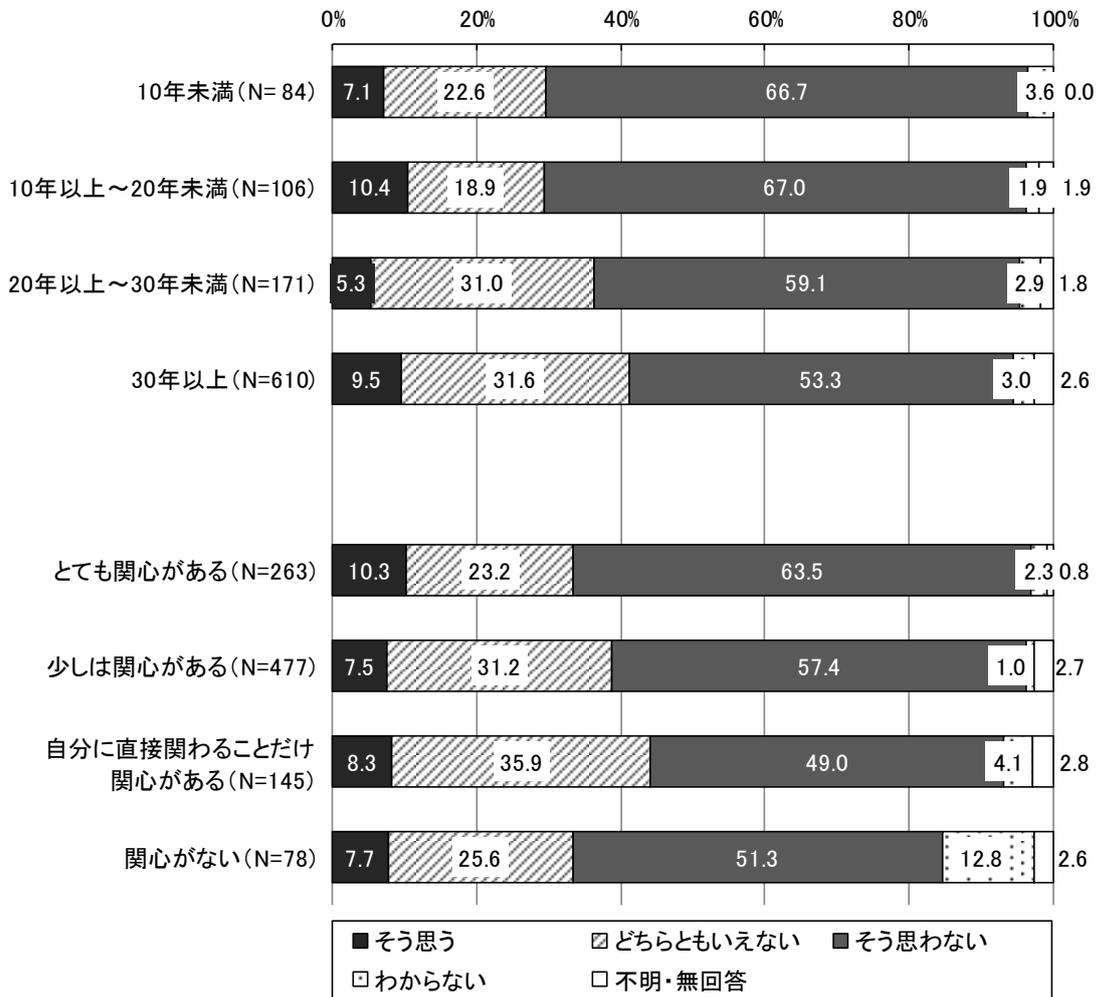
関心別にみると、「そう思わない」について【とても関心がある】【少しは関心がある】と【自分に直接関わることだけ関心がある】【関心がない】で、6.0 ポイント以上の差がみられます。



《男女・年代別クロス集計》



《居住年数別・関心別クロス集計》



4 防災・減災対策について

(1) 減災において、特に大切な取組〈複数回答〉

〔問 11 地震や台風、豪雨被害など、防災や災害発生時への備えがますます重要になっています。あなたは防災や災害時の被害を抑える減災において、どのような取組が特に大切だとお考えですか。次のうちから番号を2つまで選んで、○をつけてください。「9 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

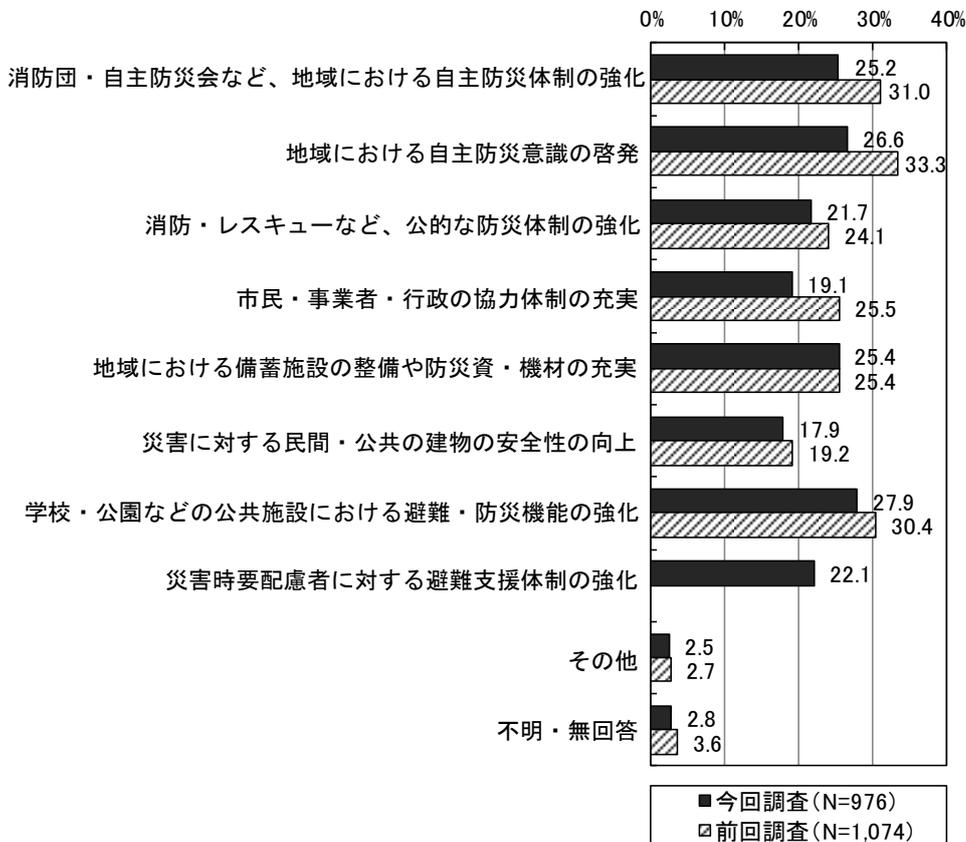
防災や災害時の被害を抑える減災において、特に大切な取組については、「学校・公園などの公共施設における避難・防災機能の強化」が27.9%で最も高く、次いで「地域における自主防災意識の啓発」が26.6%、「地域における備蓄施設の整備や防災資・機材の充実」が25.4%となっています。

前回調査との比較では、前回第1位の「地域における自主防災意識の啓発」については6.7ポイント、第2位の「消防団・自主防災会など、地域における自主防災体制の強化」については5.8ポイントそれぞれ減少し、前回第3位の「学校・公園などの公共施設における避難・防災機能の強化」が2.5ポイント減少しているものの、第1位となっています。

男女別にみると、【女性】では「地域における自主防災意識の啓発」が最も高くなっています。

年代別にみると、【30歳未満】では「災害に対する民間・公共の建物の安全性の向上」、【50歳以上60歳未満】では「地域における備蓄施設の整備や防災資・機材の充実」、【60歳以上】では「消防団・自主防災会など、地域における自主防災体制の強化」が最も高くなっています。

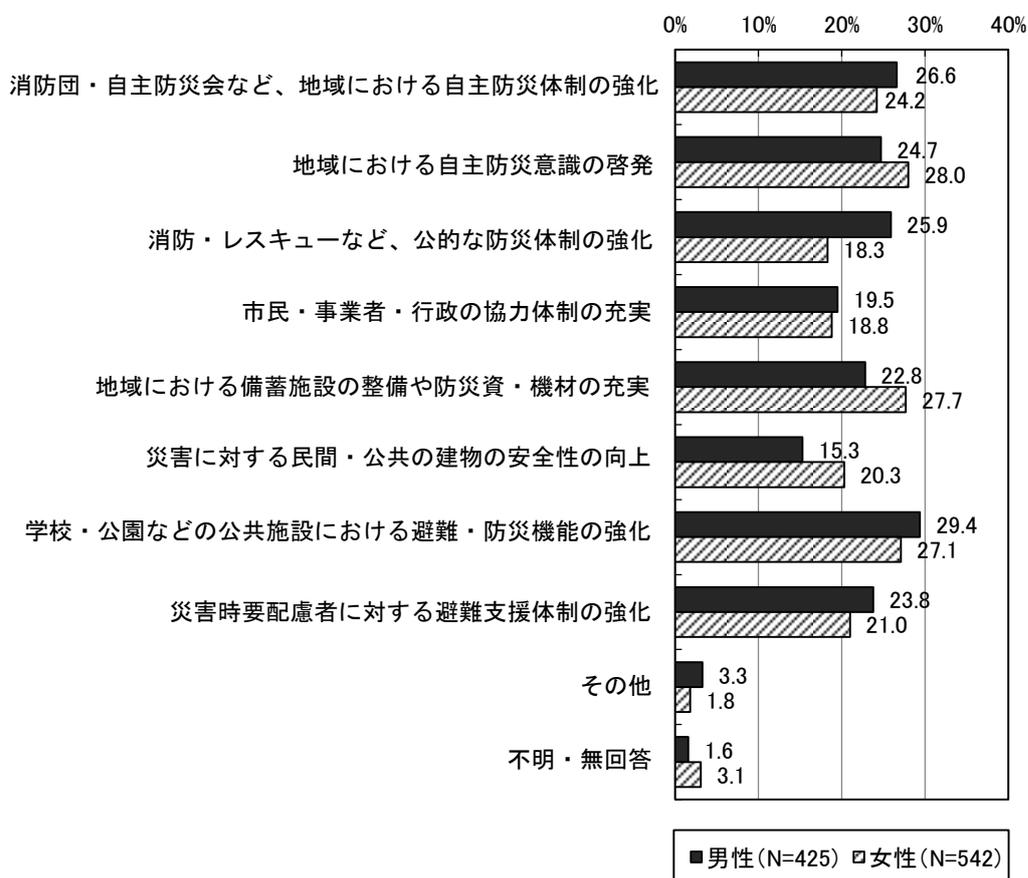
関心別にみると、『関心がない(「あまり関心がない」と「全く関心がない」の合計)』では「災害に対する民間・公共の建物の安全性の向上」が他の区分より高くなっています。



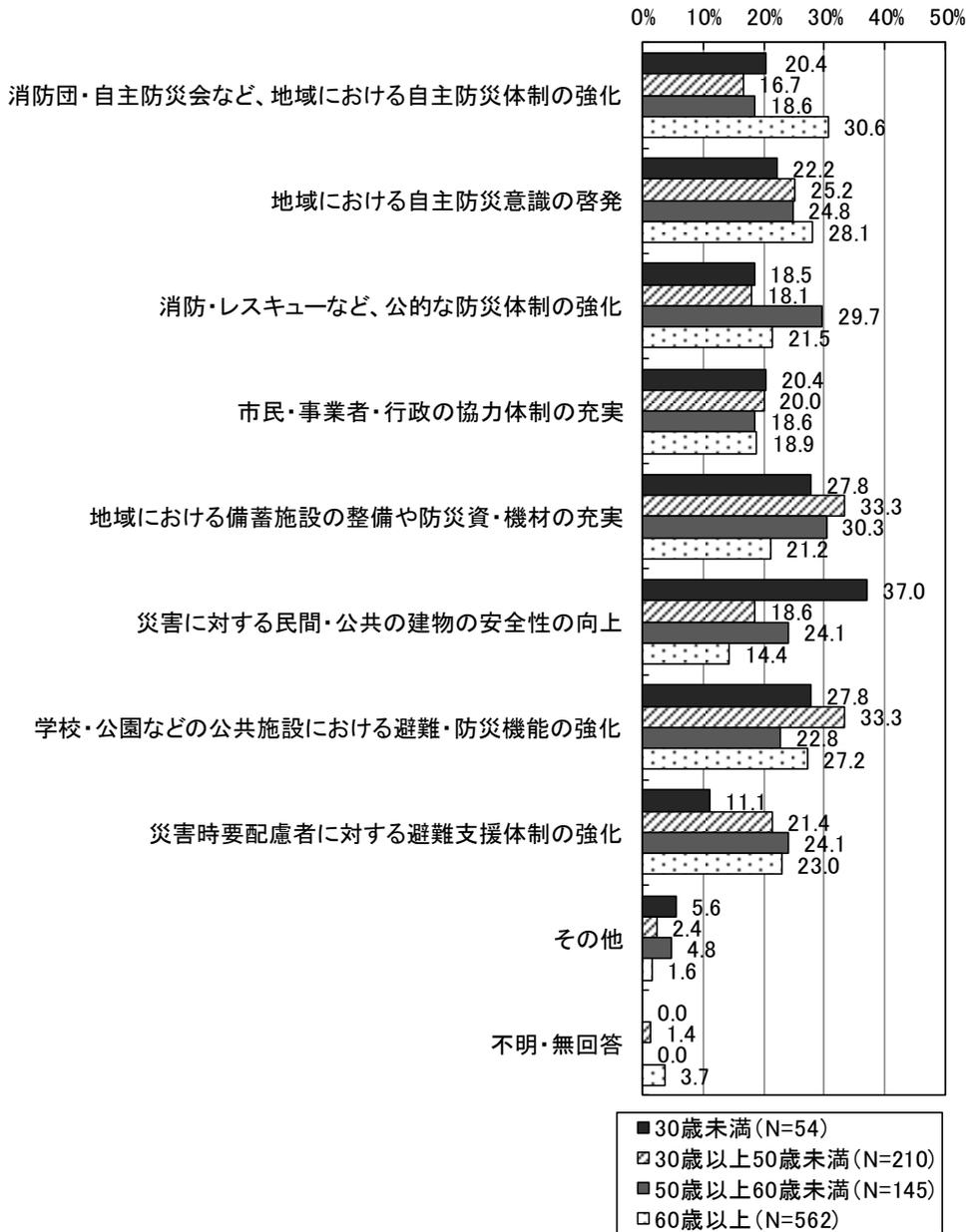
※「災害時要配慮者に対する避難支援体制の強化」は今回調査のみの選択肢。

その他	件数
河川、道路、山林、砂防の点検整備	10
公共交通機関の強化	4
確実な情報伝達	3
自助、共助、公助が上手く機能する仕組みづくり	2
避難先を指定しても、住民が入り切れない	1
1～8が、どこまで進んでいるのかわからない	1
被害に遭ったことがない考えだから、なにやっても他人事	1

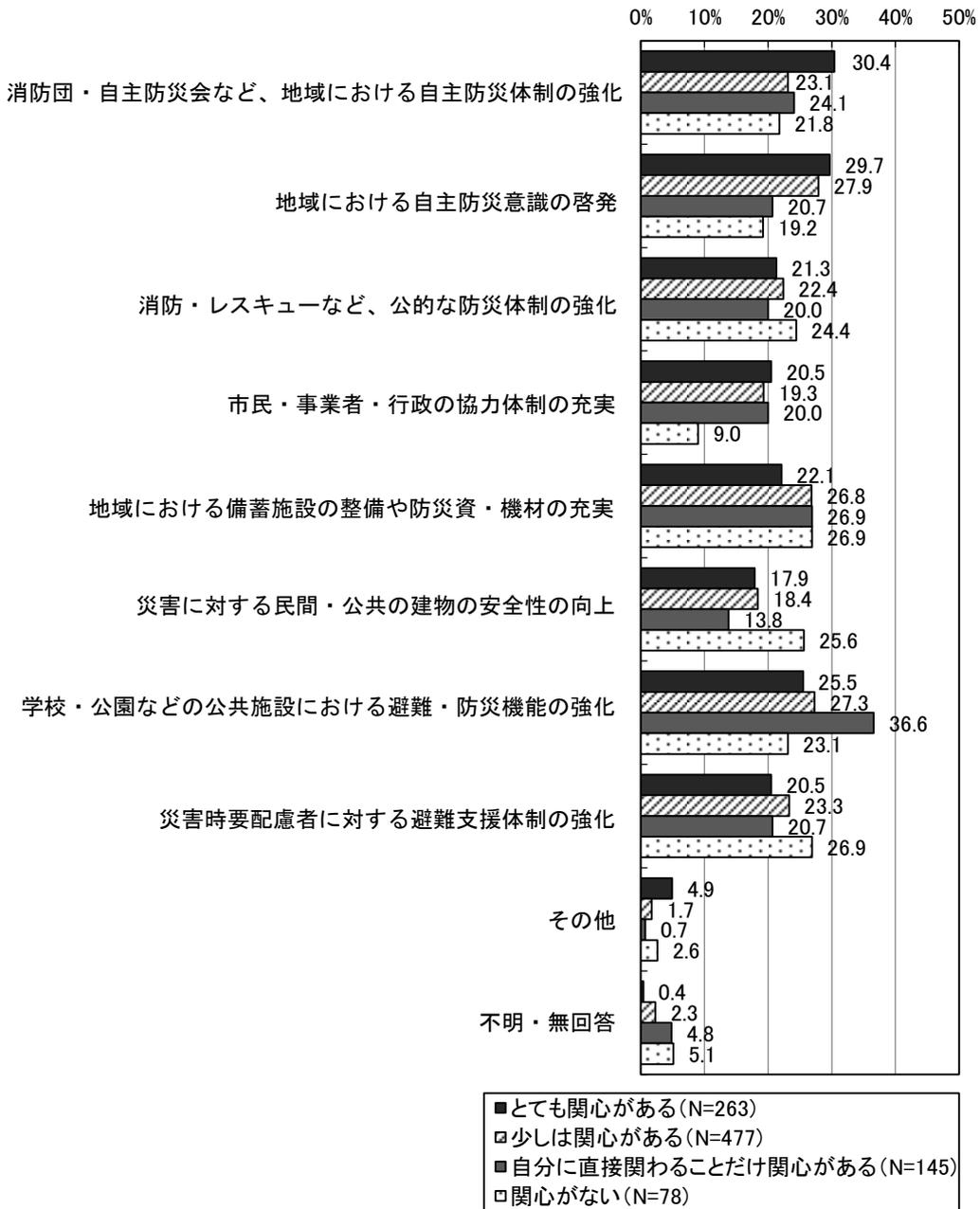
《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



《関心別クロス集計》



5 地域活動（コミュニティ活動）について

（1）市民が主体となったまちづくり活動〈単数回答〉

〔問 12 まちづくりは、市民の皆さんの主体的な活動と行政が協働していくことが大切です。あなたは、市民が主体となったまちづくり活動について、どのようにお考えですか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。「6 その他」を選んだ場合は、（ ）内に具体的に記載してください。〕

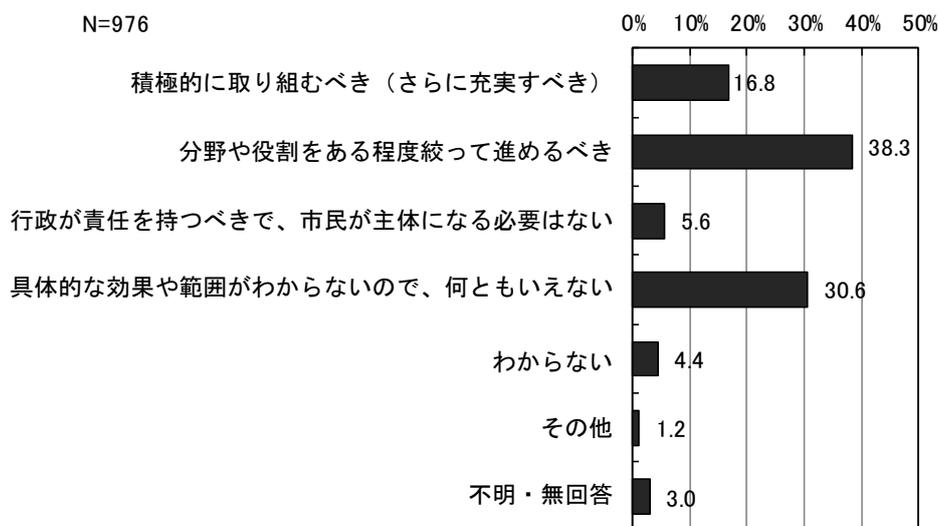
市民が主体となったまちづくり活動については、「分野や役割をある程度絞って進めるべき」が38.3%で最も高く、次いで「具体的な効果や範囲がわからないので、何ともいえない」が30.6%となっています。

男女別にみると、「具体的な効果や範囲がわからないので、何ともいえない」について【女性】が【男性】を8.2ポイント上回っています。

年代別にみると、【50歳以上 60歳未満】では、「積極的に取り組むべき（さらに充実すべき）」が他の年代に比べて低くなっています。

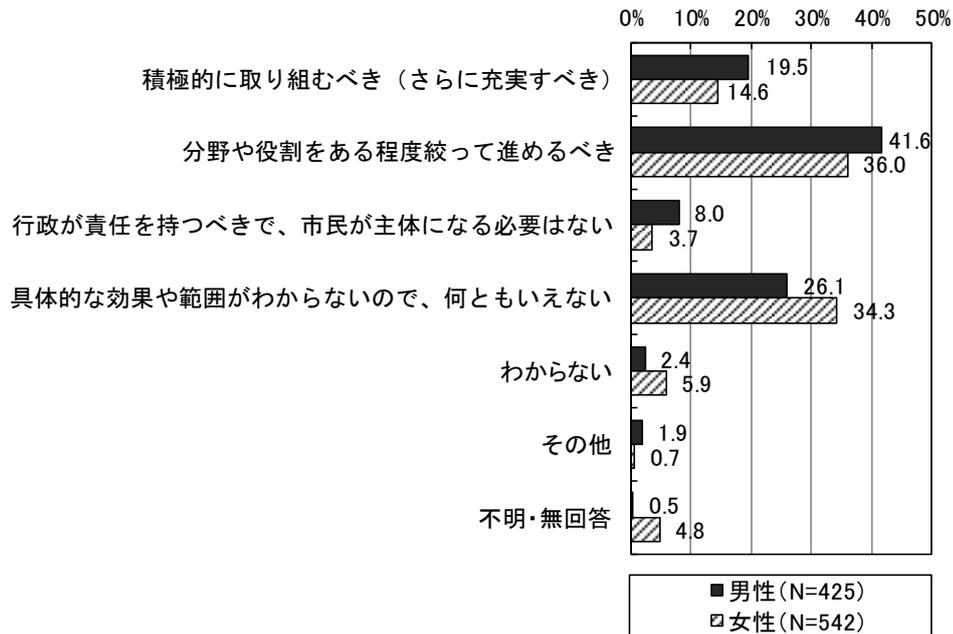
居住年数別にみると、「分野や役割をある程度絞って進めるべき」について【10年未満】が他の居住年数区分より高くなっています。

関心別にみると、「積極的に取り組むべき（さらに充実すべき）」について、【とても関心がある】が他の区分より高くなっています。

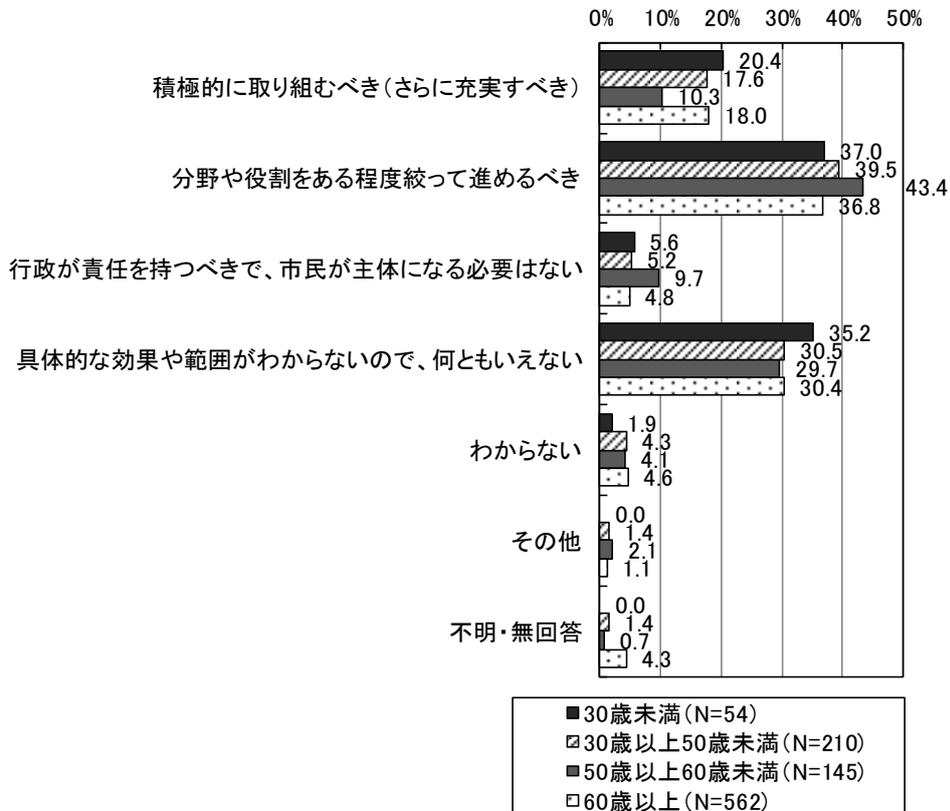


その他	件数
市民と行政が連携することが大切	2
人への配慮	2
利益を生む未来計画、安全対策を講じた都市計画	1
近所付き合いの希薄化、商店街の絶滅 行政の責任	1
地域活動の具体的な内容がわからない	1
市民の声を吸い上げ、行政が主体となつてすすめる	1
「協働が大切です」とは思わない。押し付けでは？	1

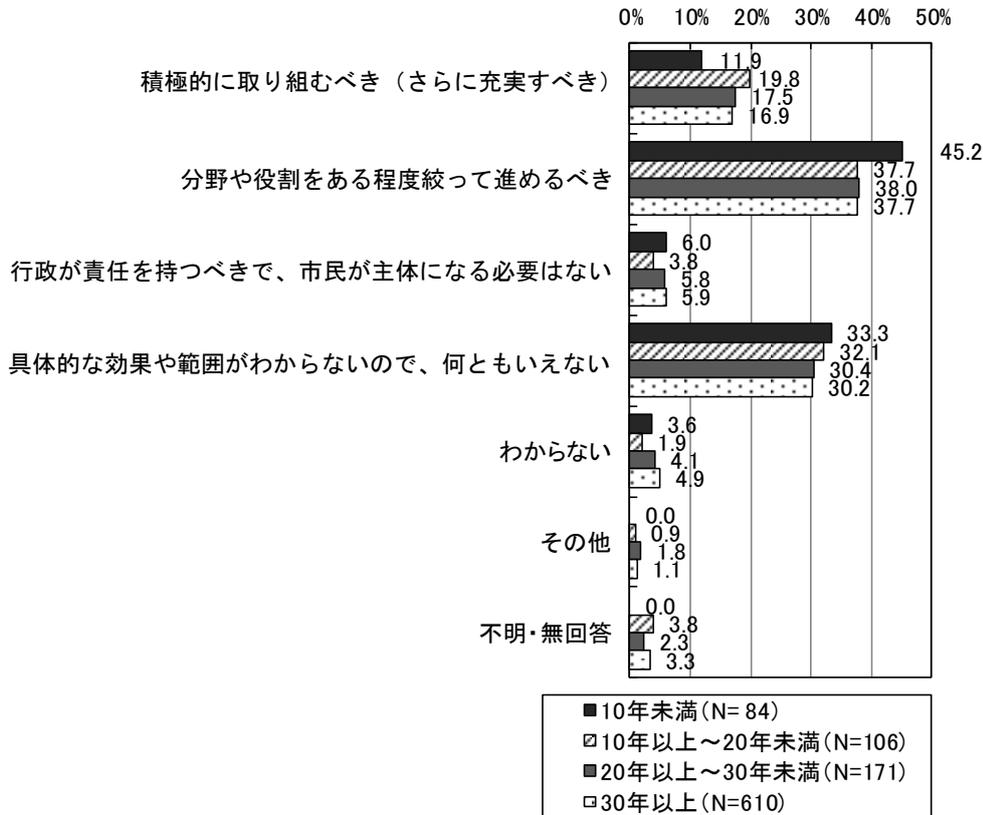
《男女別クロス集計》



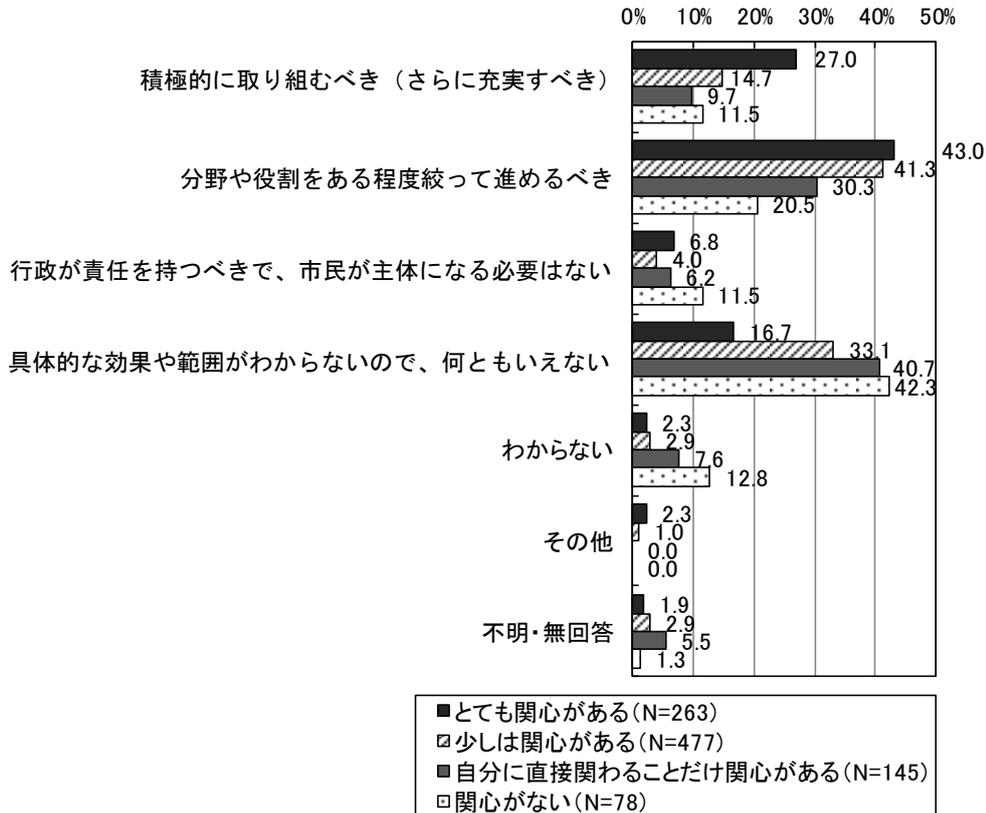
《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



《関心別クロス集計》



(2) NPO活動やコミュニティ活動を活性化していくために、効果的な取組や仕組み 〈複数回答〉

〔問 13 NPO活動やコミュニティ活動を活性化していくためには、どのような取組や仕組みが効果的だとお考えですか。特に重視する番号を2つまで選んで、○をつけてください。「9 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

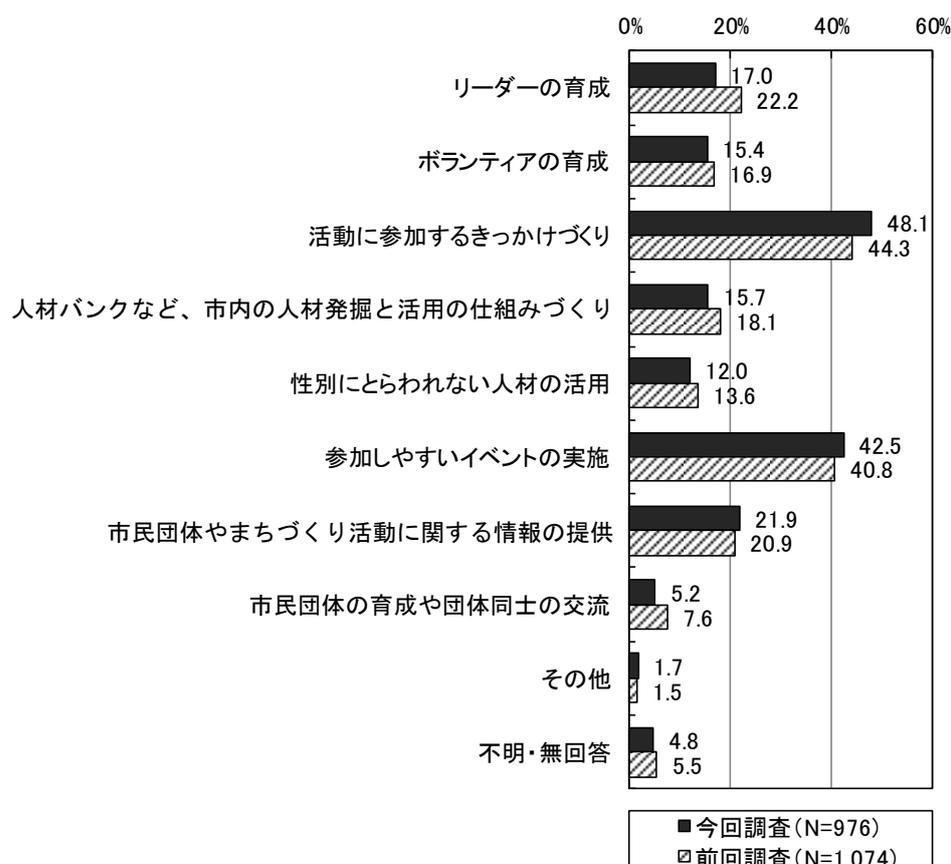
NPO活動やコミュニティ活動を活性化していくために、効果的な取組や仕組みについては、「活動に参加するきっかけづくり」が48.1%で最も高く、次いで「参加しやすいイベントの実施」が42.5%、「市民団体やまちづくり活動に関する情報の提供」が21.9%となっています。前回調査との比較では、「リーダーの育成」について5.2ポイント減少しています。

男女別にみると、「活動に参加するきっかけづくり」について【女性】が【男性】を8.5ポイント上回っています。

年代別にみると、【60歳以上】では「活動に参加するきっかけづくり」が他の年代よりやや低くなっています。

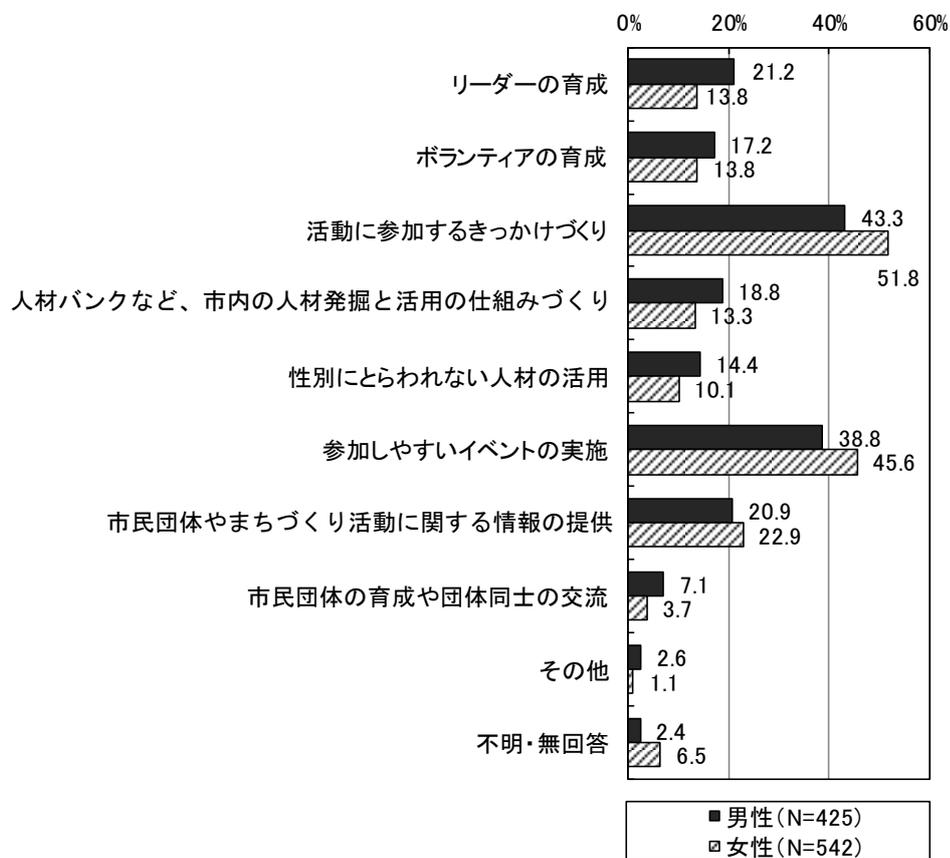
居住年数別にみると、【10年未満】【10年以上～20年未満】では「参加しやすいイベントの実施」が最も高くなっています。

関心別にみると、「参加しやすいイベントの実施」について、『関心がない』が他の区分より低くなっています。

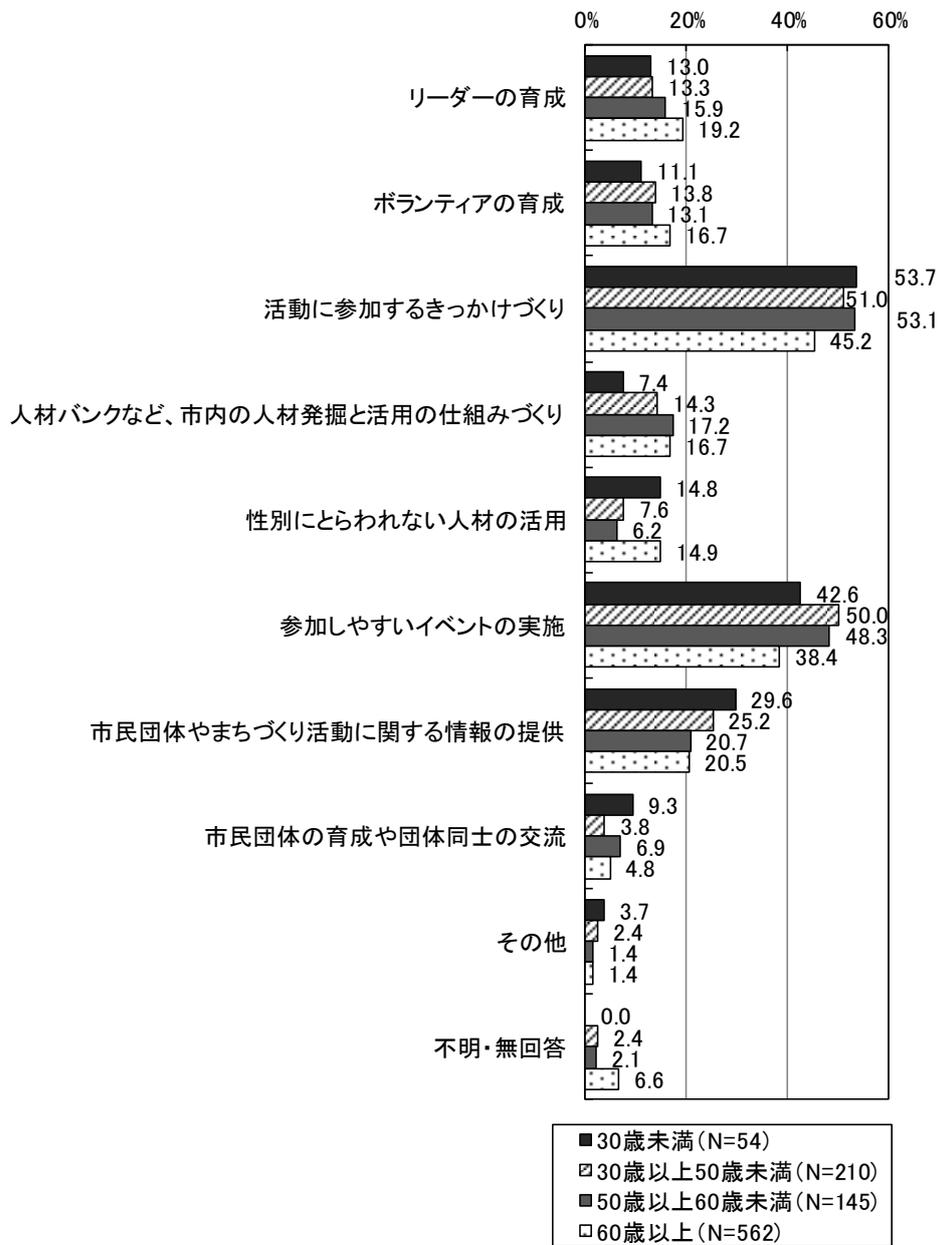


その他	件数
NPO 活動の信用性、内容の透明性	5
活動のバックアップ、人材育成	4
耕作放棄地、空き家の有効利用	2
参加したくてもする仕事がない	1
わからない	1

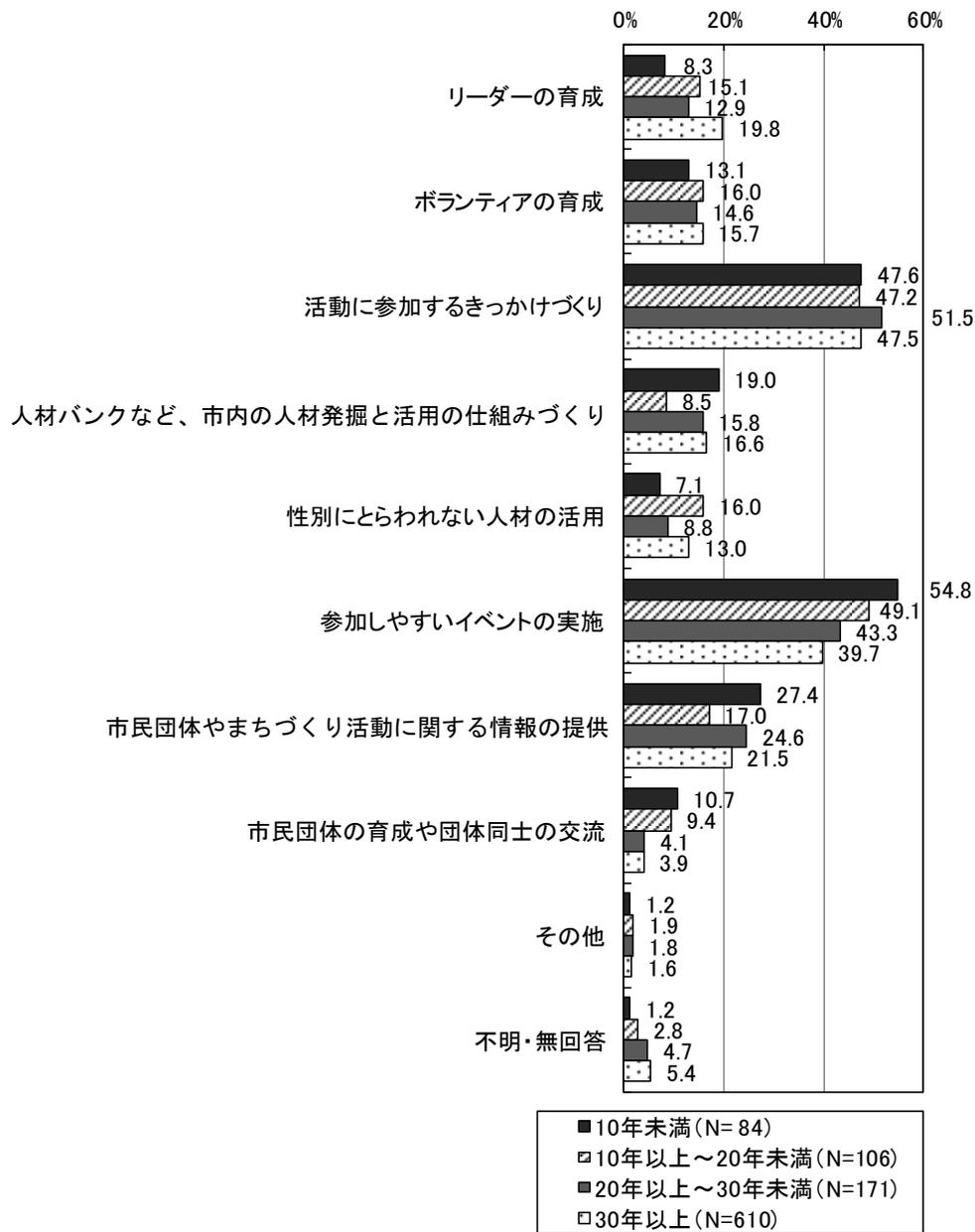
《男女別クロス集計》



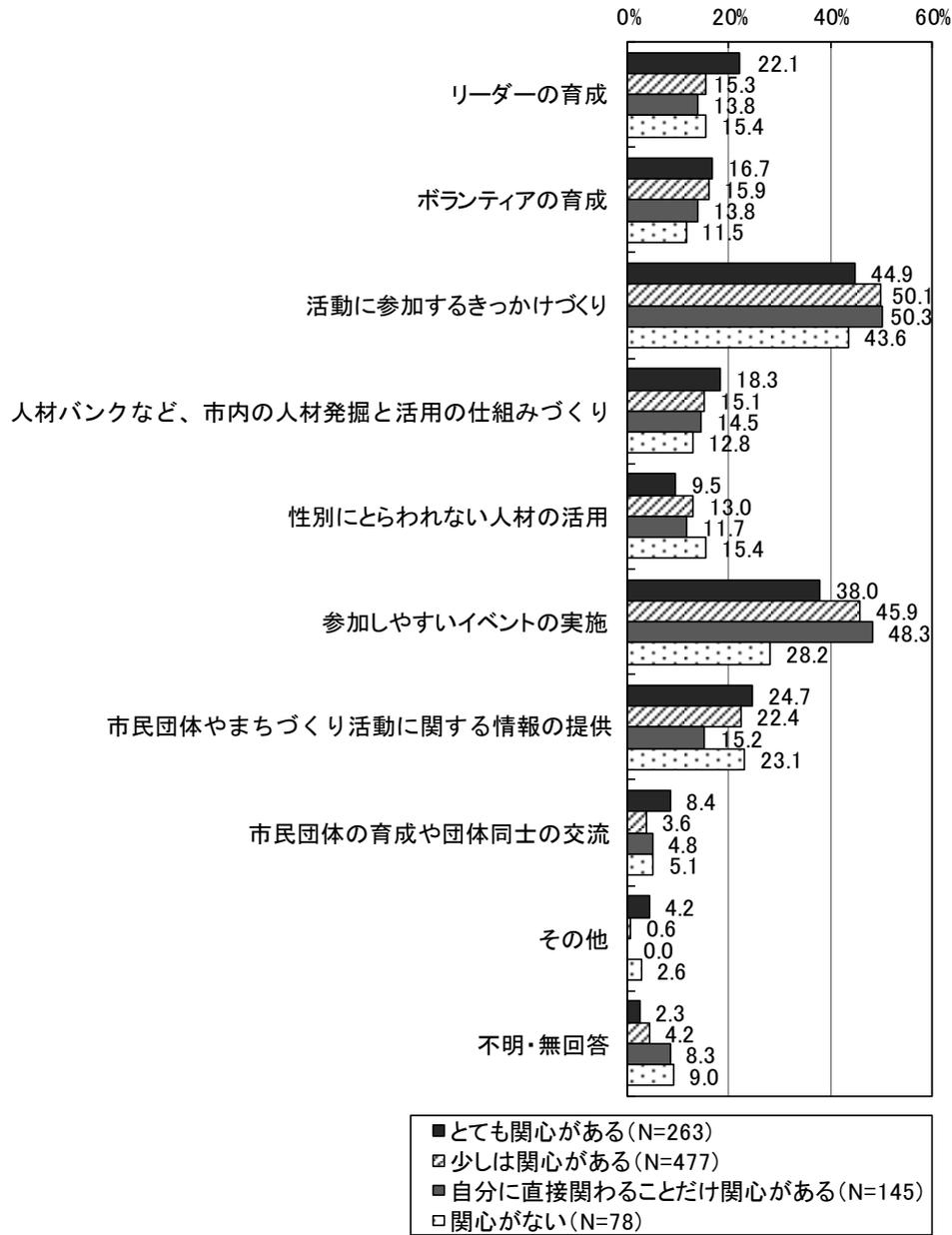
《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



《 関心別クロス集計 》



(3) 現在お住まいの地域でコミュニティ活動を活発にしていくために、効果的な取組 〈複数回答〉

〔問 14 現在お住まいの地域でコミュニティ活動を活発にしていくためには、どのような取組が効果的だとお考えですか。次のうちからあてはまる番号を3つまで選んで、○をつけてください。「12 その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記載してください。〕

現在お住まいの地域でコミュニティ活動を活発にしていくために、効果的な取組については、「近所同士の助け合いなどの地域福祉活動」が 35.7%で最も高く、次いで「地域の環境をよくするための美化・緑化活動」が 31.0%、「自分たちの住む地域を自分たちで守る、防犯・防災活動」が 26.2%となっています。

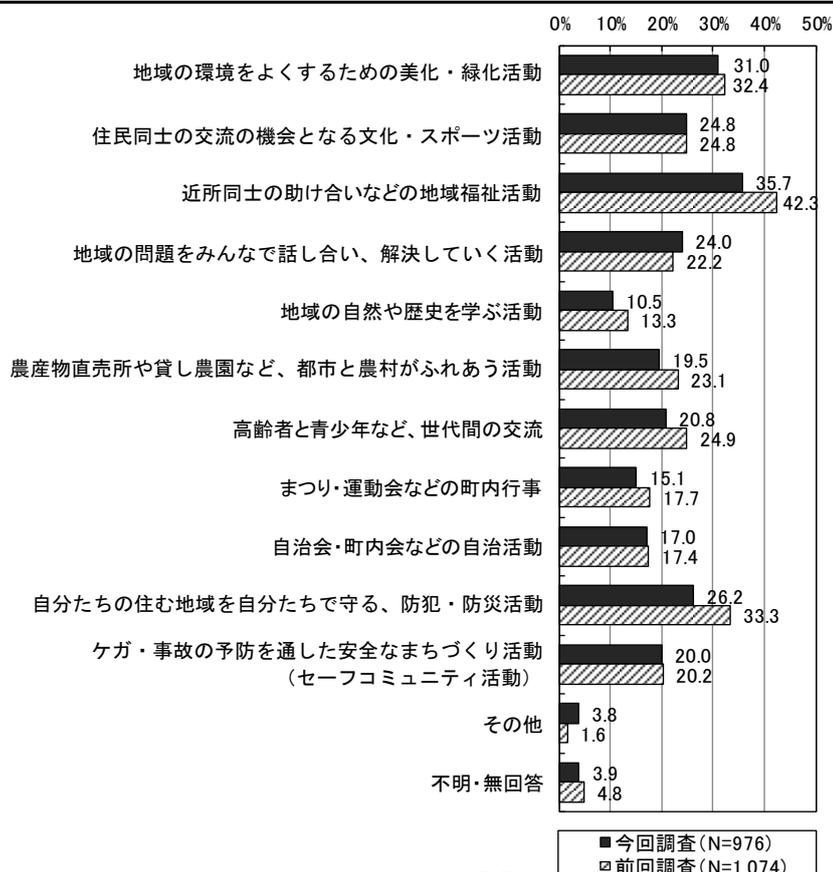
前回調査との比較では、「自分たちの住む地域を自分たちで守る、防犯・防災活動」については 7.1 ポイント、「近所同士の助け合いなどの地域福祉活動」については 6.6 ポイント、それぞれ減少しています。

男女別にみると、【男性】では「地域の環境をよくするための美化・緑化活動」が最も高くなっています。また、「地域の問題をみんなで話し合い、解決していく活動」について、【男性】が【女性】を 9.7 ポイント上回っています。

年代別にみると、【30 歳以上 50 歳未満】【50 歳以上 60 歳未満】では「地域の環境をよくするための美化・緑化活動」、【60 歳以上】では「近所同士の助け合いなどの地域福祉活動」が最も高く、【30 歳未満】ではこれらの項目がともに最も高く並んでいます。

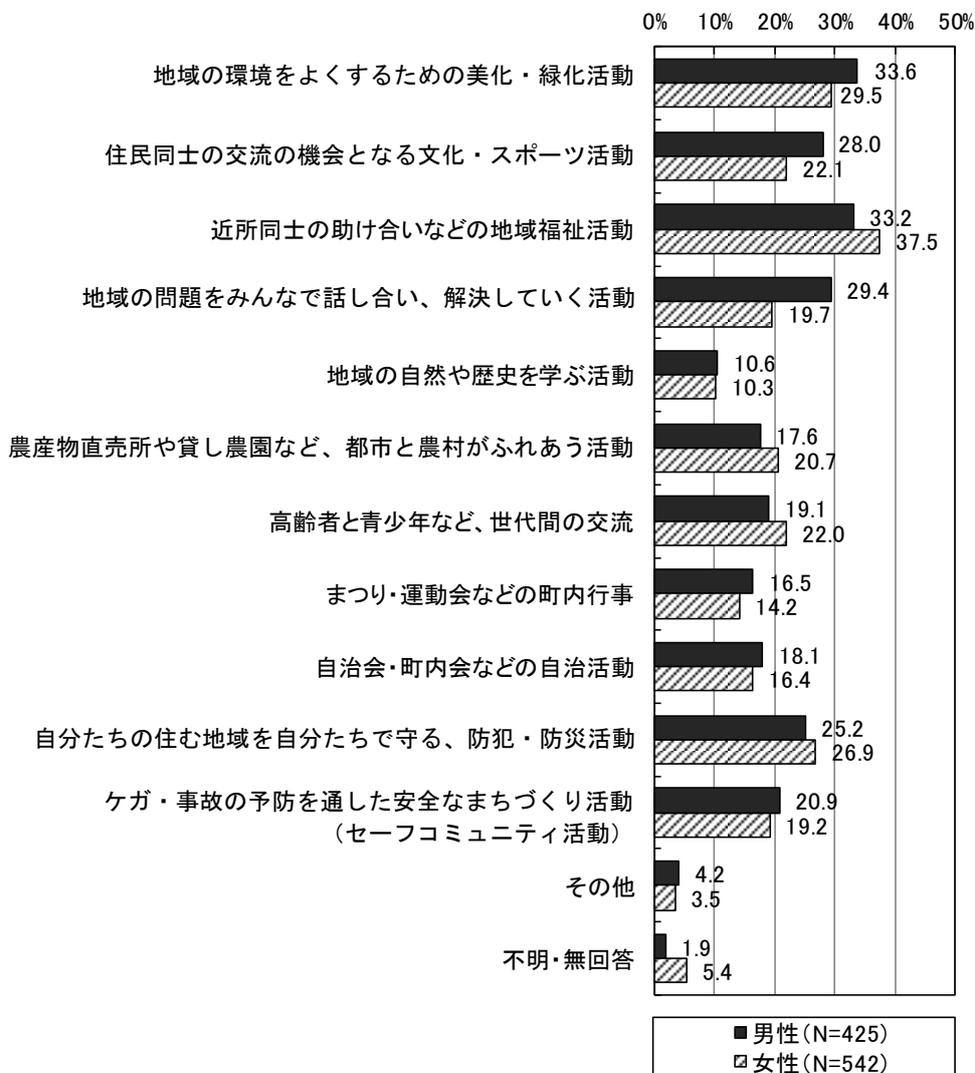
居住年数別にみると、【10 年未満】では「ケガ・事故の予防を通じた安全なまちづくり活動（セーフコミュニティ活動）」、【10 年以上～20 年未満】では「地域の環境をよくするための美化・緑化活動」が最も高くなっています。

関心別にみると、「自治会・町内会などの自治活動」について『関心がない』が他の区分より高くなっています。

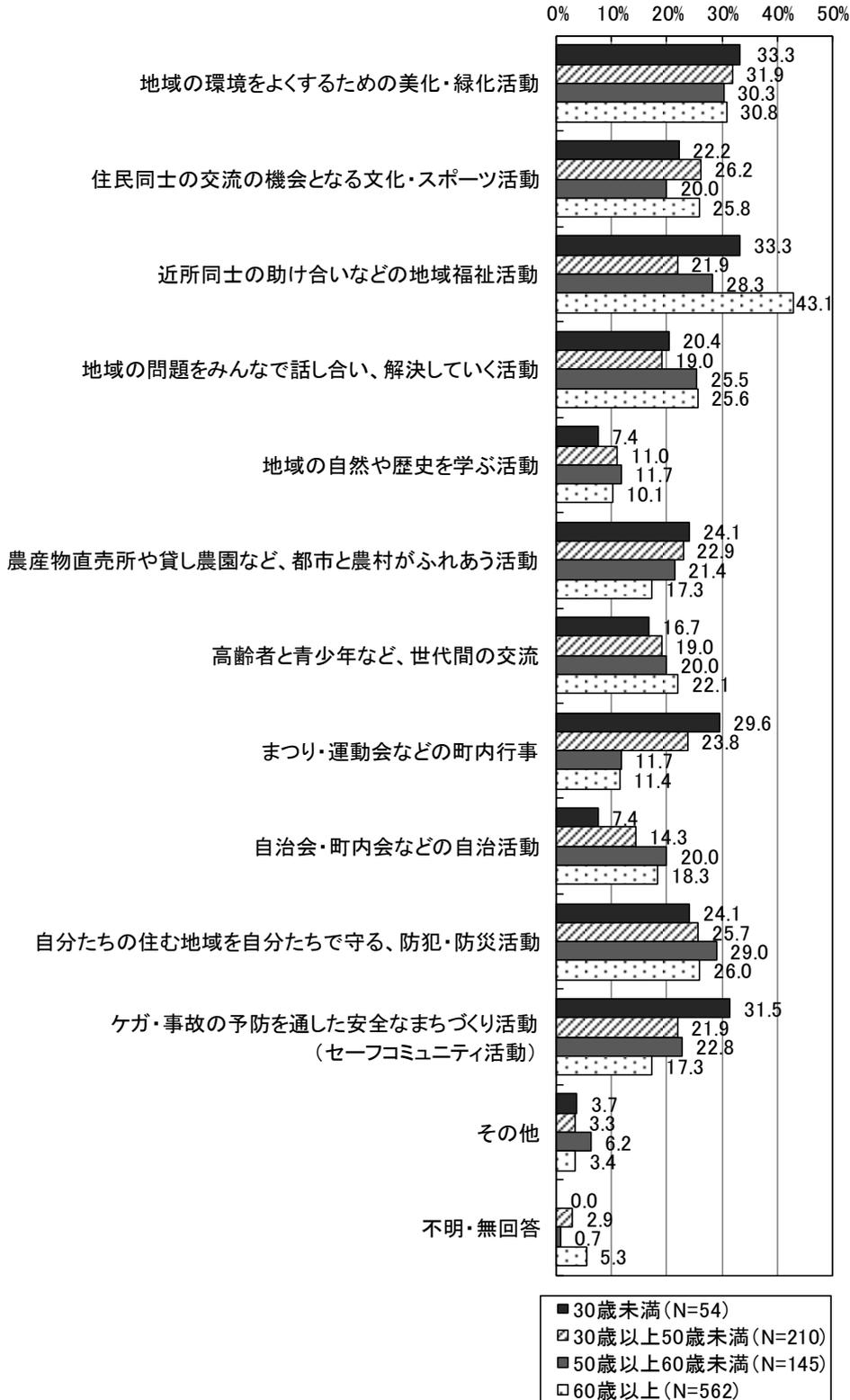


その他	件数
講習、体験活動、啓発活動、若者に向けての活動	11
子育て世代、一人暮らし、高齢者への配慮	8
誰もが参加しやすい活動、強制的な空気をなくす	8
情報共有、目安箱	3
空き家の処分、利用	2
行政の関与⇒任せすぎではないか	1
自治会員ではないので選ぶのは辞退します	1
既に取り組んでくださっています。区長さんは大変だと思います。	1

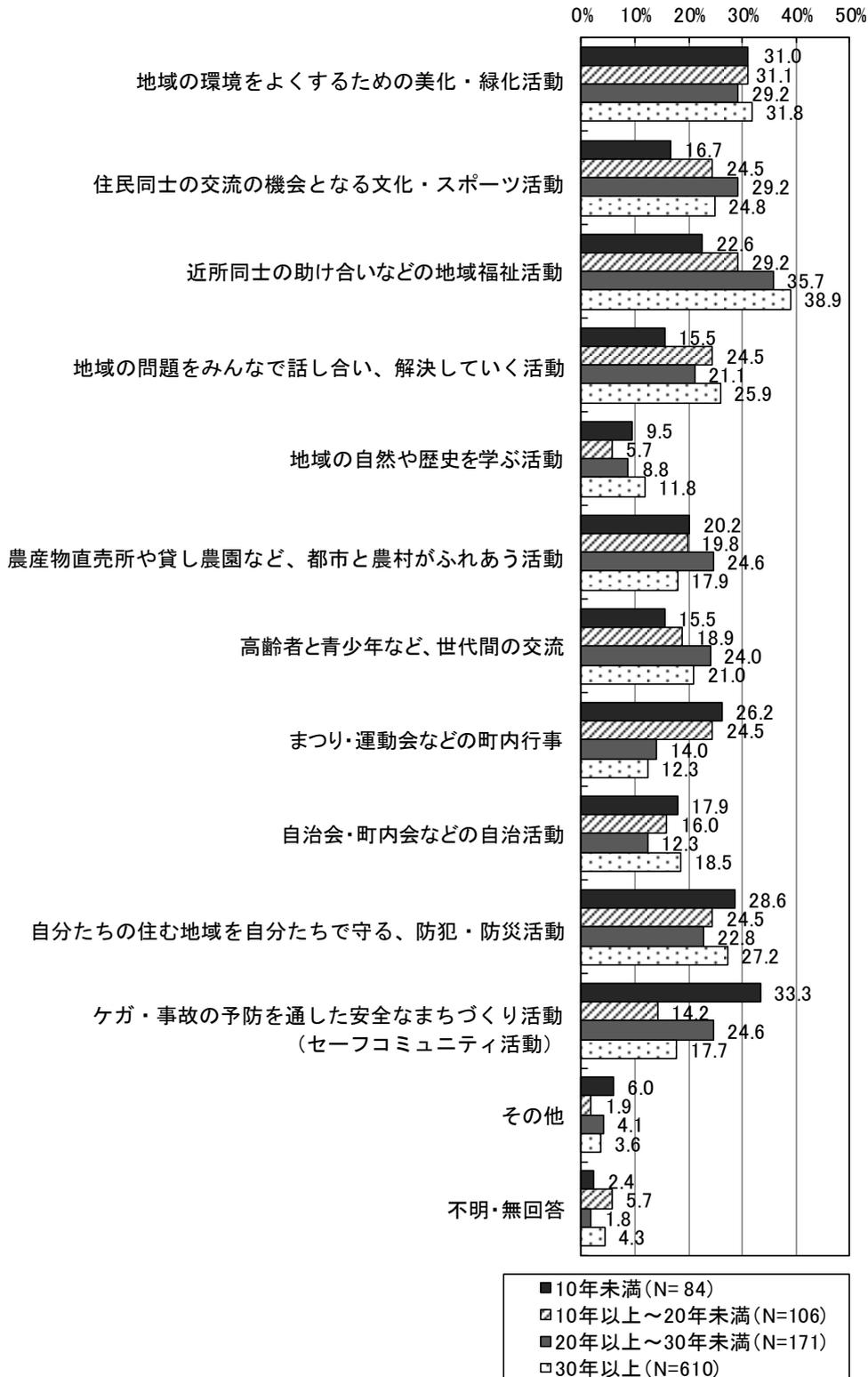
《男女別クロス集計》



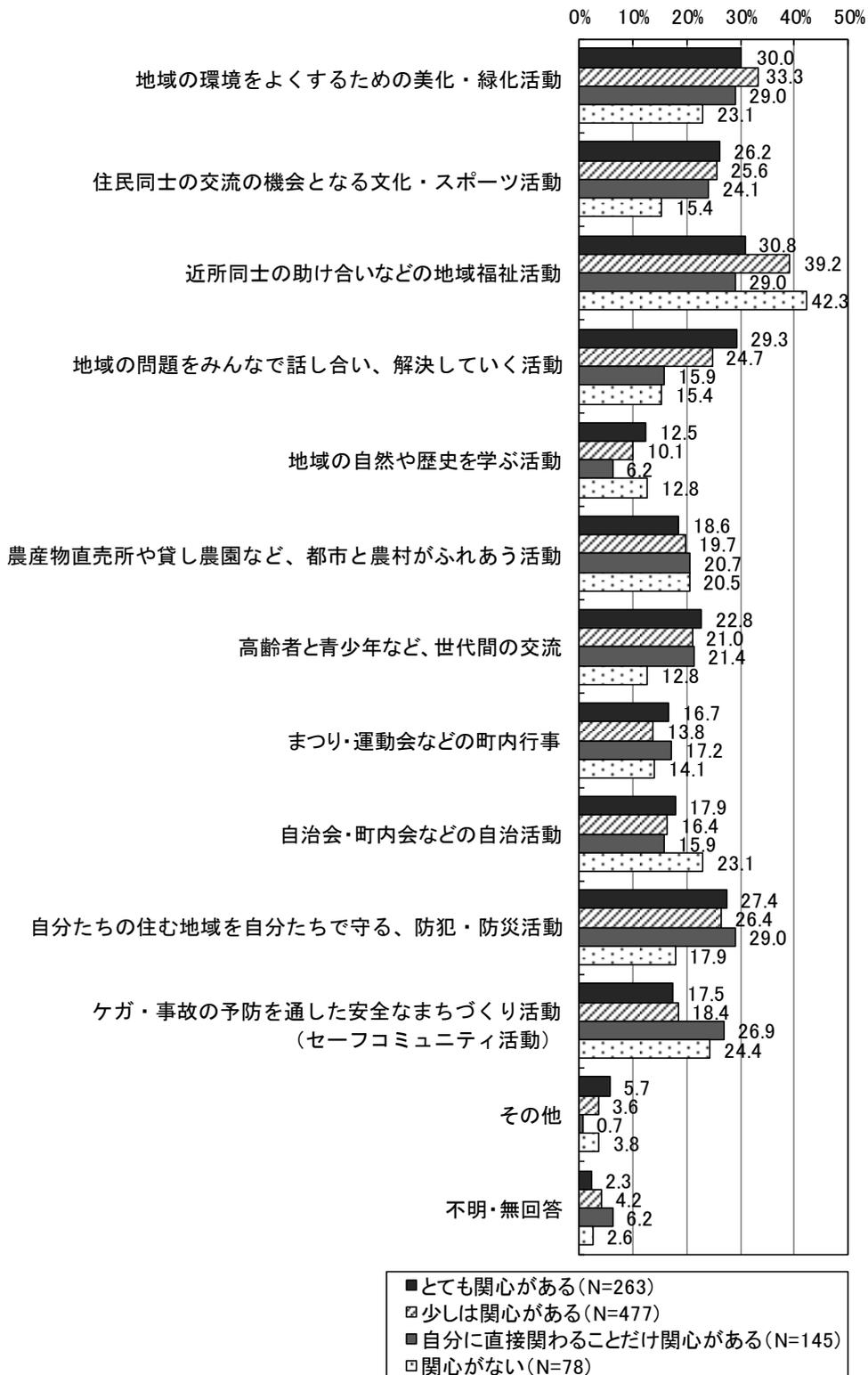
《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



《関心別クロス集計》



(4)「セーフコミュニティ認証市」として、誰もが安全で安心して生活できるまちづくりを進めていく上で、最も重要なこと〈単数回答〉

〔問 15 亀岡市は、平成 20（2008）年にWHO（世界保健機関）セーフコミュニティ協働センターから日本初の「セーフコミュニティ」の認証を受け、平成 30（2018）年には再々認証を受けました。今後も、引き続き「セーフコミュニティ認証市」として、誰もが安全で安心して生活できるまちづくりを進めていく上で、最も重要だとお考えの番号を1つ選んで、○をつけてください。「8 その他」を選んだ場合は、（ ）内に具体的に記載してください。〕

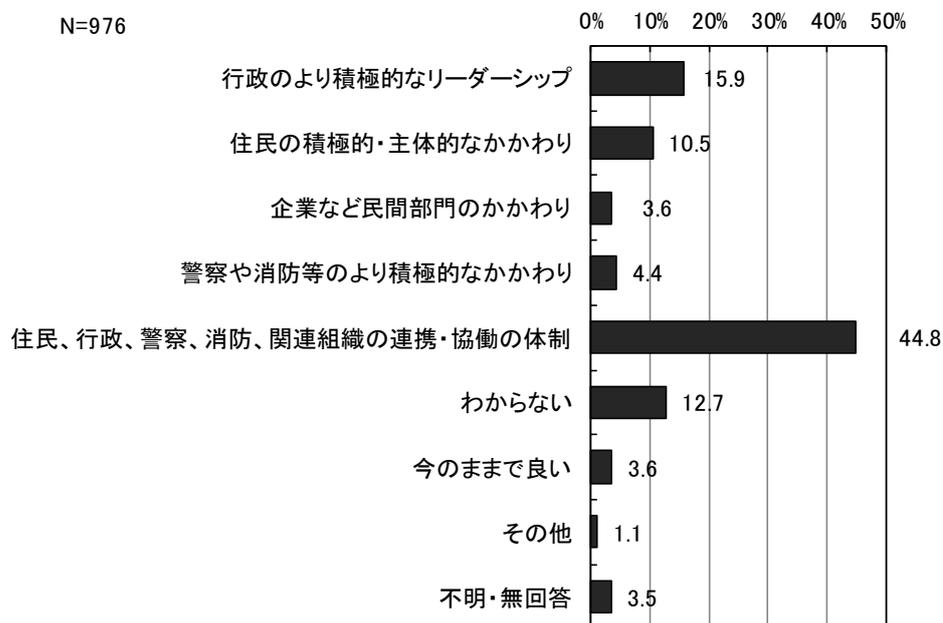
セーフコミュニティ認証市として、誰もが安全で安心して生活できるまちづくりを進めていく上で、最も重要なことについては、「住民、行政、警察、消防、関連組織の連携・協働の体制」が44.8%で最も高く、次いで「行政のより積極的なリーダーシップ」が15.9%、「わからない」が12.7%となっています。

男女別にみると、「行政のより積極的なリーダーシップ」について、【男性】が【女性】を5.8ポイント上回っています。

年代別にみると、【50歳以上 60歳未満】【60歳以上】では「行政のより積極的なリーダーシップ」が他の年代よりやや高くなっています。

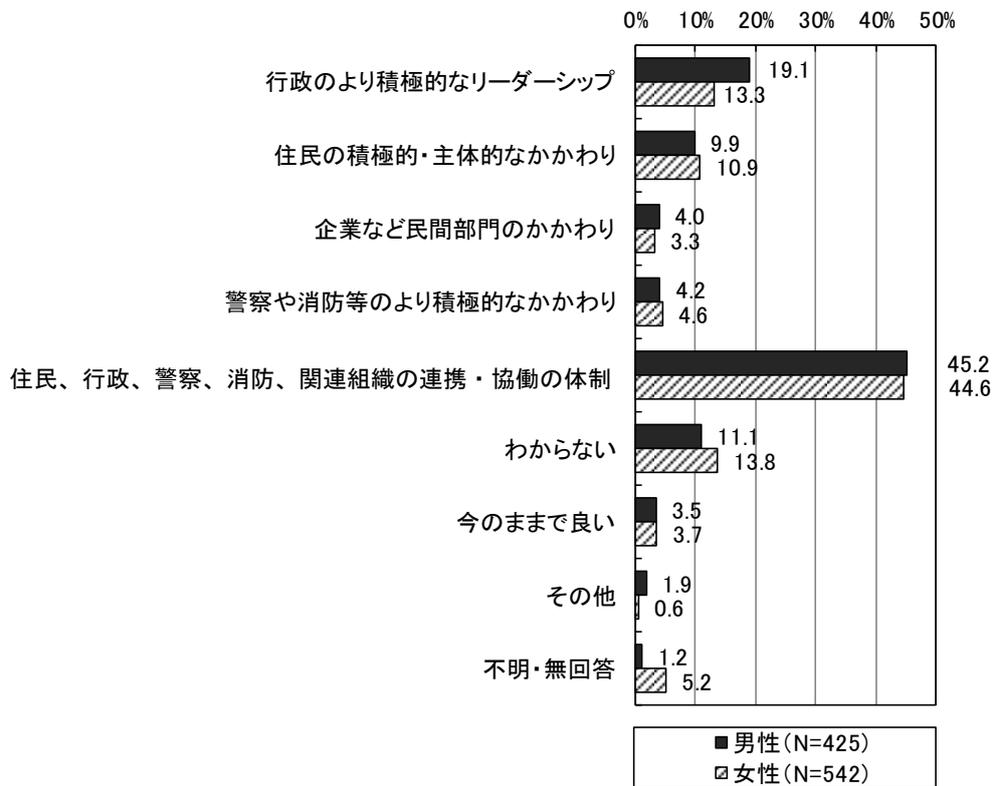
居住年数別にみると、いずれの回答も大きな差はみられません。

関心別にみると、『関心がない』では「わからない」が最も高くなっています。また、「住民、行政、警察、消防、関連組織の連携・協働の体制」については『関心がない』が他の区分より低く、12.0ポイント以上の差がみられます。

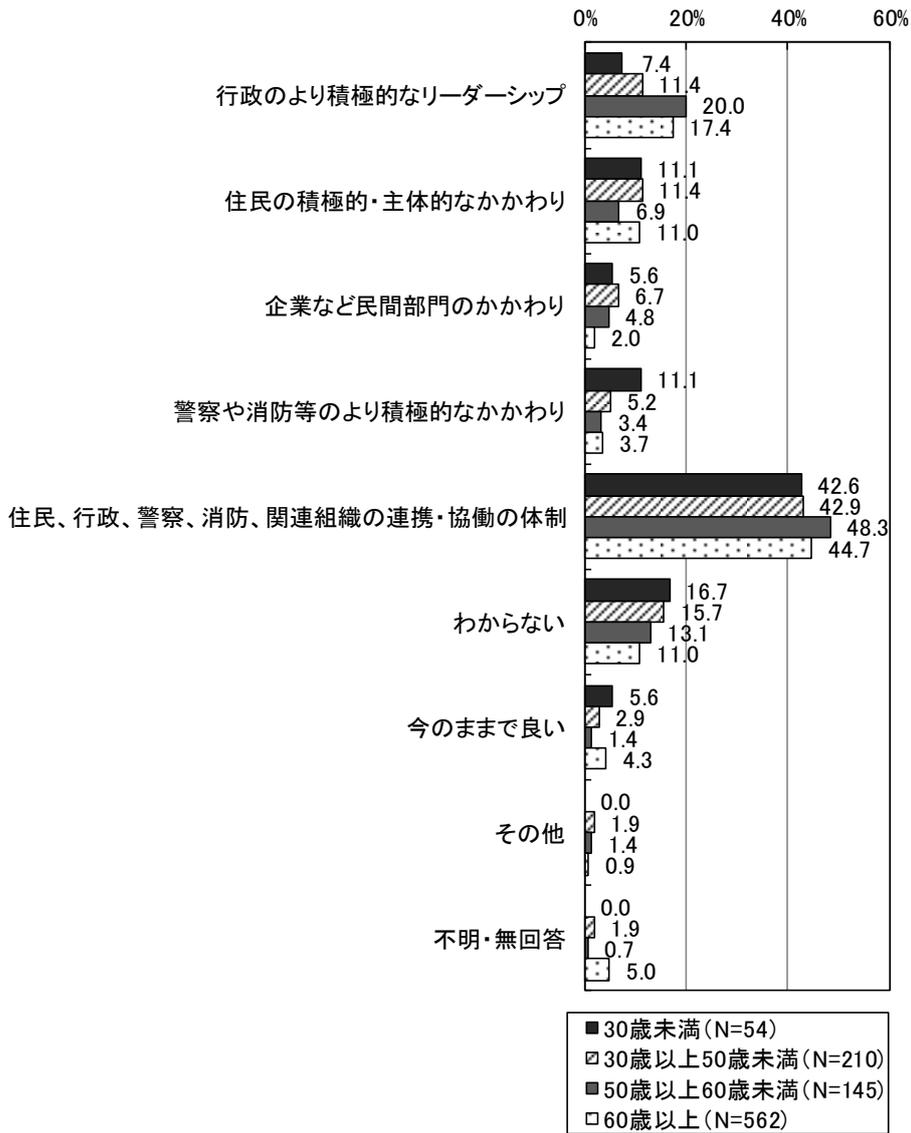


その他	件数
セーフコミュニティの活動の内容	3
若年層が関心を持つ魅力ある行政	2
災害への対応能力	2
セーフスクールの積極的な活用	1
人への思いやり	1

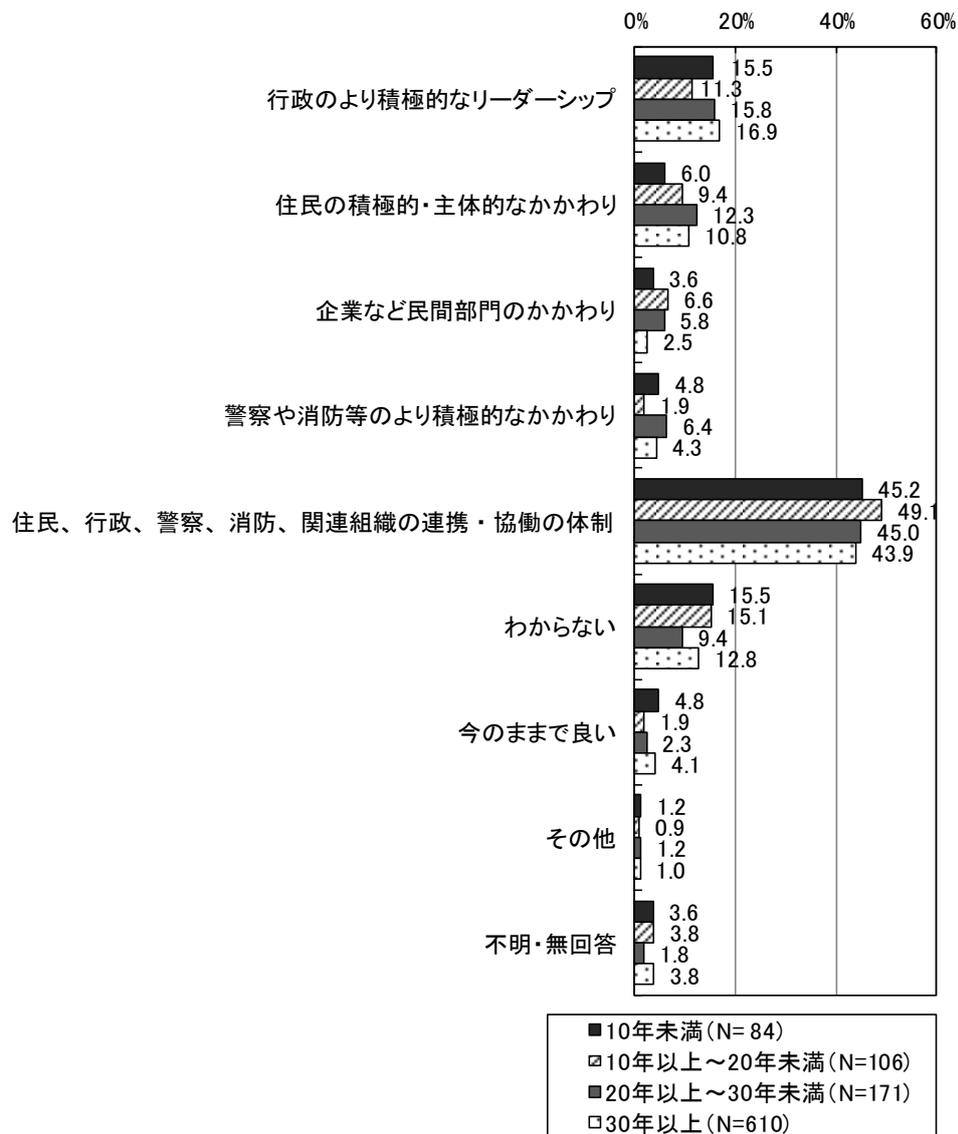
《男女別クロス集計》



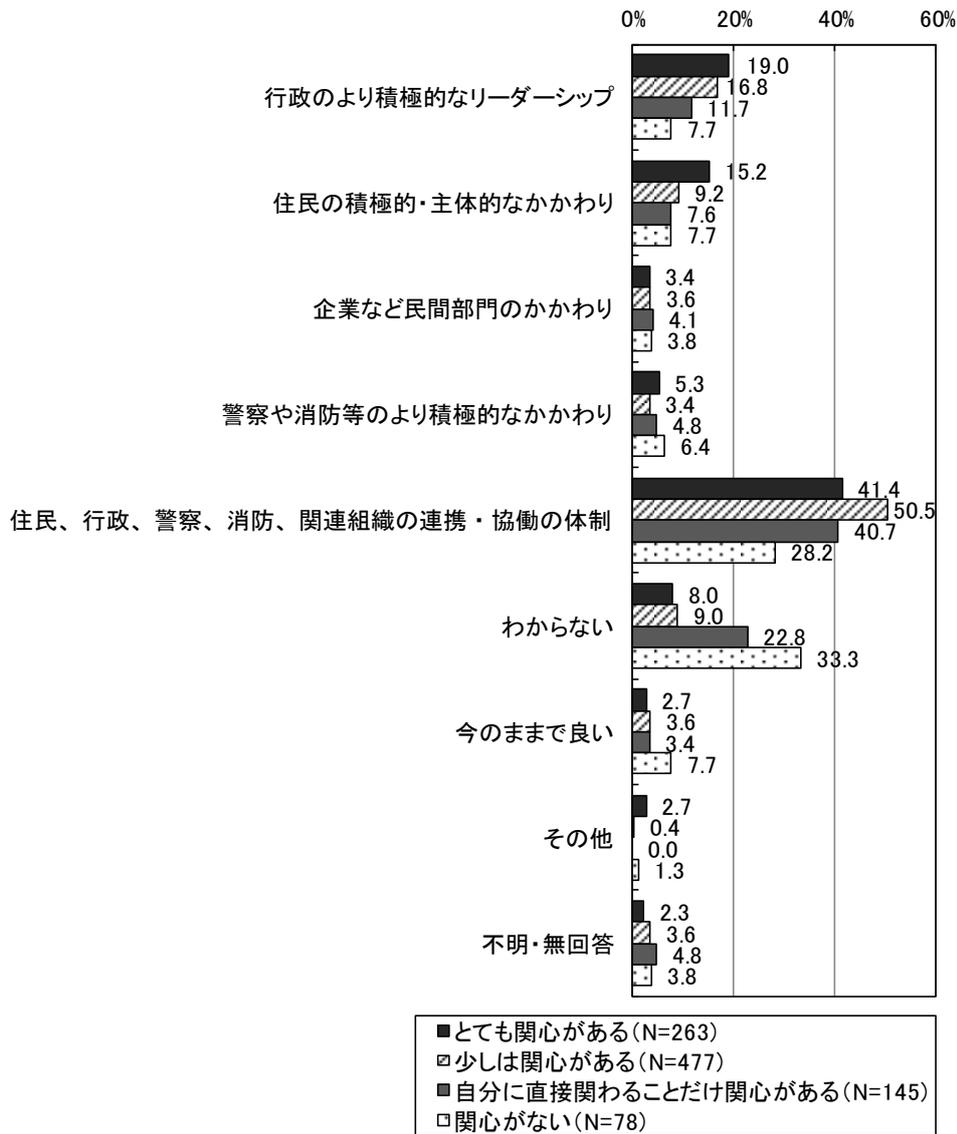
《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



《 関心別クロス集計 》



6 子育て支援、高齢者福祉、障がいのある人の支援について

(1) 亀岡市は、子どもを生み育てやすいまちであると思うか〈単数回答〉

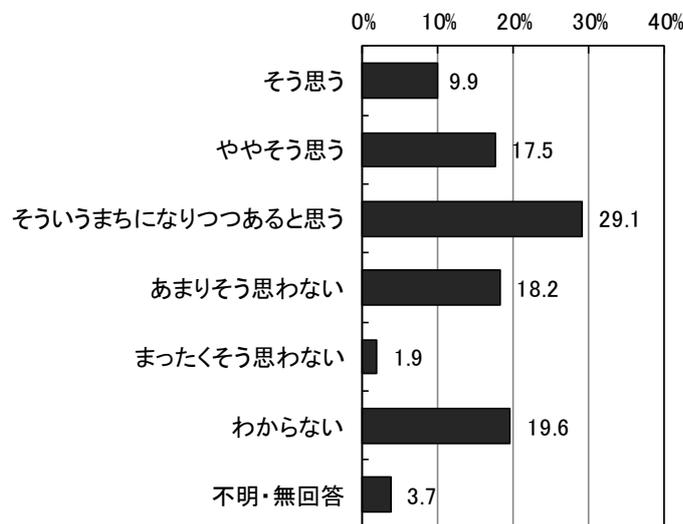
〔問 16 亀岡市では、子育て支援の拠点施設「BCome+（びーかむびらす）」を整備し、不安なく出産ができる産前、産後のサポート体制の充実や「子育てワンストップ窓口」の設置等を進めてきました。また、放課後児童会の対象年齢の拡大や時間延長を実施してきました。亀岡市は、子どもを生み育てやすいまちであると思いますか。次のうちから番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

亀岡市は、子どもを生み育てやすいまちであると思うかについては、「そういうまちになりつつあると思う」が29.1%で最も高く、次いで「わからない」が19.6%となっています。

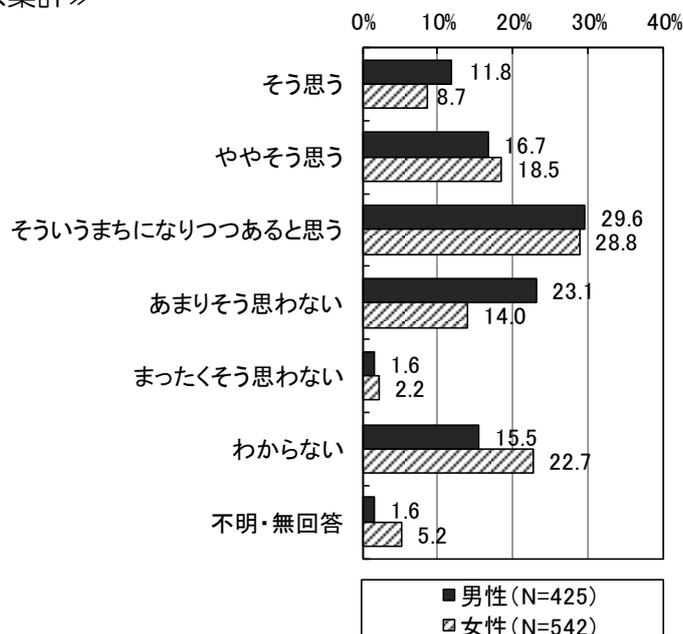
男女別にみると、「あまりそう思わない」について【男性】が【女性】を8.9ポイント上回っています。

年代別にみると、【30歳未満】では「わからない」、【30歳以上50歳未満】【50歳以上60歳未満】【60歳以上】では「そういうまちになりつつあると思う」が最も高くなっています。

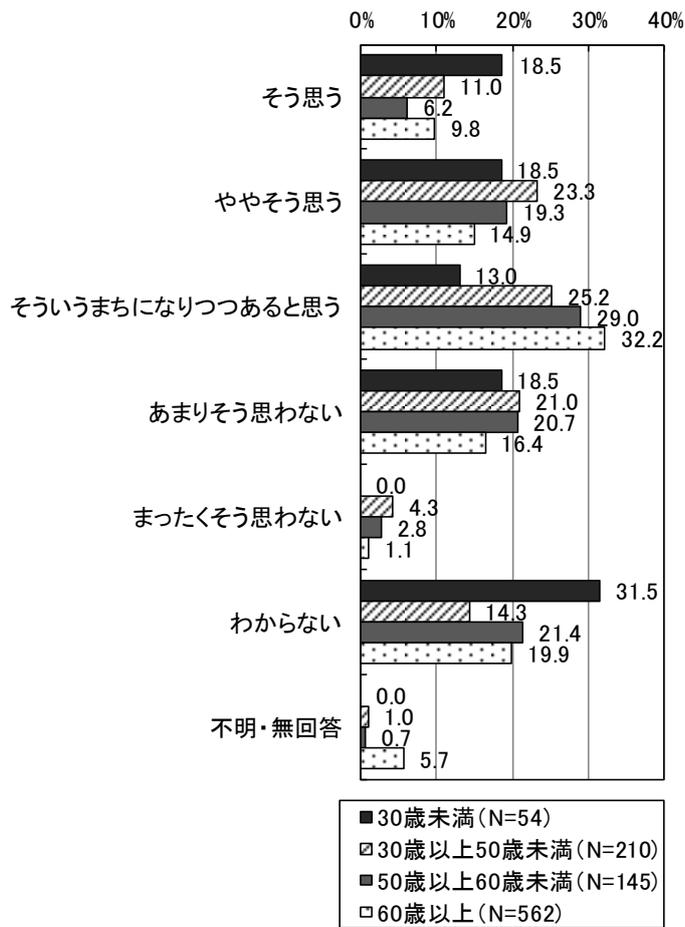
N=976



《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



(2) 亀岡市は、高齢者が住みやすいまちであると思うか〈単数回答〉

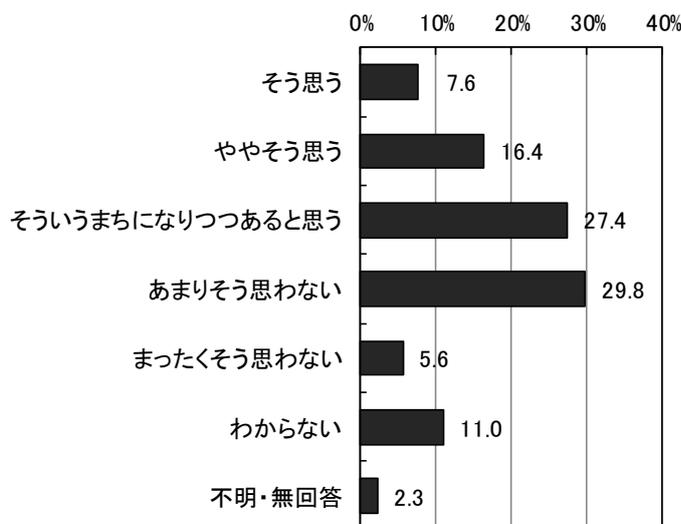
〔問 17 亀岡市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりとして「敬老乗車券事業」の新設や「高齢者見守り活動」等に取り組んできました。亀岡市は、高齢者が住みやすいまちであると思いますか。次のうちから番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

亀岡市は、高齢者が住みやすいまちであると思うかについては、「あまりそう思わない」が29.8%、次いで「そういうまちになりつつあると思う」が27.4%となっています。

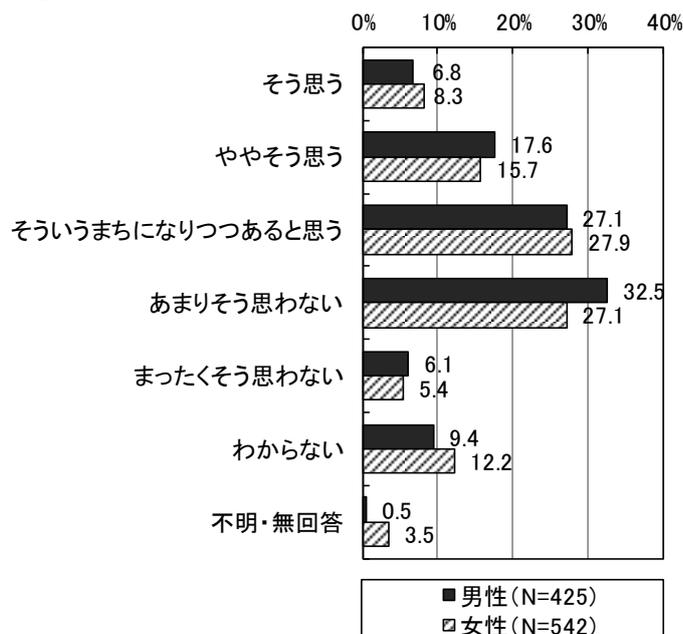
男女別にみると、【女性】では「そういうまちになりつつあると思う」が最も高くなっています。

年代別にみると、【60歳以上】では「そういうまちになりつつあると思う」が最も高くなっています。

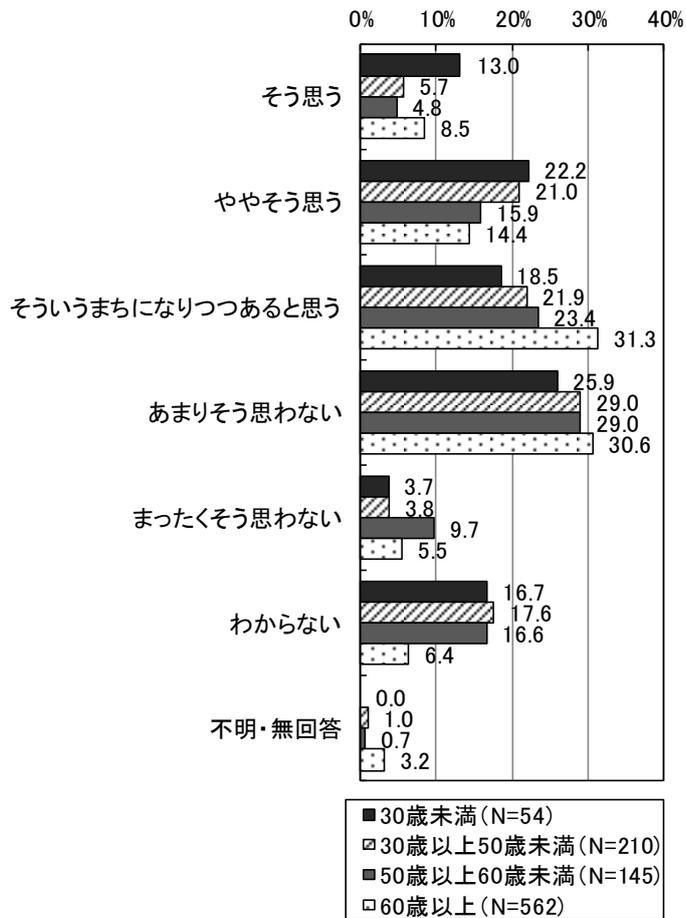
N=976



《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



(3) 亀岡市は、障がいのある人が住みやすいまちであると思うか〈単数回答〉

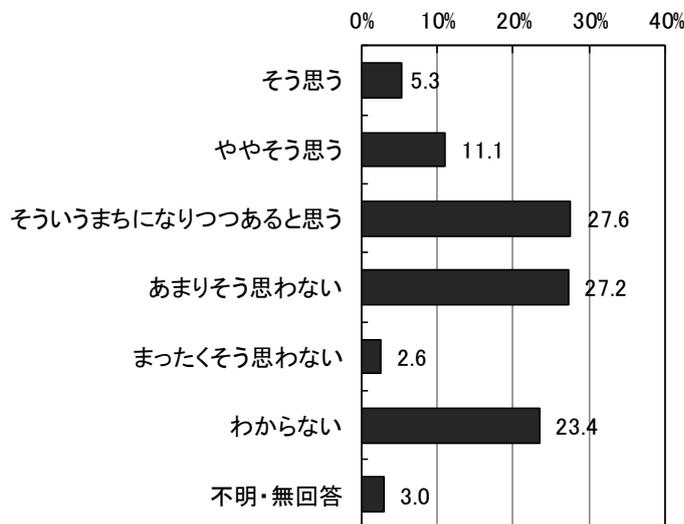
〔問 18 亀岡市では、障がいの有無に関わらず誰もが暮らしやすいまちづくりを目指し「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」を制定し、手話をはじめとする多様なコミュニケーション手段の普及に努めるとともに、手話通訳者の採用、デジタルサイネージの導入等を進め、誰もが支え合いながら豊かに暮らすことができる地域社会づくりに取り組んできました。亀岡市は、障がいのある人が住みやすいまちであると思いますか。次のうちから番号を1つ選んで、○をつけてください。〕

亀岡市は、障がいのある人が住みやすいまちであると思うかについては、「そういうまちになりつつあると思う」が 27.6%で最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 27.2%となっています。

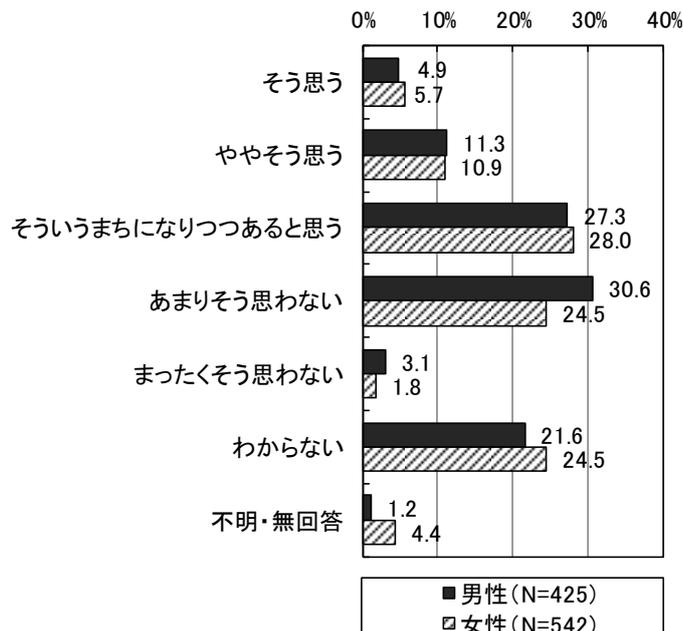
男女別にみると、【男性】では「あまりそう思わない」が最も高くなっています。

年代別にみると、【30歳未満】【60歳以上】では「そういうまちになりつつあると思う」、【30歳以上50歳未満】【50歳以上60歳未満】では「あまりそう思わない」が最も高くなっています。

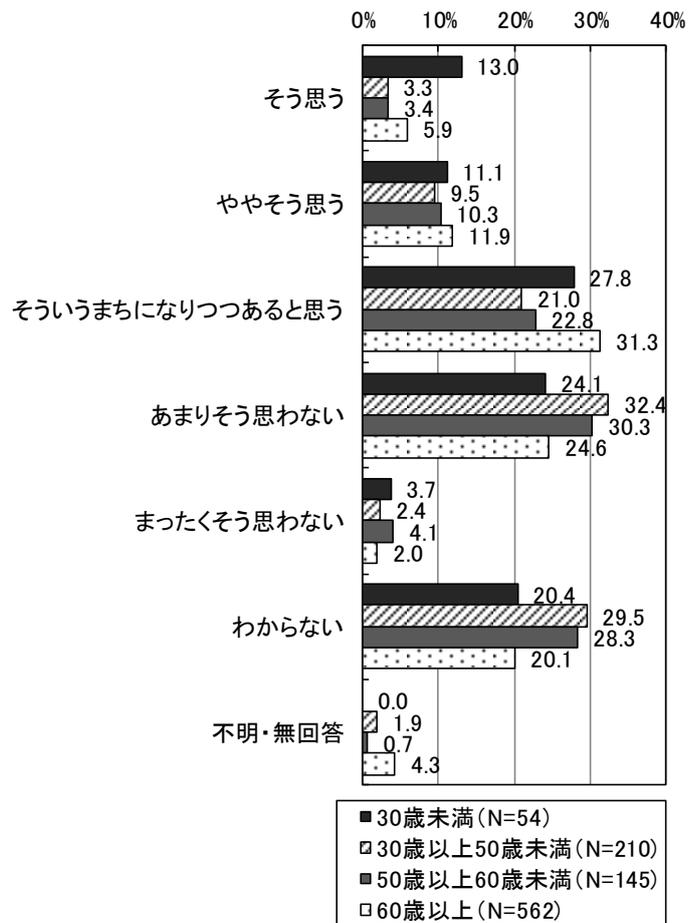
N=976



〈男女別クロス集計〉



《年代別クロス集計》



7 社会教育について

(1) 亀岡市の社会教育について今後大切な取組〈複数回答〉

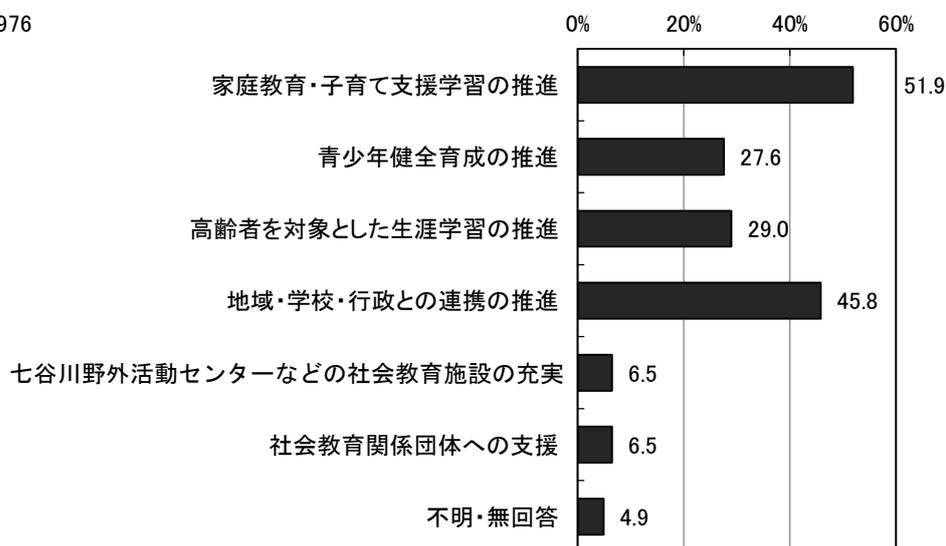
〔問 19 亀岡市では、子育て・教育で憧れのまちを目指しており、青少年から子育て世代、高齢者までの幅広い世代を対象に様々な社会教育事業を展開しています。あなたは、亀岡市の社会教育について今後どのような取組が大切だとお考えですか。特に重視する番号を2つまで選んで、○をつけてください。〕

亀岡市の社会教育について今後大切な取組については、「家庭教育・子育て支援学習の推進」が51.9%で最も高く、次いで「地域・学校・行政との連携の推進」が45.8%となっています。

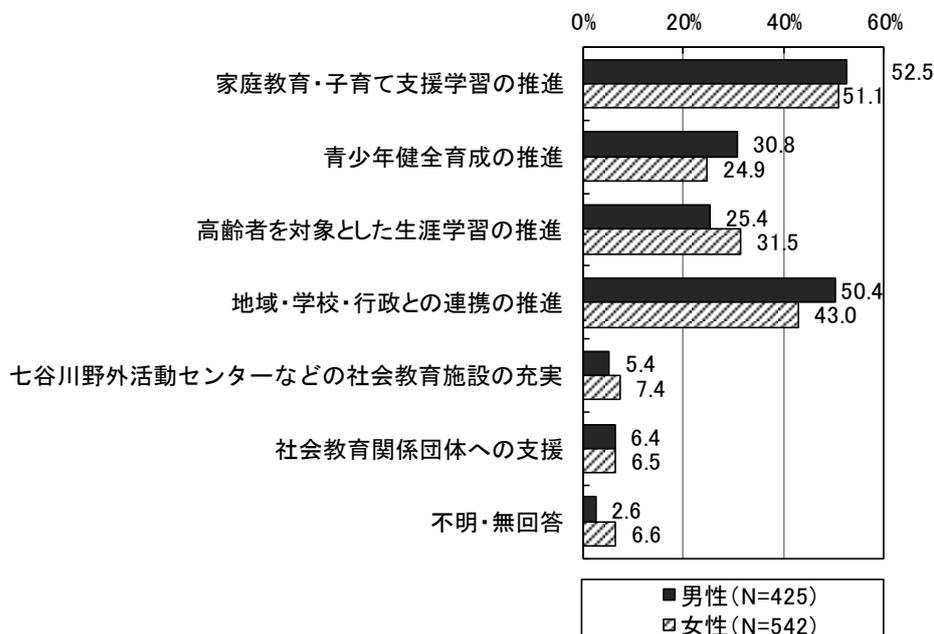
男女別にみると、「地域・学校・行政との連携の推進」について、【男性】が【女性】を7.4ポイント上回っています。

年代別にみると、【60歳以上】では「地域・学校・行政との連携の推進」が最も高くなっています。

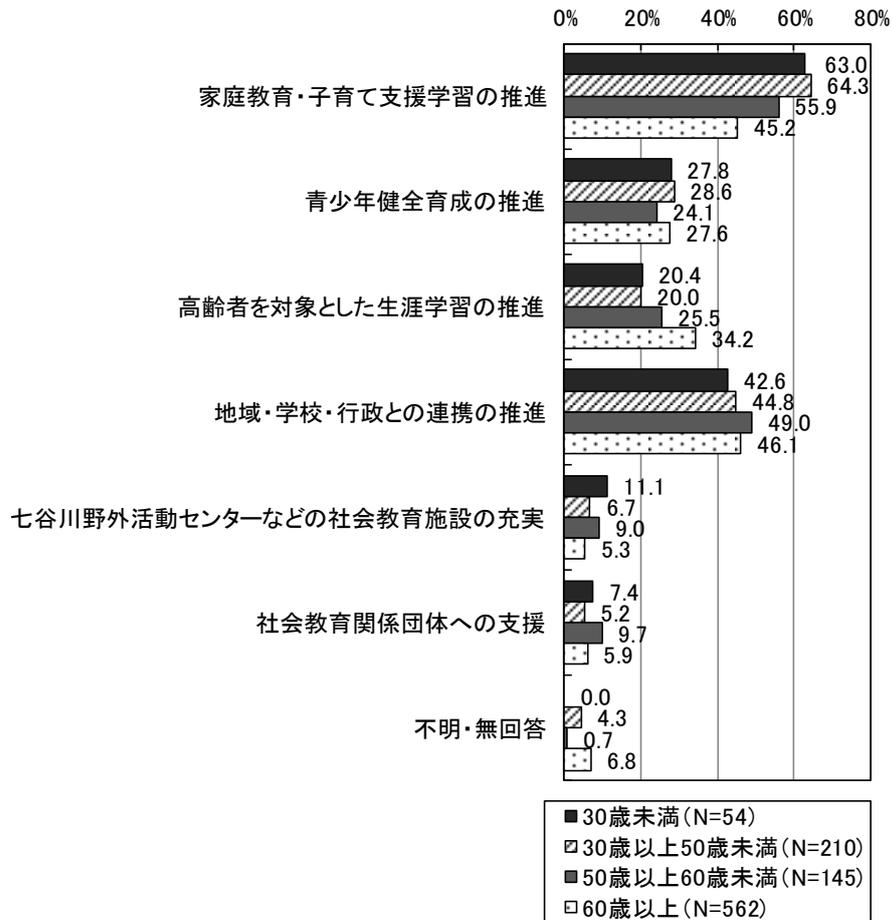
N=976



◀男女別クロス集計▶



《年代別クロス集計》



8 文化政策について

(1) 将来、亀岡市の文化的な魅力を高めていくため、特に力を入れていくべき取組

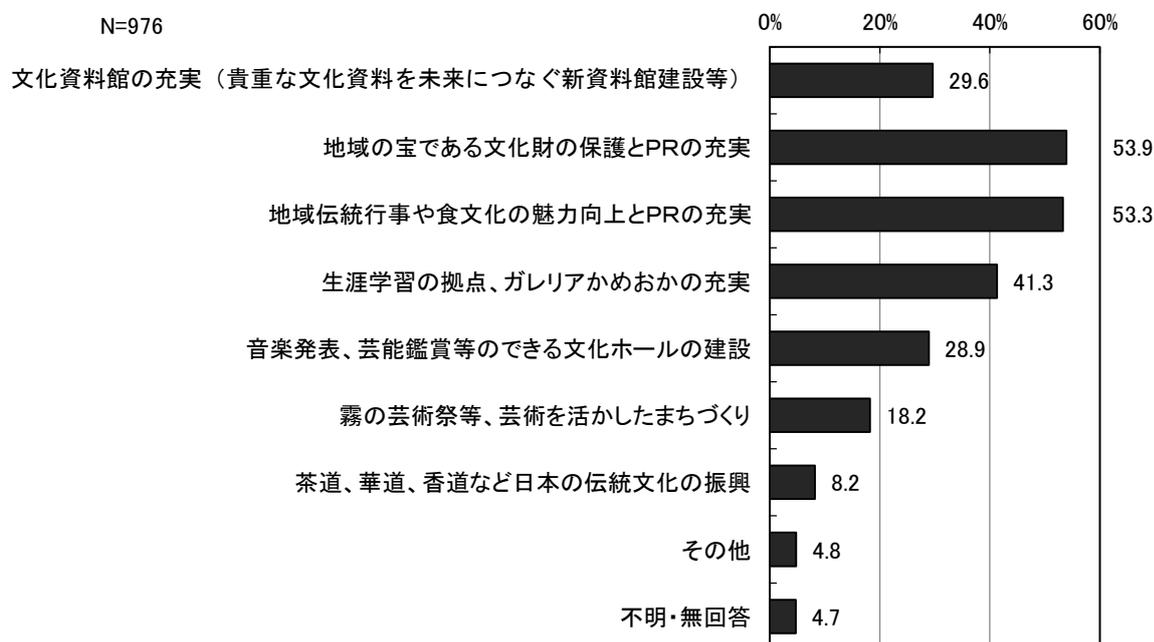
〈複数回答〉

〔問 20 令和3年度を目途に、文化庁の京都移転準備が進められ、国際観光文化都市・京都に隣接する亀岡市には、文化の薫るまちづくりのなお一層の推進が期待されています。将来、亀岡市の文化的な魅力を高めていくため、特に力を入れていくべき取組とお考えの番号を3つまで選んで、○をつけてください。「8 その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記載してください。〕

将来、亀岡市の文化的な魅力を高めていくため、特に力を入れていくべき取組については、「地域の宝である文化財の保護とPRの充実」が53.9%で最も高く、次いで「地域伝統行事や食文化の魅力向上とPRの充実」が53.3%、「生涯学習の拠点、ガレリアかめおかの充実」が41.3%となっています。

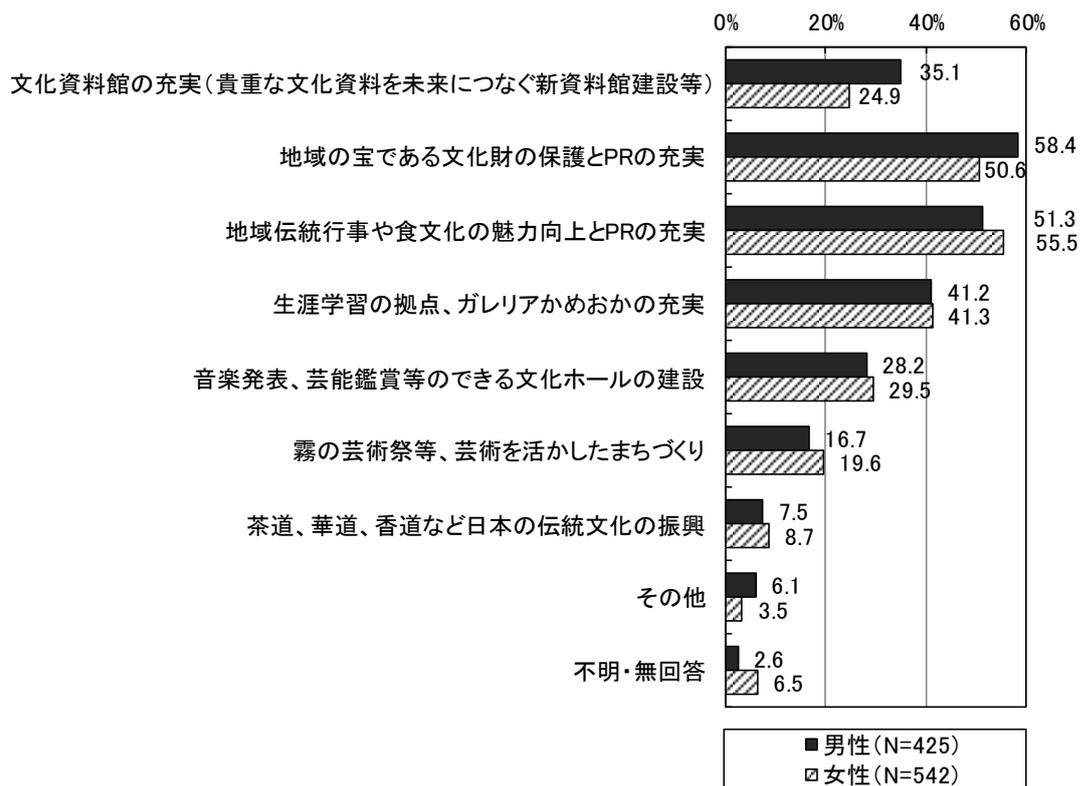
男女別にみると、【女性】では「地域伝統行事や食文化の魅力向上とPRの充実」が最も高くなっています。また、「地域の宝である文化財の保護とPRの充実」について、【男性】が【女性】を7.8ポイント上回っています。

年代別にみると、【30歳未満】【30歳以上50歳未満】【50歳以上60歳未満】では「地域伝統行事や食文化の魅力向上とPRの充実」、【60歳以上】では「地域の宝である文化財の保護とPRの充実」が最も高くなっています。

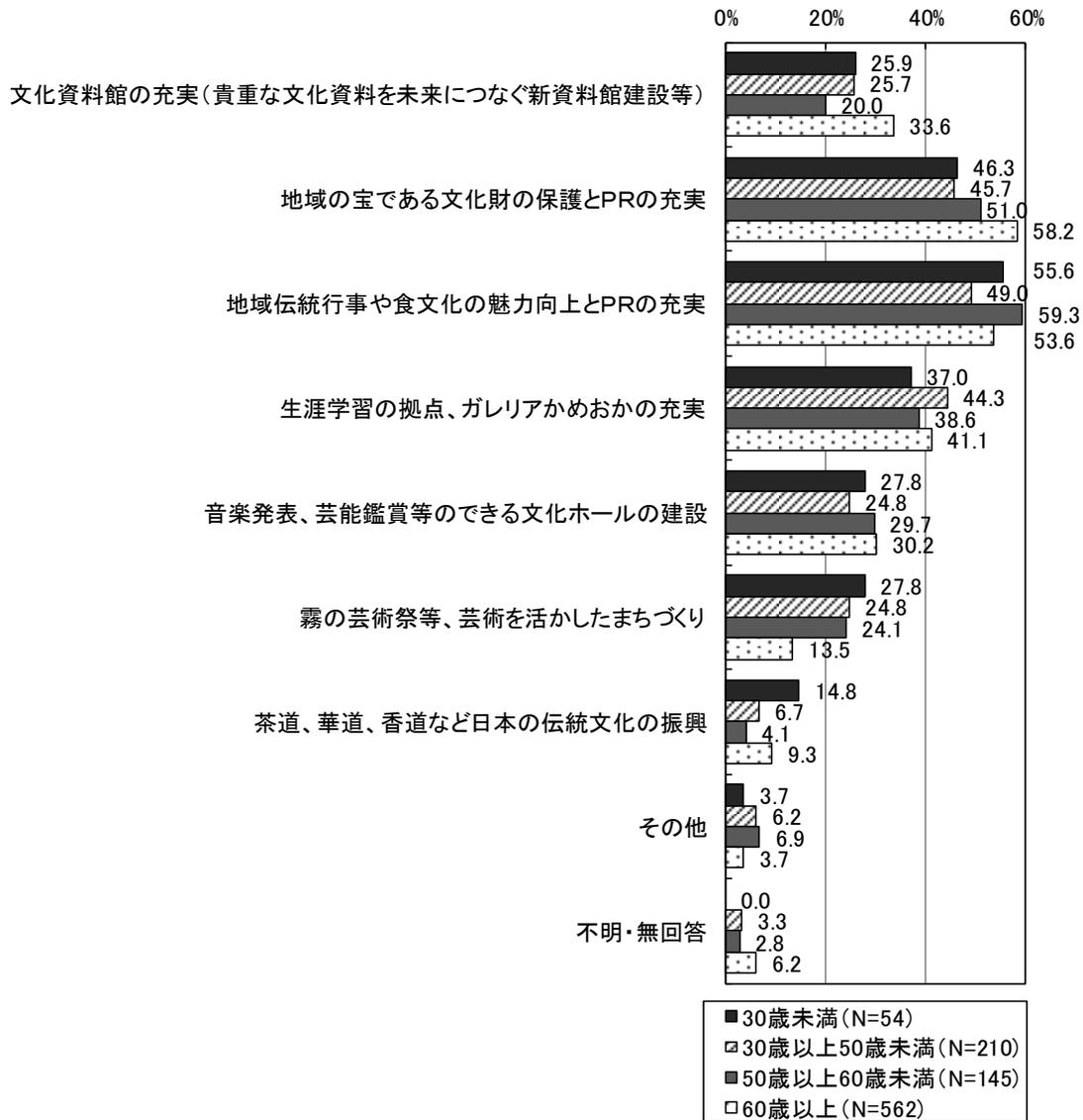


その他	件数
自然・文化を活かした施設、宿泊施設・飲食店の充実	10
歴史・文化の継承、PR、情報発信力	10
地域のインフラ整備、京都市へのアクセス	3
気軽に参加できるイベント・文化行事	2
景観を意識したまちづくり	3
文化的施策の展開	2
地域住民の意識向上活動	1
京都市にはないユニークな観光事業	1
必要性を感じない	4

《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



9 環境について

(1) 環境問題に対して、特に大切な取組〈複数回答〉

〔問21 地球環境への意識が世界規模で高まっていますが、あなたは環境問題に対して、特にどのような取組をしていくことが大切だと思いますか。次のうちから2つまで番号を選んで、○をつけてください。「9 その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記載してください。〕

環境問題に対して、特に大切な取組については、「森林・河川の保護や美化など、自然環境の保全」が51.9%で最も高く、次いで「ごみの減量化、リサイクルへの取組」が43.1%、「省エネや自然エネルギーの活用など、エネルギー資源の有効活用」が27.7%となっています。

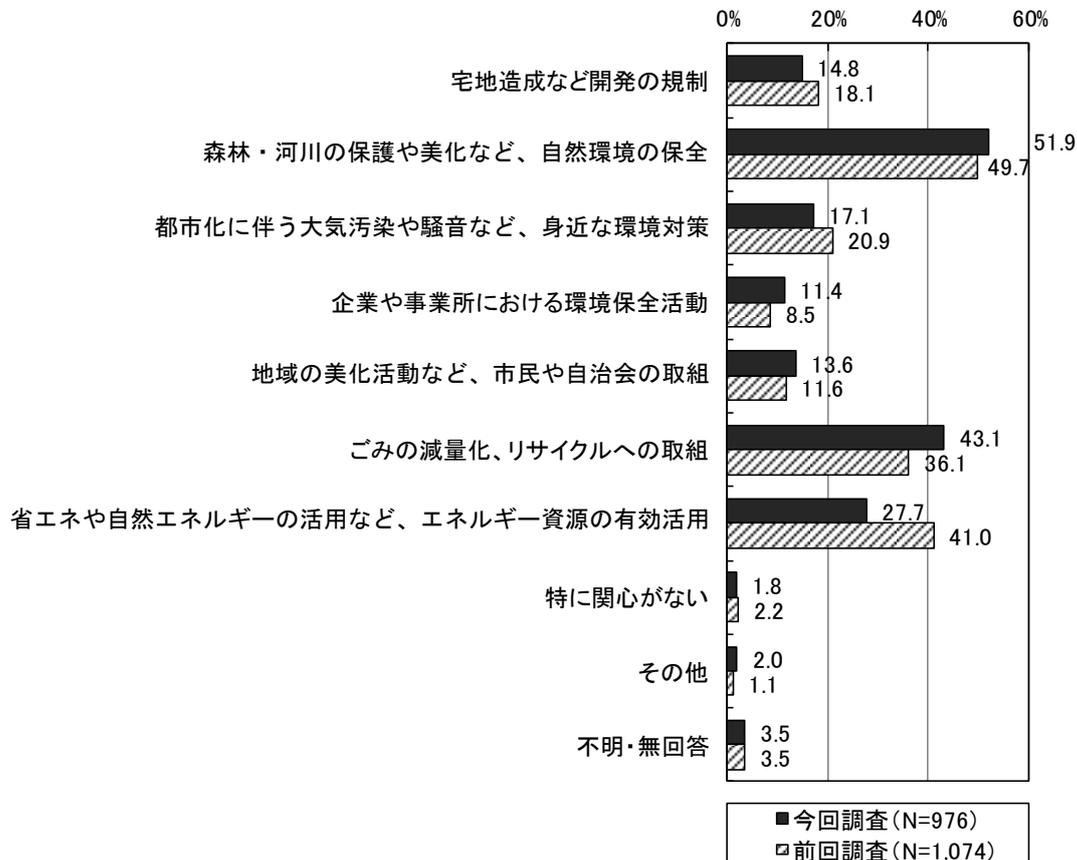
前回調査との比較では、「ごみの減量化、リサイクルへの取組」については7.0ポイント増加している一方、「省エネや自然エネルギーの活用など、エネルギー資源の有効活用」については13.3ポイント減少しています。

男女別にみると、「ごみの減量化、リサイクルへの取組」について【女性】が【男性】を9.1ポイント上回っています。

年代別にみると、【30歳未満】【60歳以上】では「森林・河川の保護や美化など、自然環境の保全」、【30歳以上50歳未満】【50歳以上60歳未満】では「ごみの減量化、リサイクルへの取組」が最も高くなっています。

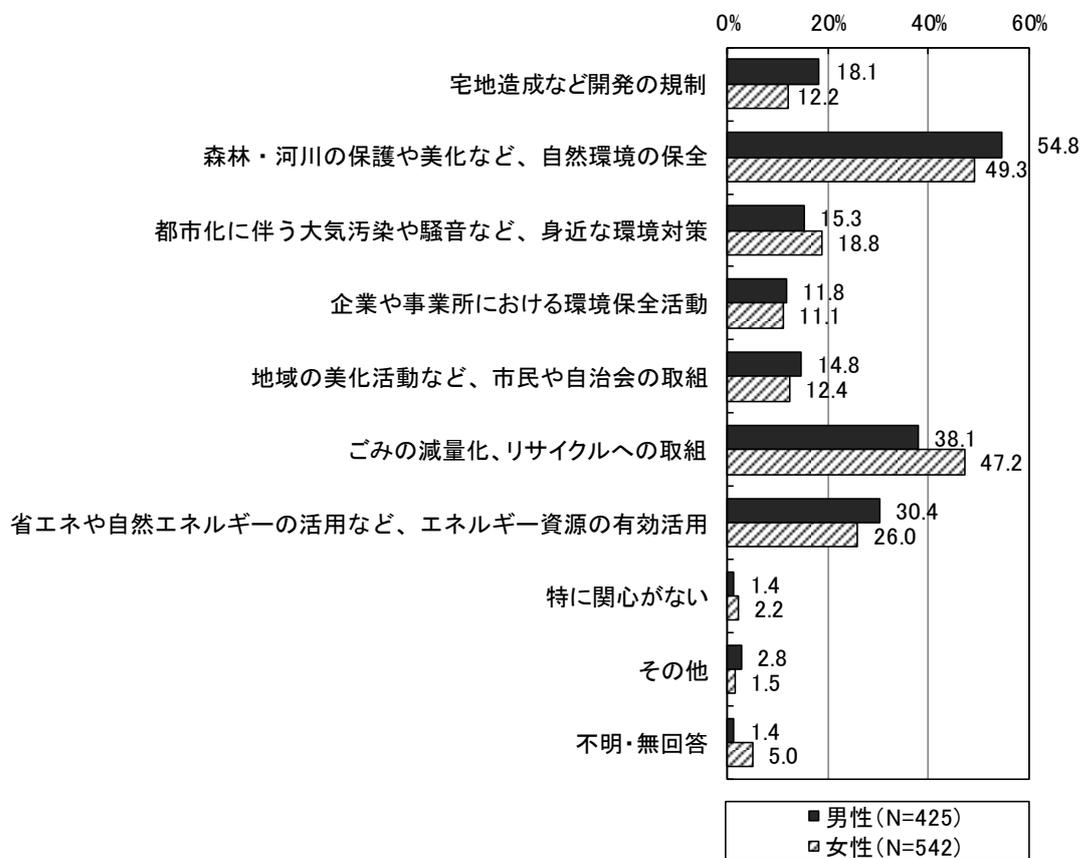
居住年数別にみると、【20年以上～30年未満】では「ごみの減量化、リサイクルへの取組」「森林・河川の保護や美化など、自然環境の保全」がともに最も高くなっています。

関心別にみると、いずれの回答も大きな差はみられません。

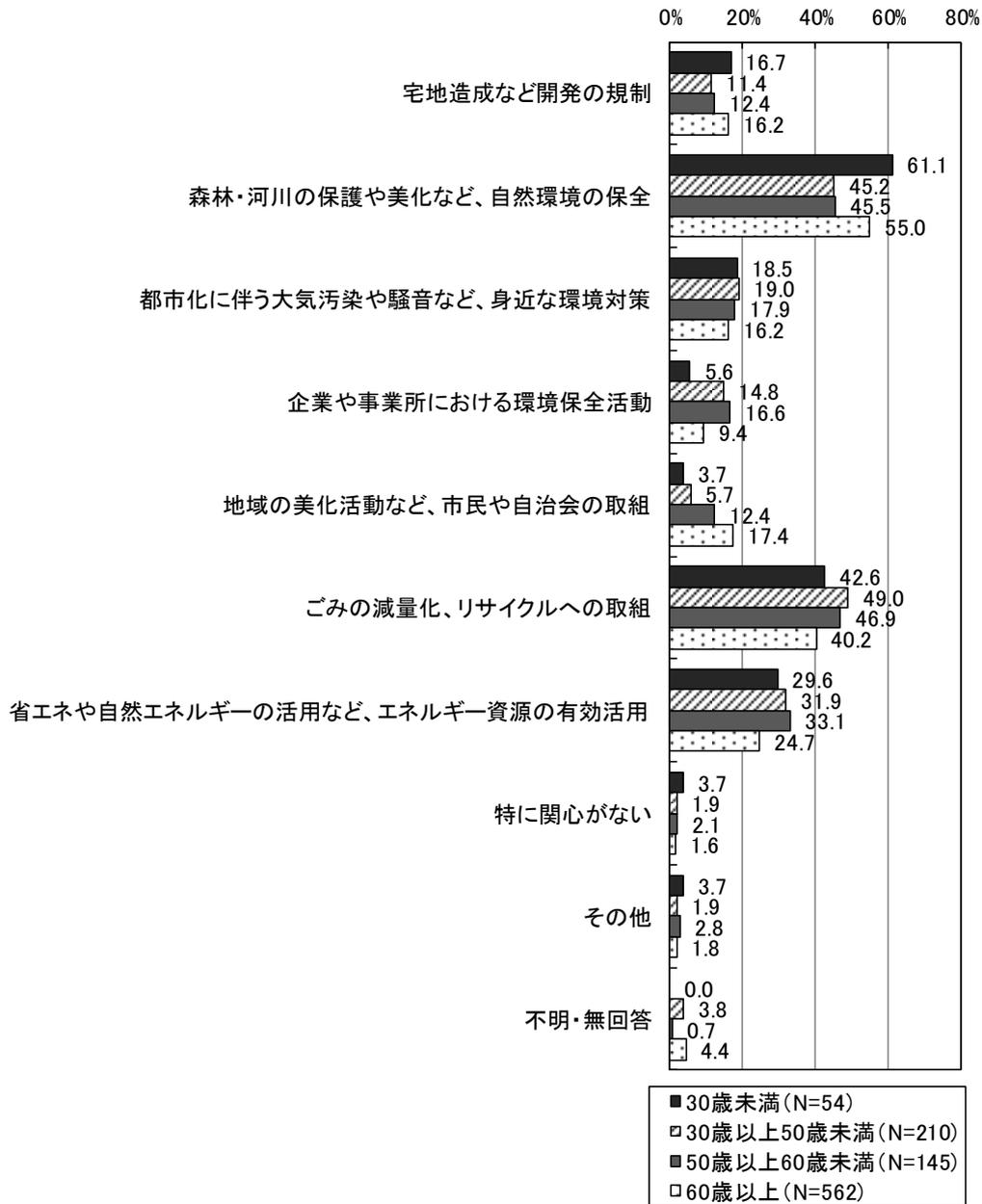


その他	件数
環境保全、農地の活用、ノーマイカーの推進、里山の整備、リサイクル	15
不法投棄・ポイ捨て、廃棄食材ゼロ	2
利権の絡んだ環境活動に安直に加担しないこと	1
無駄な建物をつくらない	1
もうすでに十分な取組がされている	1

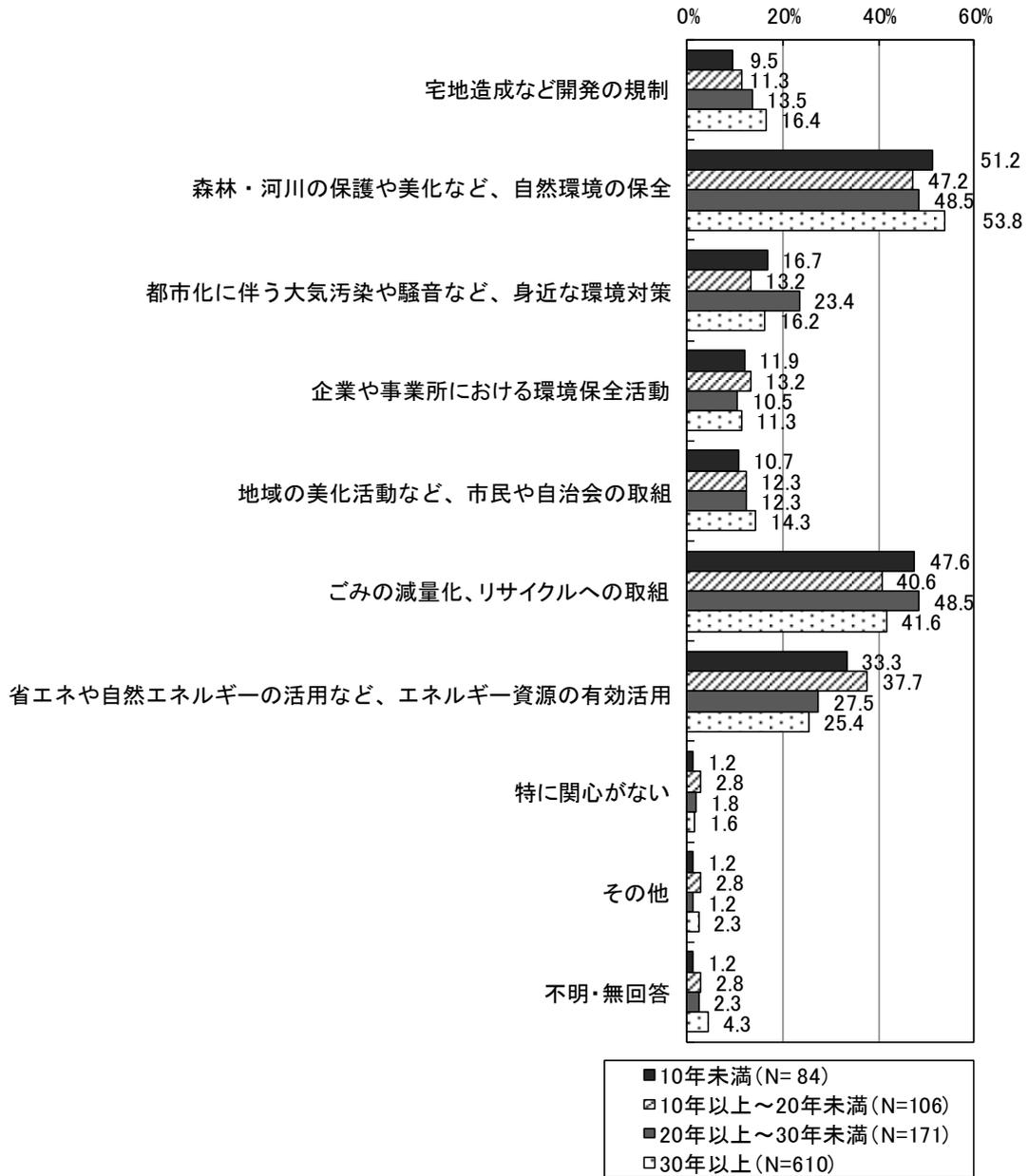
《男女別クロス集計》



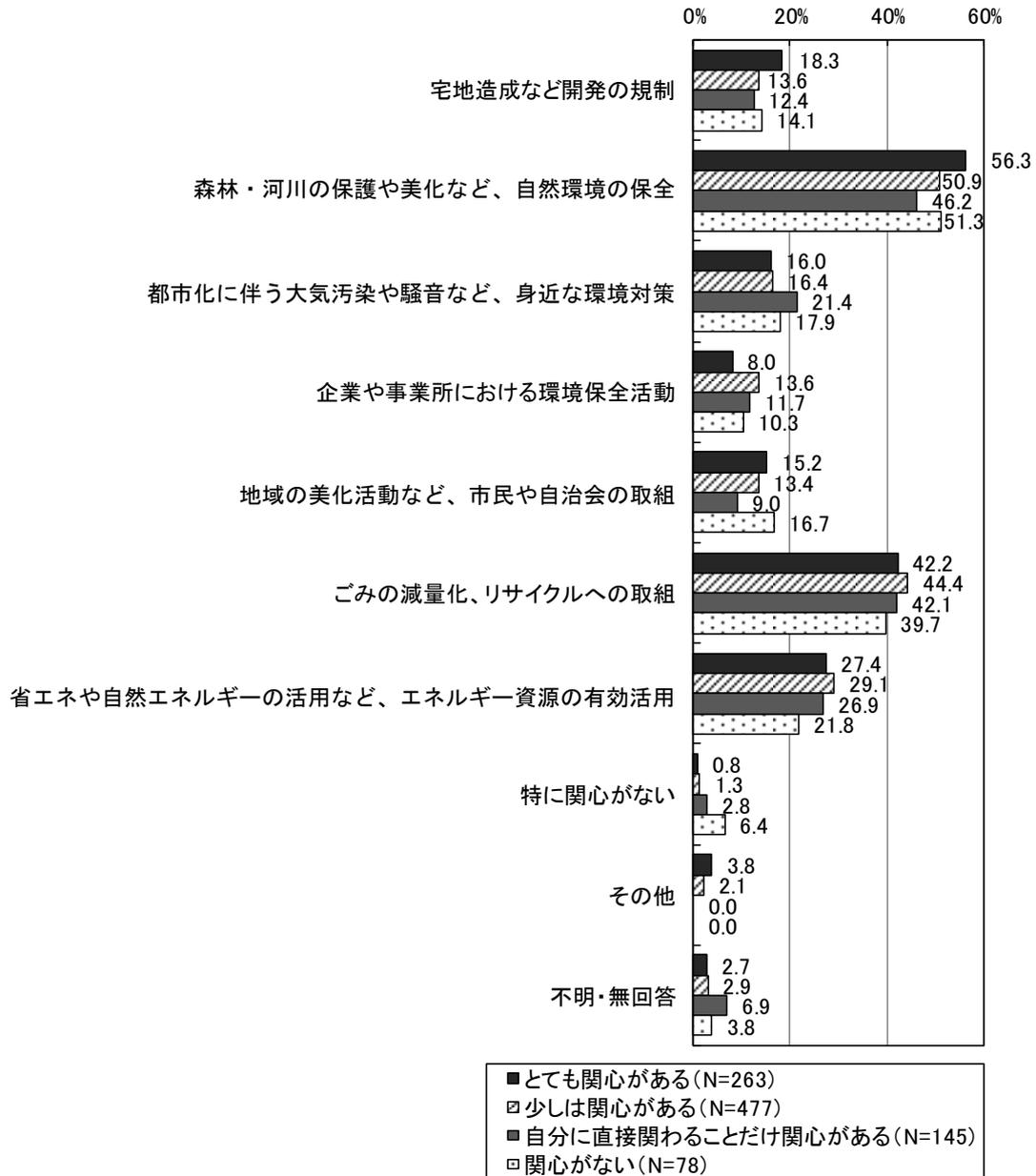
《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



《関心別クロス集計》



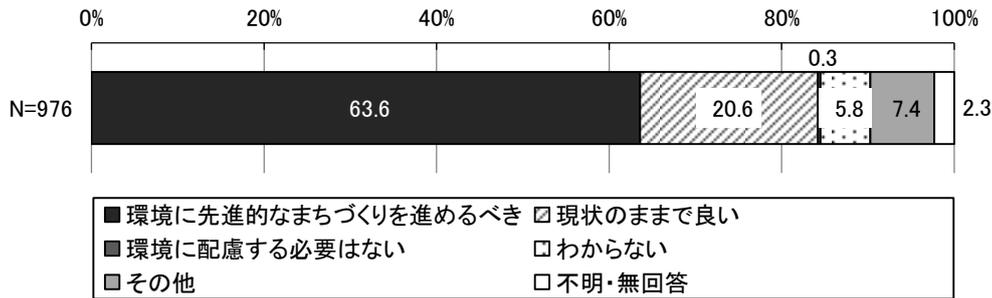
(2) 『世界に誇れる環境先進都市』の実現に向けた取組について〈単数回答〉

〔問 22 亀岡市では、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発表し、アユモドキをはじめとする多様な川の生態系等、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』の実現に向け、その第一歩としてプラスチック製レジ袋の廃止に向けた取組を進め、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指しています。あなたのお考えに近いものを次のうちから1つ選んで、番号に○をつけてください。「5 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

世界に誇れる環境先進都市の実現に向けた取組については、「環境に先進的なまちづくりを進めるべき」が63.6%、次いで「現状のままで良い」が20.6%となっています。

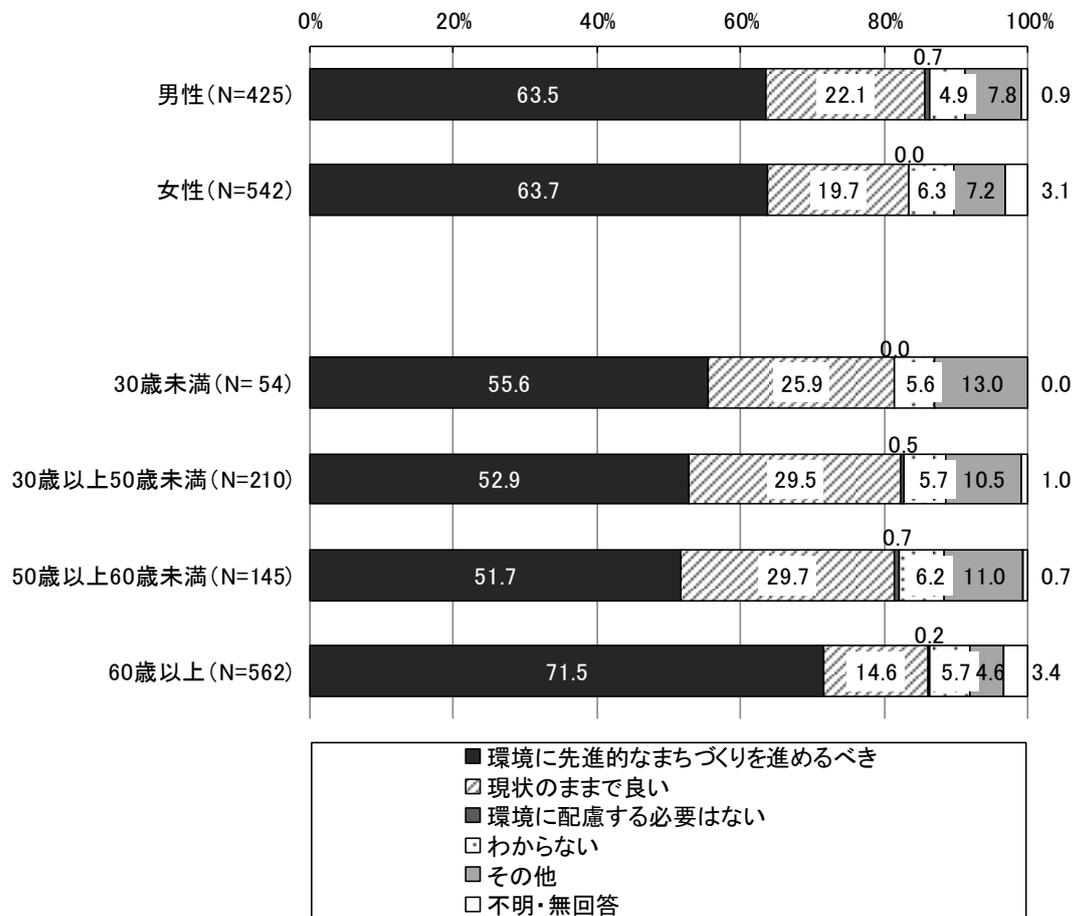
男女別にみると、いずれの回答も大きな差はみられません。

年代別にみると、「環境に先進的なまちづくりを進めるべき」について【60歳以上】が他の年代より高くなっています。



その他	件数
ポイ捨てへの市民・企業の意識、マナー向上、レジ袋・ナイロン袋の代替案	17
レジ袋は必要、有料化、リサイクル、レジ袋以外のゴミもゼロを目指すべき	16
具体的な内容、メリット・デメリットを明確に慎重に進めるべき	14
環境保全、スタジアム・住宅の建設に行政の矛盾を感じる	7
罰則・強引なやり方が気に入らない、市民・企業に理解されるようにすべき	4
他市・他町と協力すべき	4
レジ袋廃止は反対	2
道路整備に税金を使うべき	1
即実施すべき	1
プラスチックは悪ではない	1
優先順位が低いのではないか	1
亀岡で買い物控えることにならないか	1
消費者の負担が大きい(レジ袋の有料化)	1

《男女別・年代別クロス集計》



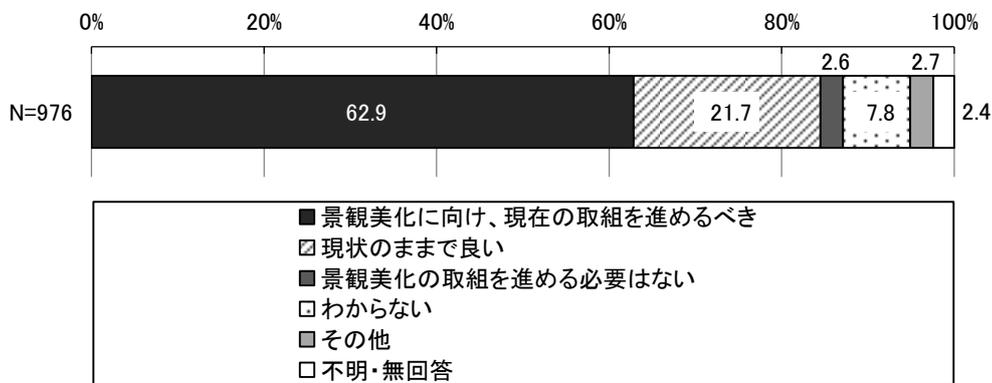
(3) 花と緑による快適で潤いのある美しい景観づくり〈単数回答〉

〔問 23 亀岡市では、「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想」を策定し、市民の皆様とともに花と緑による快適で潤いのある美しい景観づくりを推進しています。その一環として、市外からの来訪者を気持ちよくお迎えするウェルカムガーデンの作庭や「オープンガーデンかめおか」の実施などに取り組んでいます。また、「かめおか桜守認定制度」を創設し、市民ボランティアである「かめおか桜守」によって、市の木「桜」を守り育てる取組を行うなど、魅力あふれる花と緑の庭園都市の実現に向け、取組を進めているところです。あなたのお考えに近いものを次のうちから番号を1つ選んで、○をつけてください。「5 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

花と緑による快適で潤いのある美しい景観づくりについては、「景観美化に向け、現在の取組を進めるべき」が62.9%で最も高く、次いで「現状のままで良い」が21.7%となっています。

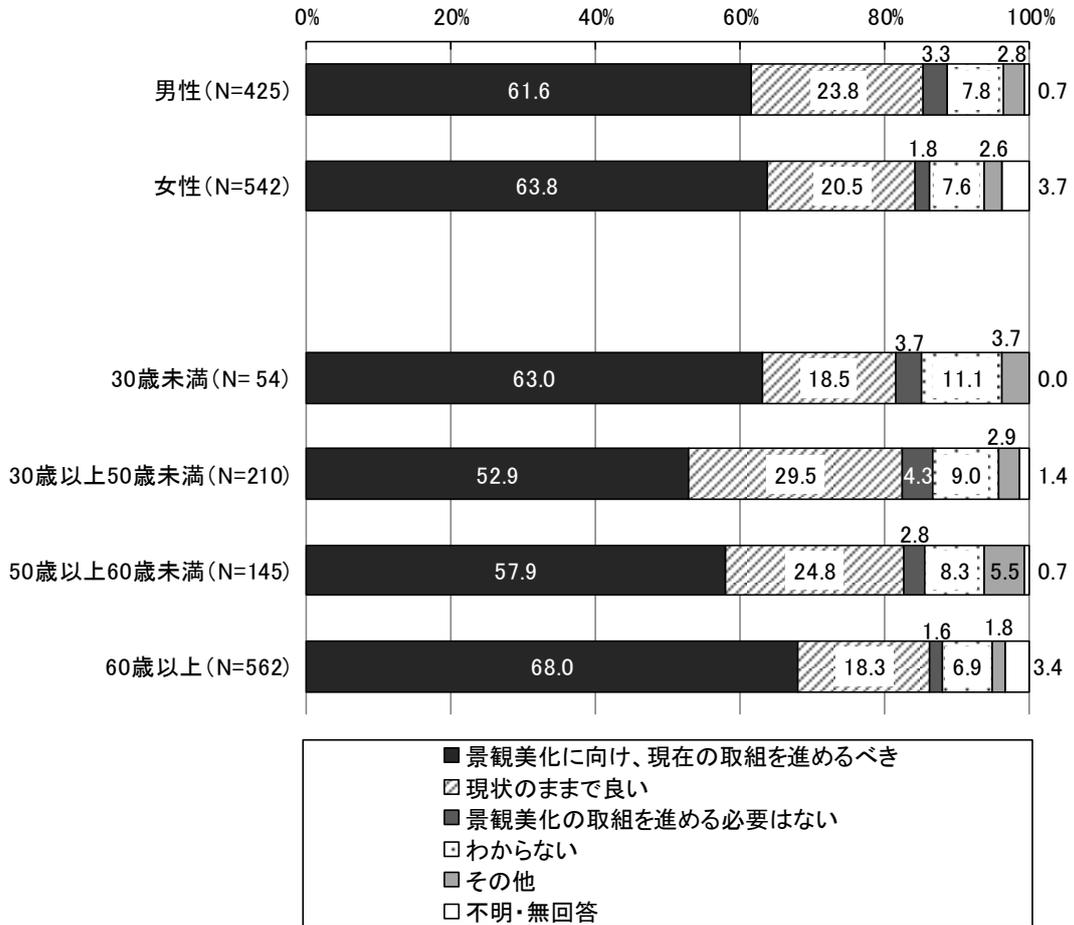
男女別にみると、いずれの回答も大きな差はみられません。

年代別にみると、「景観美化に向け、現在の取組を進めるべき」について【30歳以上50歳未満】が他の年代よりやや低くなっています。



その他	件数
河川・水路の緑化、田園・森林・水源の景観、花木の手入れ、除草、ゴミ	7
カフェ・レストランの併設、インスタ映えのスポット、魅力づくり	6
行政主体ではなく、市民主体で	2
景観よりも他にすることがあるのでは	2
中心部だけでなく、他のところも力を入れるべき	2
市立病院のために桜を切ったのに今更	1
認知度が低い	1
現存している緑を保全していく努力が必要	1
こだわりすぎないでほしい	1
長々と小規模では、あまり意味が無いのでは	1

《男女別・年代別クロス集計》



10 交通網について

(1) 最も整備を優先すべき道路交通網〈単数回答〉

〔問24 亀岡市と市外を結ぶ広域的な交通網についておうかがいします。あなたが最も整備を優先すべきだとお考えになる道路交通網と、その方面を次のうちからそれぞれ1つ番号を選んで、○をつけてください。「その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

最も整備を優先すべき道路交通網については、「新たな幹線道路（国道・府道等）の整備」が45.3%で最も高く、次いで「既設幹線道路の拡幅・整備・強靱化」が33.2%となっています。

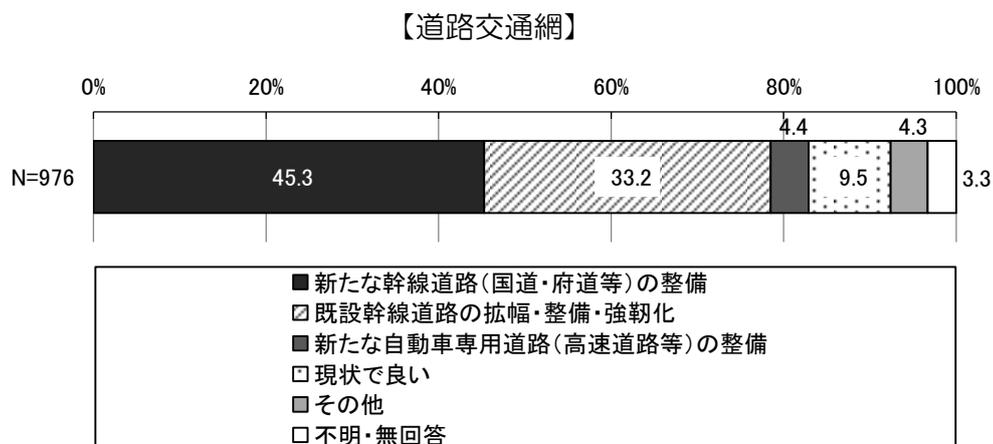
男女別にみると、「新たな幹線道路（国道・府道等）の整備」について【男性】が【女性】を6.3ポイント上回っています。

年代別にみると、【30歳未満】では、「既設幹線道路の拡幅・整備・強靱化」が最も高くなっています。

また、方面については、「京都市方面」が54.2%で最も高く、次いで「大阪北摂方面」が25.6%となっています。

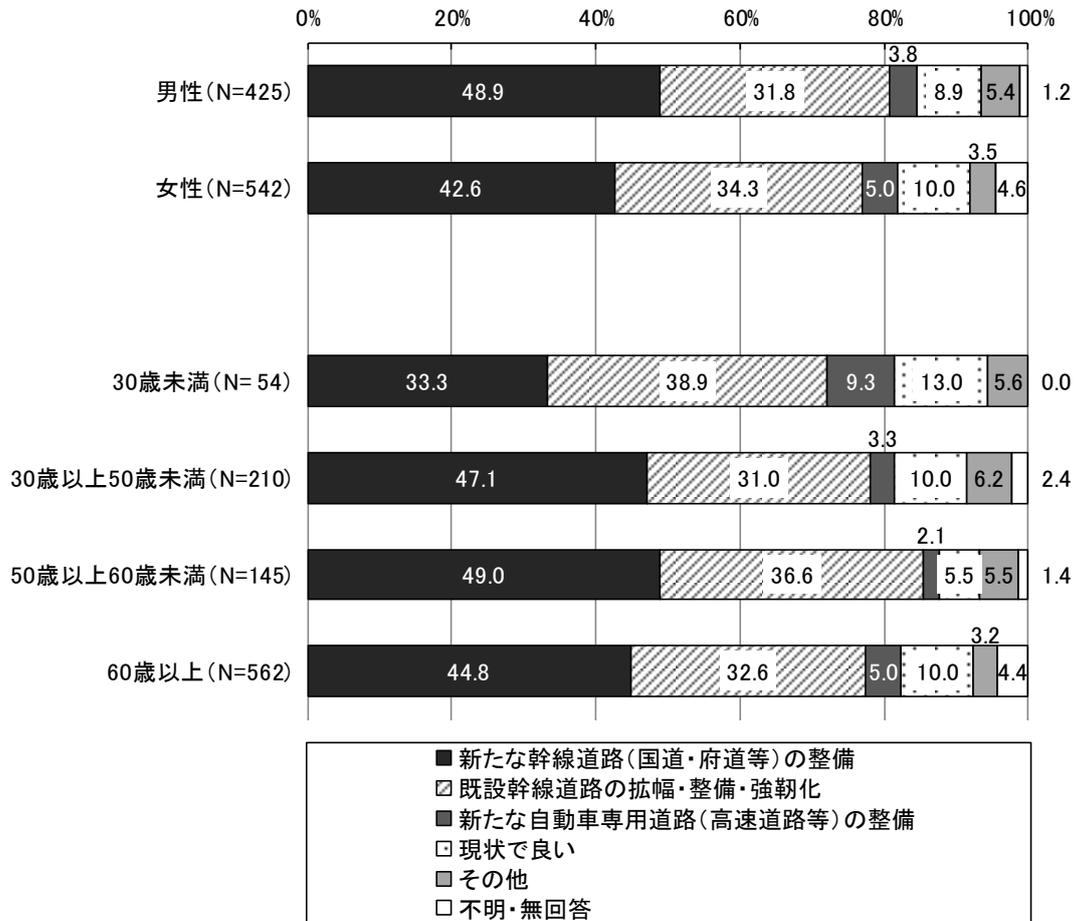
男女別にみると、いずれの回答も大きな差はみられません。

年代別にみると、「京都市方面」について【30歳未満】【30歳以上50歳未満】と【50歳以上60歳未満】【60歳以上】で、10ポイント以上の差がみられます。

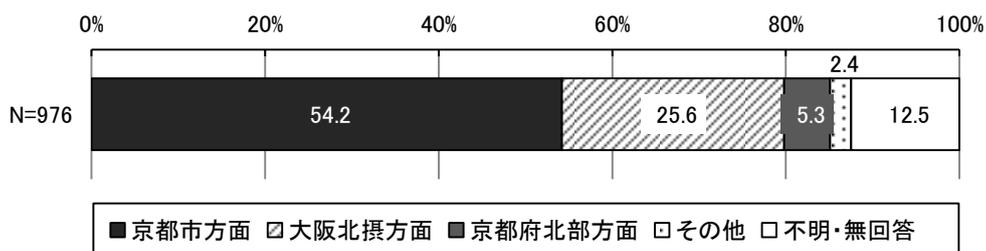


その他	
道路整備	25
公共交通機関・コミュニティバスの整備、充実	16

《男女別・年代別クロス集計》

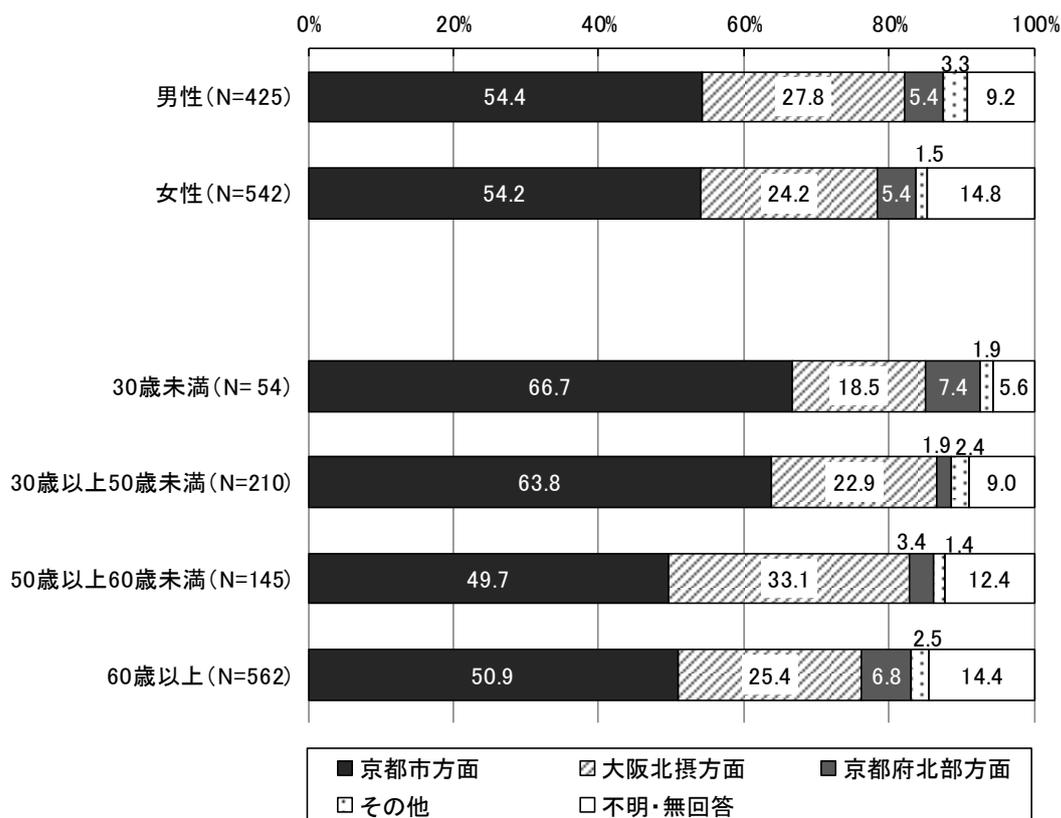


【方面】



その他	件数
亀岡市内、旧道、旧亀岡市内	7
京都市内への道	7
大阪、高槻市・枚方市	2
現状でいい	2
全方面	1

《男女別・年代別クロス集計》



11 大学との連携について

(1) 大学との連携に期待すること〈単数回答〉

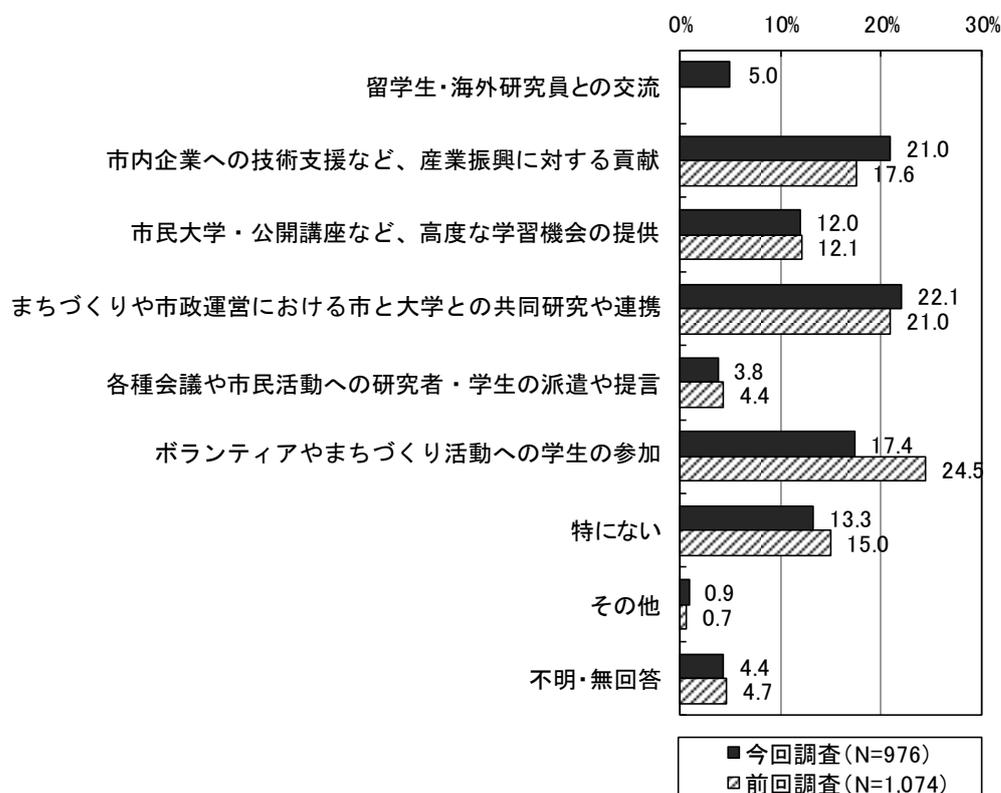
〔問 25 まちづくりで大学と協力する例が数多くみられますが、あなたは、本市のまちづくりにおいて、今後、京都先端科学大学をはじめとした各大学との連携に何を期待しますか。次のうちから番号を1つ選んで、○をつけてください。「8 その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記載してください。〕

大学との連携に何を期待することについては、「まちづくりや市政運営における市と大学の共同研究や連携」が 22.1%で最も高く、次いで「市内企業への技術支援など、産業振興に対する貢献」が 21.0%、「ボランティアやまちづくり活動への学生の参加」が 17.4%となっています。

男女別にみると、いずれの回答も大きな差はみられません。

年代別にみると、【30歳以上50歳未満】では「ボランティアやまちづくり活動への学生の参加」が最も高くなっています。

関心別にみると、『関心がない』では「特にない」が最も高くなっています。

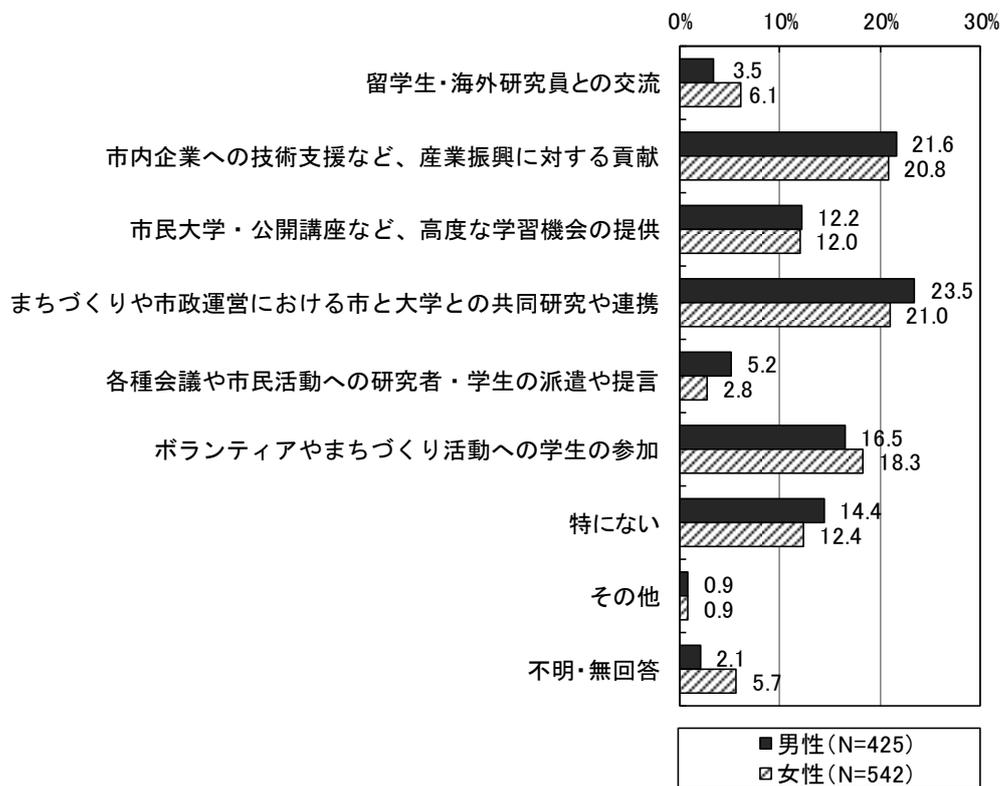


※「留学生・海外研究者との交流」は今回調査のみの選択肢

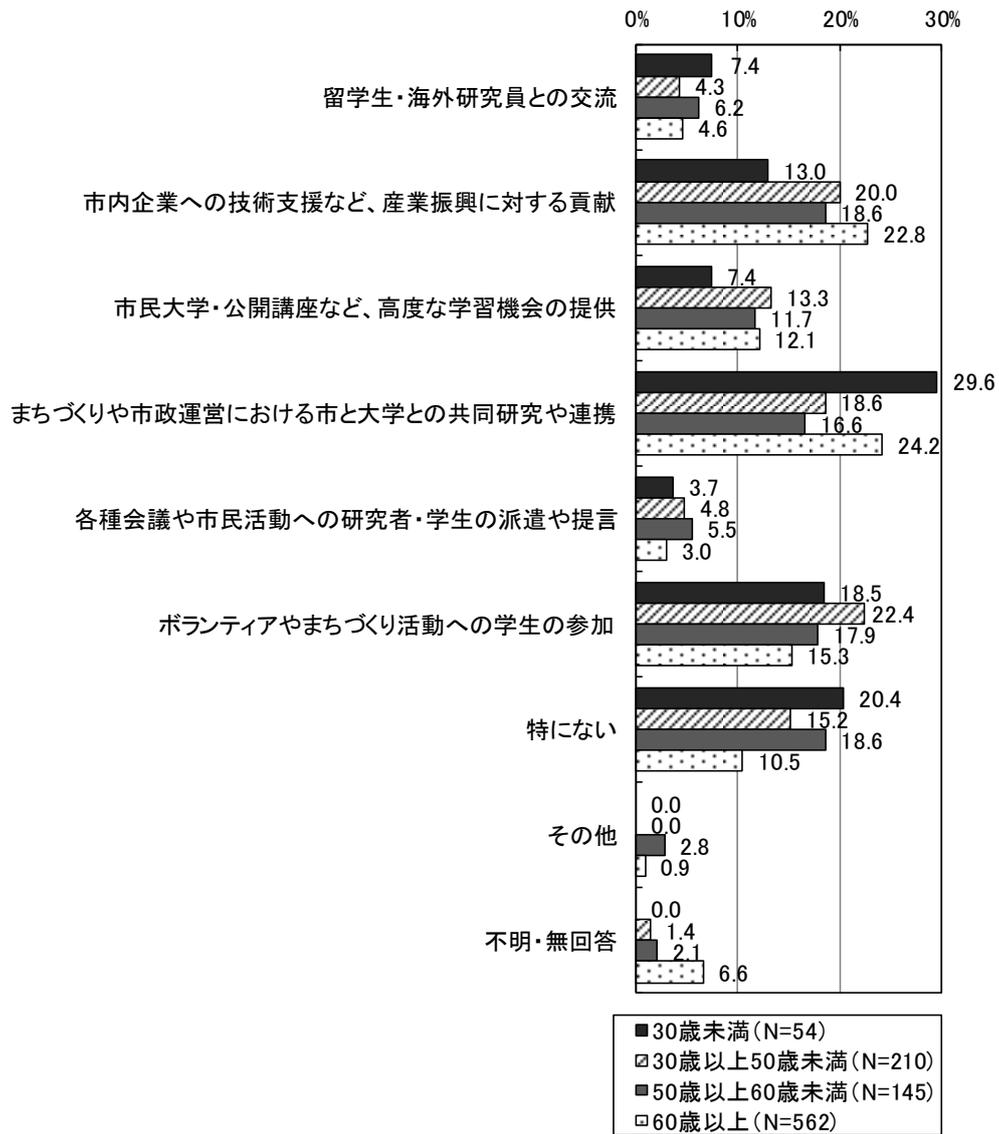
※単数回答に対して選択項目が増えたため、前回調査の数値は参考として掲載。

その他	件数
期待できない	2
災害から民を守れる人の育成	1
まずは協力し合う体制づくり	1
第6次産業支援、京都学園大は特徴がみえない、バイオ系、食品系、アグリ系の学科を誘致してほしい。	1
亀岡市の自然を活かした町づくり	1
農業分野の活動に学生が学びを活かし、具体的体験（育て、収穫する）で参加する等	1
元気アップ体操をもっと広め、健康寿命を延ばして若者の負担を減らしたい	1

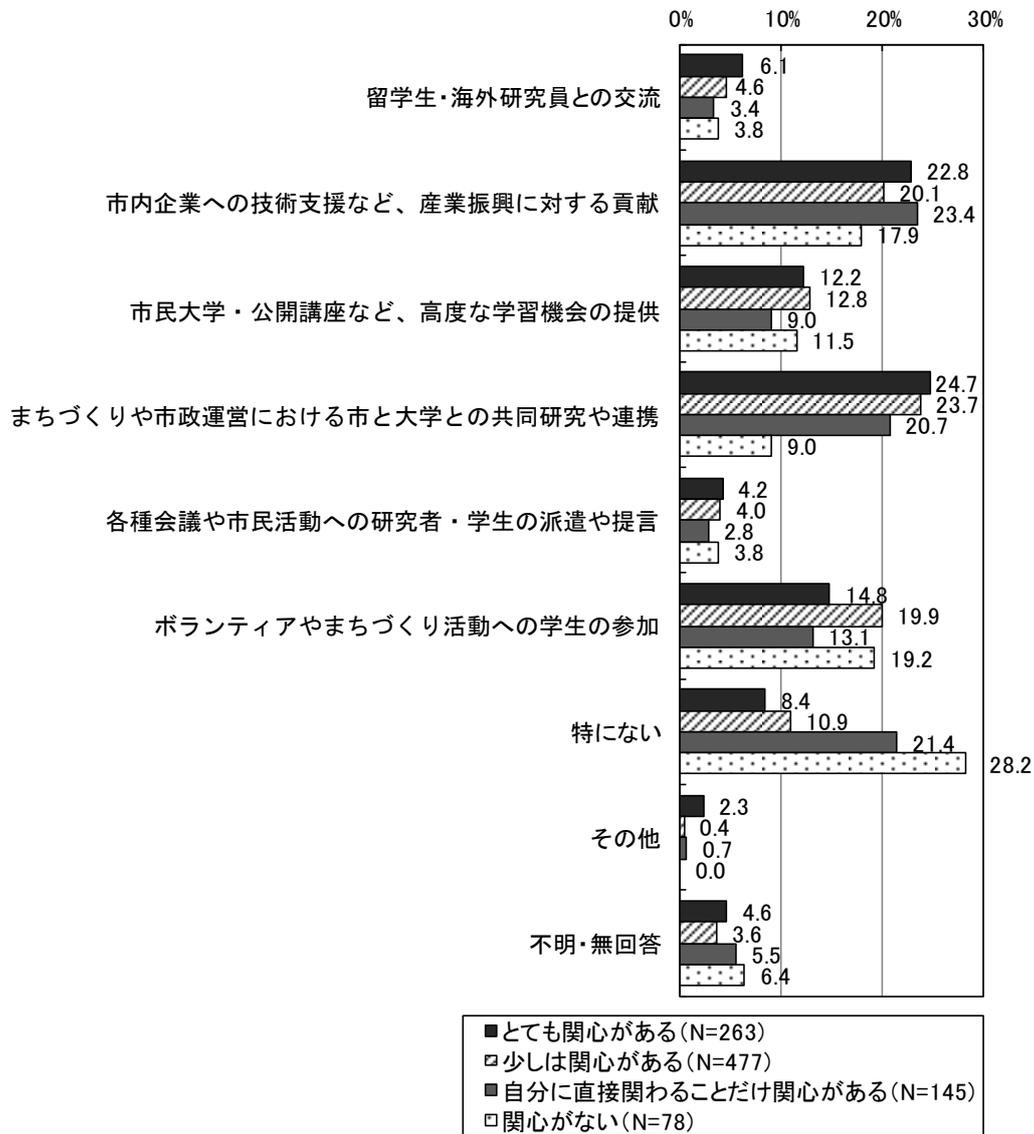
《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



《関心別クロス集計》



12 行政との関わりについて

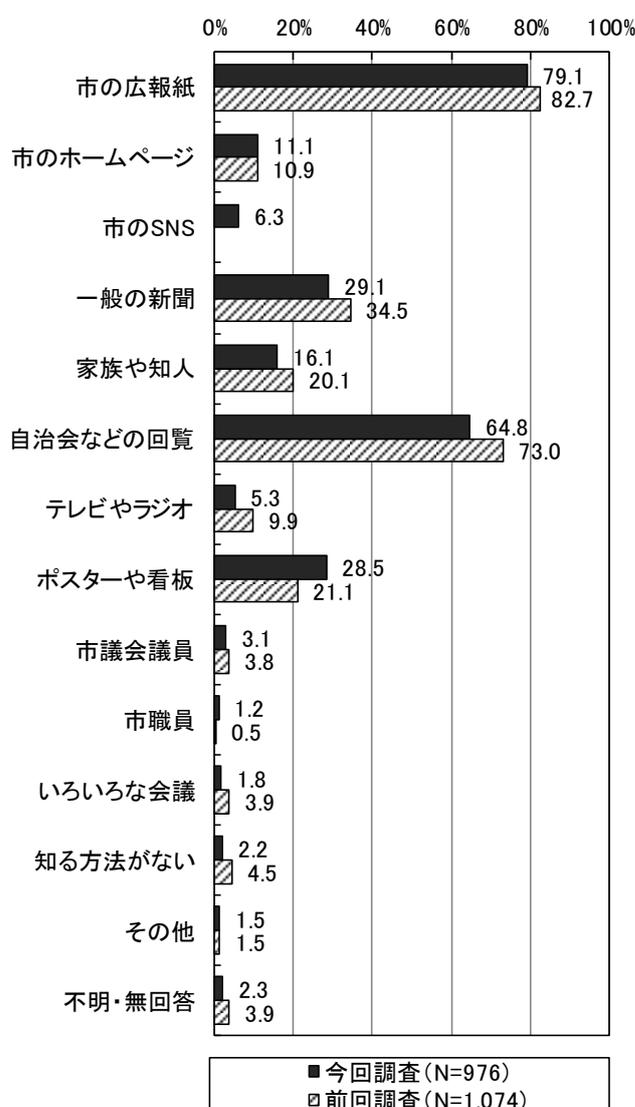
(1) 市政に関する情報や市が実施するイベント情報の入手手段〈複数回答〉

〔問26 市政に関する情報や市が実施するイベント情報などを、主として何からお知りになりますか。次のうちから番号を3つまで選んで、○をつけてください。「13 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

市政に関する情報や市が実施するイベント情報の入手手段については、「市の広報紙」が79.1%で最も高く、次いで「自治会などの回覧」が64.8%、「一般の新聞」が29.1%となっています。

前回調査との比較では、「自治会などの回覧」については8.2ポイント減少している一方、「ポスターや看板」については7.4ポイント増加しています。

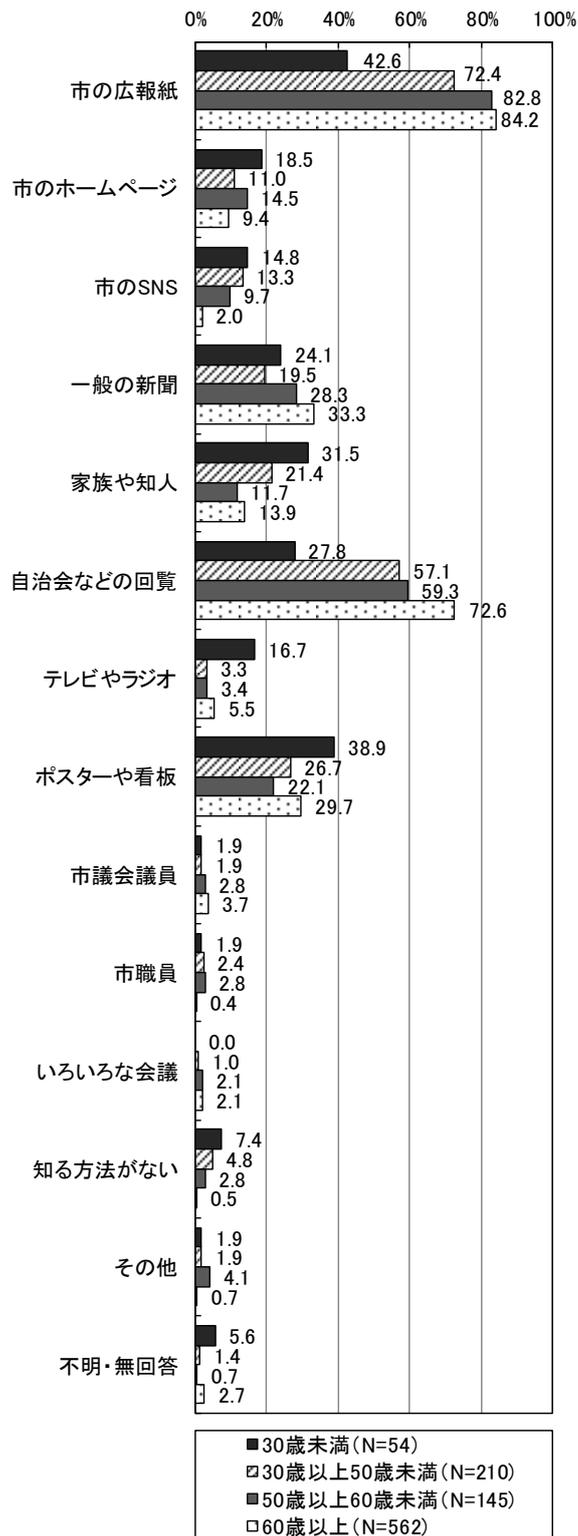
年代別にみると、各年代ともに「市の広報紙」が最も高く、年齢が上がるにつれて高くなっています。また、「自治会などの回覧」についても同様の傾向がみられます。



※「市の SNS」は今回調査のみの選択肢

その他	件数
ネット、SNS、駅のポスター、新聞	6
学校からのプリント	3
情報発信をすべき	2
知る気がない	2
カラー版にお金をかけすぎ	1

《年代別クロス集計》



13 まちの将来について

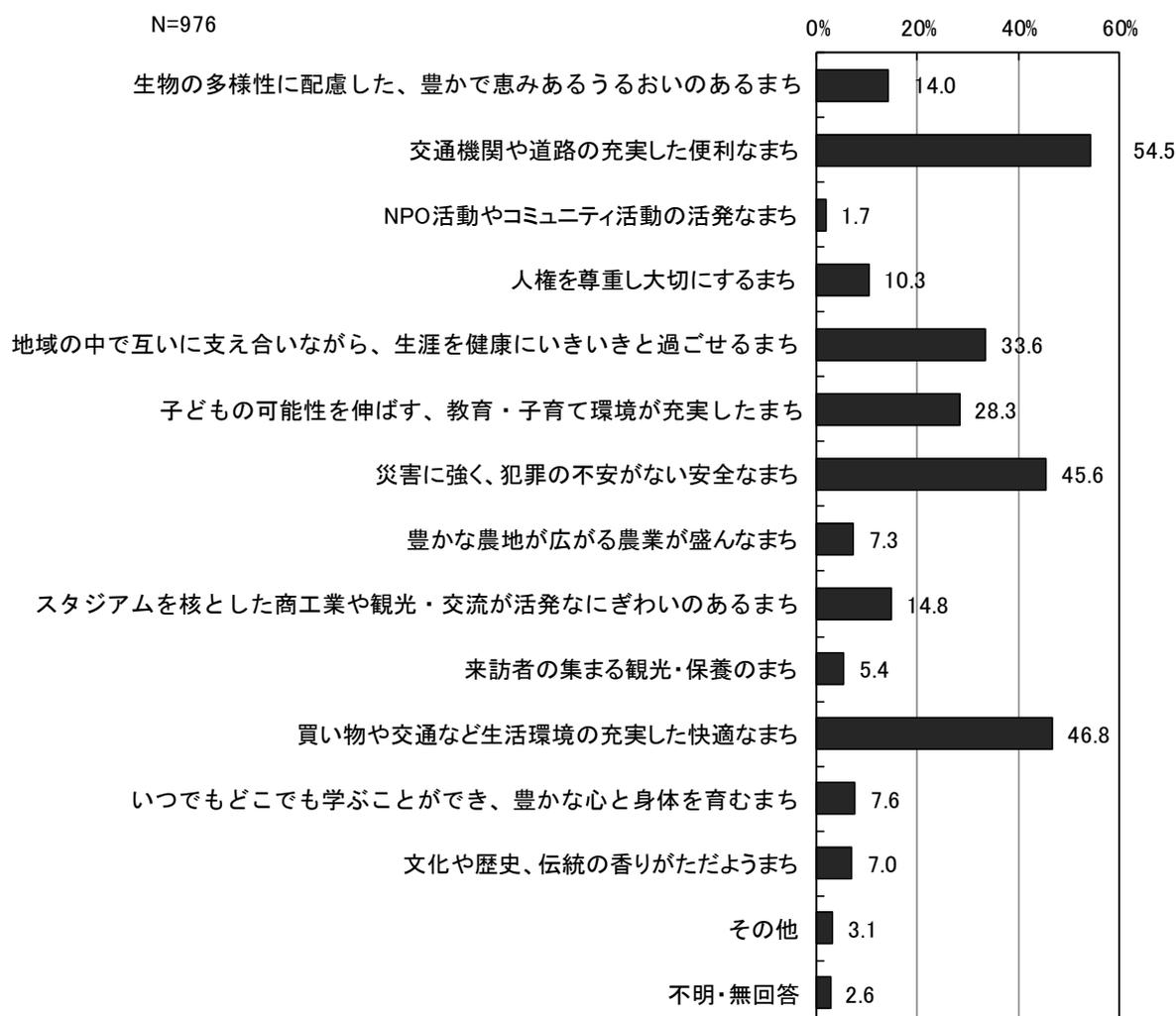
(1) 2030年の亀岡市は、どのようなまちであってほしいとお考えですか〈複数回答〉

〔問 27 2030年の亀岡市は、どのようなまちであってほしいとお考えですか。特にあてはまる番号を3つまで選んで、○をつけてください。「14 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

2030年の亀岡市は、どのようなまちであってほしいについては、「交通機関や道路の充実した便利なまち」が54.5%で最も高く、次いで「買い物や交通など生活環境の充実した快適なまち」が46.8%、「災害に強く、犯罪の不安がない安全なまち」が45.6%となっています。

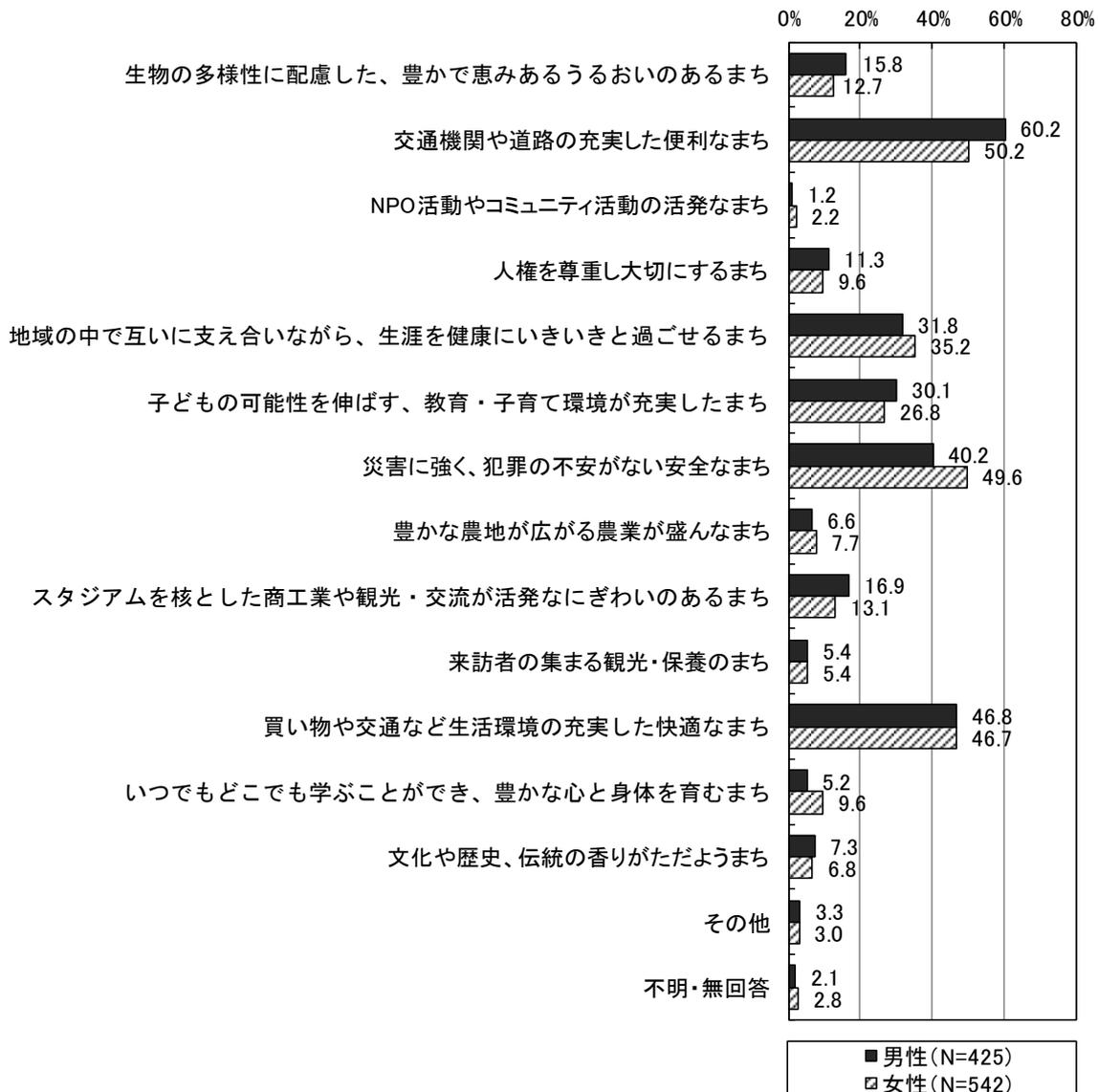
男女別にみると、「交通機関や道路の充実した便利なまち」について【男性】が【女性】を10.0ポイント上回っています。また、「災害に強く、犯罪の不安がない安全なまち」について【女性】が【男性】を9.4ポイント上回っています。

年代別にみると、【30歳未満】では「買い物や交通など生活環境の充実した快適なまち」が最も高くなっています。また、「子どもの可能性を伸ばす、教育・子育て環境が充実したまち」について【30歳以上50歳未満】が他の年代より20ポイント以上高くなっています。

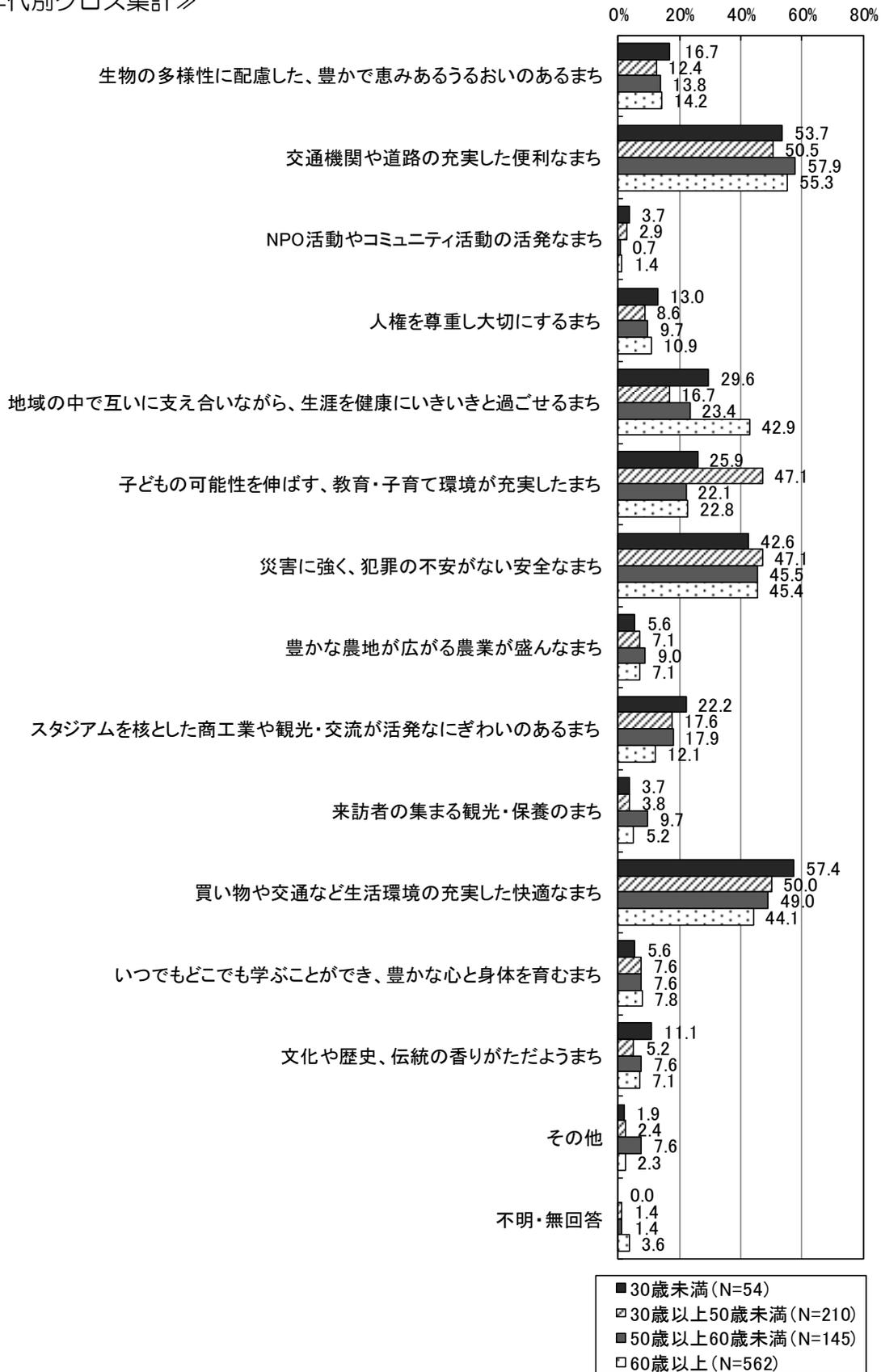


その他	件数
住みやすく・子育てしやすい、高齢者や子どもに優しく大切にすまち	8
病院、福祉施設、コミュニティバスの充実	7
商業施設・企業の誘致、雇用の充実	5
スタジアムの運営	2
スタジアムは不要	2
京都を支える町、亀岡ブランドが流通して賑わいを作って欲しい。	1
緑豊かな町	1
馬堀駅に快速を止めて欲しい	1
幼保小中一元化	1
国道9号線の渋滞解消、スタジアム後が心配です。	1

《男女別クロス集計》

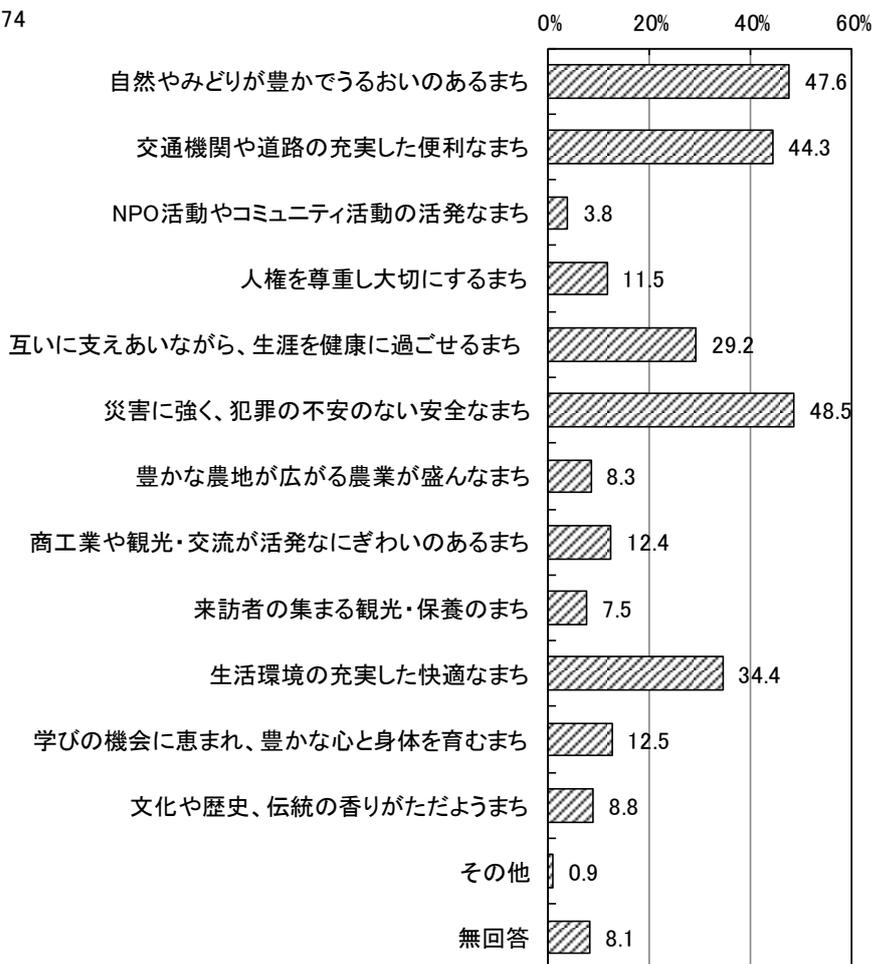


《年代別クロス集計》



《参考 前回調査》

N=1,074



※前回調査は、設問文・選択肢ともに今回調査と異なるため、参考として掲載。

※前回調査の設問文は「亀岡市が将来、どのようなまちであってほしいとお考えですか。」としている。

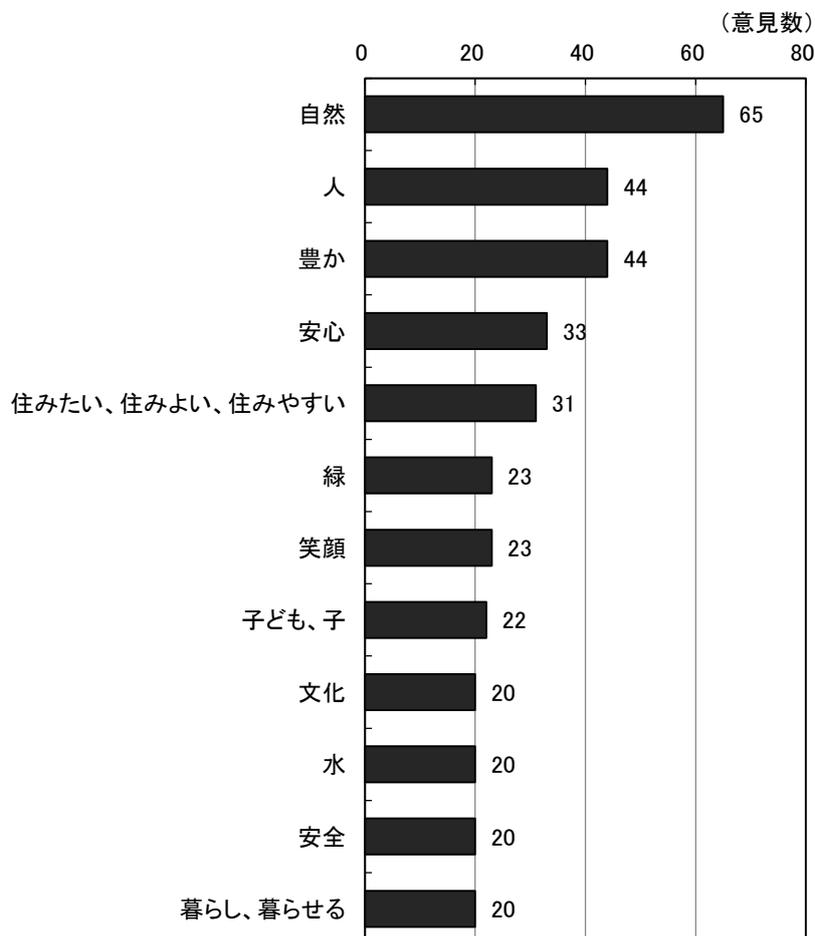
(2) 亀岡市の将来都市像をひとことで表現する良いキャッチフレーズ〈自由記述〉

〔問 28 あなたが期待する、亀岡市の将来都市像をひとことで表現すると、どのようなものになりますか。良いキャッチフレーズがあれば、ご提案ください。
(お書きいただいた内容は亀岡市が使用させていただく場合があります。)]

275 の有効回答を得ました。これらの下表のテーマごとに分類したところ、「主に人がテーマのもの」「複合的なテーマのもの」が最も多く 55、「主に自然や生活環境がテーマのもの」が 48 となっています。人に関するテーマ、テーマを組み合わせた複合的な将来像が多く、次いで自然や生活環境がテーマのものが増えてきています。

主に人がテーマのもの	55
複合的なテーマのもの	55
主に自然や生活環境がテーマのもの	48
主に安心ややすらぎがテーマのもの	40
主に発展や成長がテーマのもの	11
主に歴史・文化がテーマのもの	5
その他	61
計	275

また、回答結果に多く見られる言葉は次の通りで、「自然」が特に多くなっています。



主な記述内容

<主に自然や生活環境がテーマのもの>

- 自然を残しつつ、住みやすく発展させ続ける
亀岡
- 自然も心も豊かで、穏やかなまち
- 花や草木に囲まれて暮らすまち
- おいしい野菜、おいしい水

<主に人がテーマのもの>

- 支え合い、助け合うまち 亀岡
- 人に優しいまち
- 笑顔であふれ、輝くまち
- のんびり暮らせるまち

<主に安心ややすらぎがテーマのもの>

- 安心・安全に暮らせるまち
- くつろぎ、ホッとする癒しのまち

<主に発展や成長がテーマのもの>

- 向上し続け、躍進するまち
- 未来へ歩むまち

<主に歴史や文化がテーマのもの>

- 魅力あふれる歴史、文化薫る町
- 緑あふれる文化都市

<複合的なテーマのもの>

- 自然と歴史、文化の中で生きるまち
- スポーツと子育てが充実したのまち
- 発展と保護、共生のまち
- セーフコミュニティ、思いやりのまち
- きれいな水、青い空、まあるい心の多いまち、
かめおか
- 笑顔あふれる、心安らぐまち

<その他>

- 豊かな亀岡
- 環境の調和のとれた亀岡
- 亀岡よい街 亀望の街
- 幸福度ランキング 1 位のまち かめおか
- 自然と都市、過去未来が共存する町 かめおか
- ちょ〜どええ町 亀岡

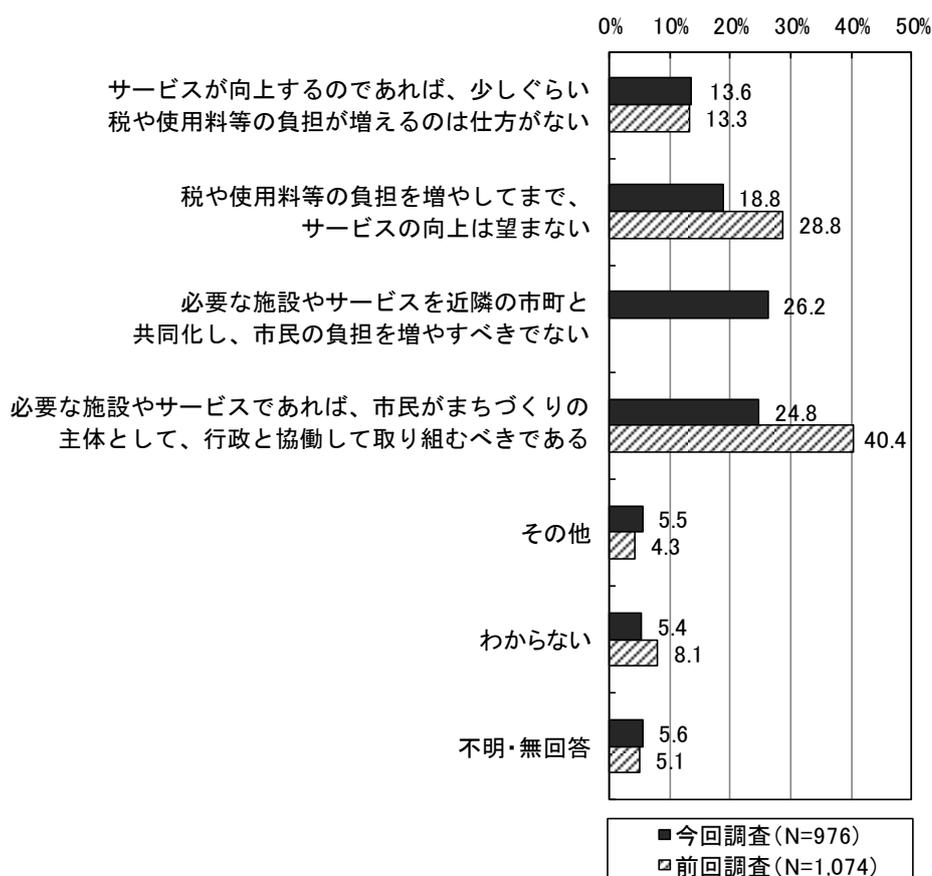
(3) 今後、新たな都市基盤の整備や市民福祉の向上を図るために市民の負担が増えることについて〈単数回答〉

〔問 29 地方自治体を取り巻く環境が厳しい中、効率的なまちづくりへの取組を進めているところですが、今後、新たな都市基盤の整備や市民福祉の向上を図るためには、市民の負担が増える可能性もあります。あなたはこれについてどうお考えですか。次のうちから番号を1つ選んで、○をつけてください。「5 その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記載してください。〕

今後、新たな都市基盤の整備や市民福祉の向上を図るために市民の負担が増えることについては、「必要な施設やサービスを近隣の市町と共同化し、市民の負担を増やすべきでない」が26.2%で最も高く、次いで「必要な施設やサービスであれば、市民がまちづくりの主体として行政と協働して取り組むべきである」が24.8%となっています。

男女別にみると、【男性】では「必要な施設やサービスであれば、市民がまちづくりの主体として、行政と協働して取り組むべきである」が最も高くなっています。また、「サービスが向上するのであれば、少しぐらい税や使用料等の負担が増えるのは仕方がない」について【男性】が【女性】を8.4ポイント上回っています。

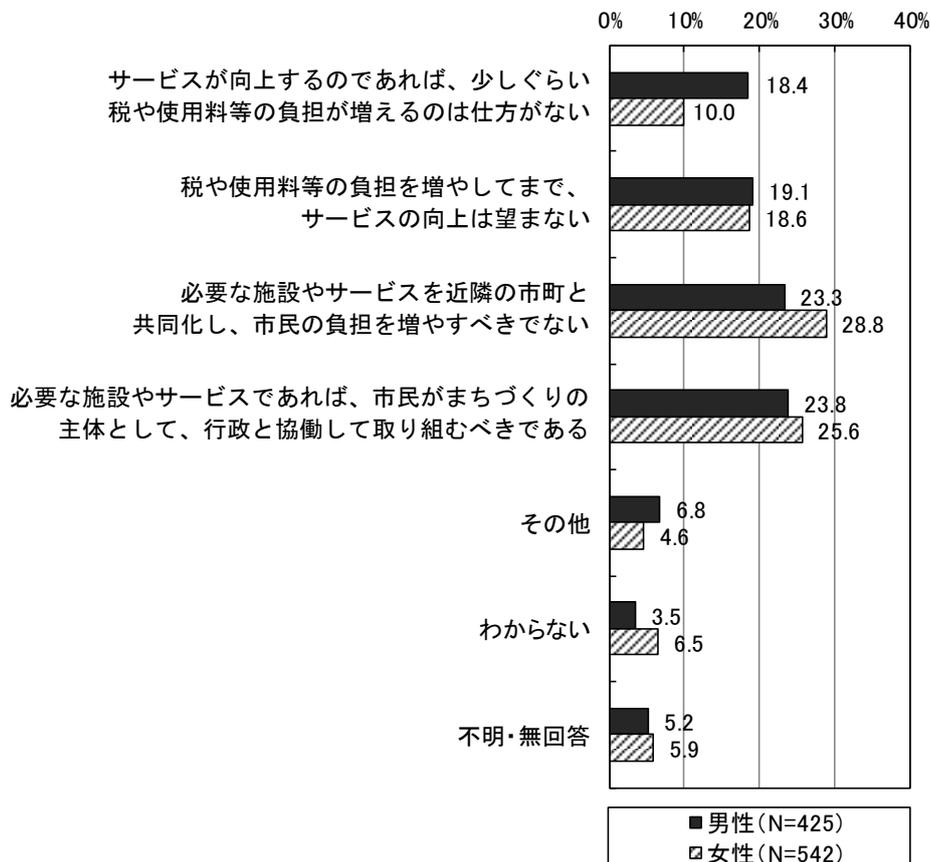
年代別・居住年数にみると、【60歳以上】【30年以上】では「必要な施設やサービスであれば、市民がまちづくりの主体として、行政と協働して取り組むべきである」が最も高くなっています。



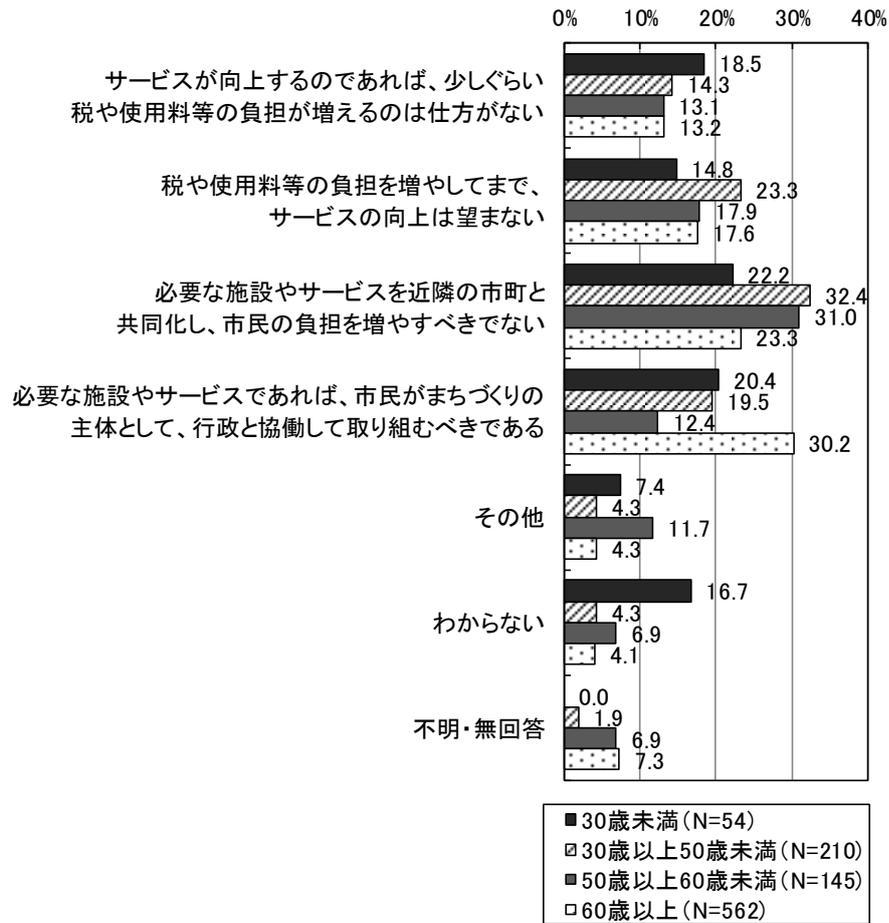
※「必要な施設やサービスを近隣の市町と共同化し、市民の負担を増やすべきでない」は今回調査のみの選択肢。
 ※単数回答に対して選択項目が増えたため、前回調査の数値は参考として掲載。

その他	件数
税金・市職員・給与、削減できるものを削減してから市民に負担をさせるべき	20
サービスの維持、向上、効率化	4
道路整備・都市計画のための増税ならいいが、スタジアム建設で負担が増えるのは反対	3
福祉、生活保護、母子手当、子育て支援の拡充	3
工夫や知恵で解決できるのでは	3
負担についての明確化	2
企業誘致、情報発信	2
サービスの利用者、観光客が負担すればいい	2
相応の負担はやむを得ない	2
郊外には公的施設があるが、市街中心部には利用できる公的施設は少ない	1
子ども達の安心、住宅を安くできるなら30代がいっぱい住んでくれると思う	1
市民から税金を取っても反論されないものをつくるべき	1
幼少期より、老後を自立、自尊の生活を送るための教育を実施していく事が大切	1
今の亀岡は何をしてもだめ！！	1
元気な高齢者を増やせば、介護保険や医療費が減らせる	1
大きく税金を納めているのに陸の孤島の市では人口が減る一方。早期対策を	1

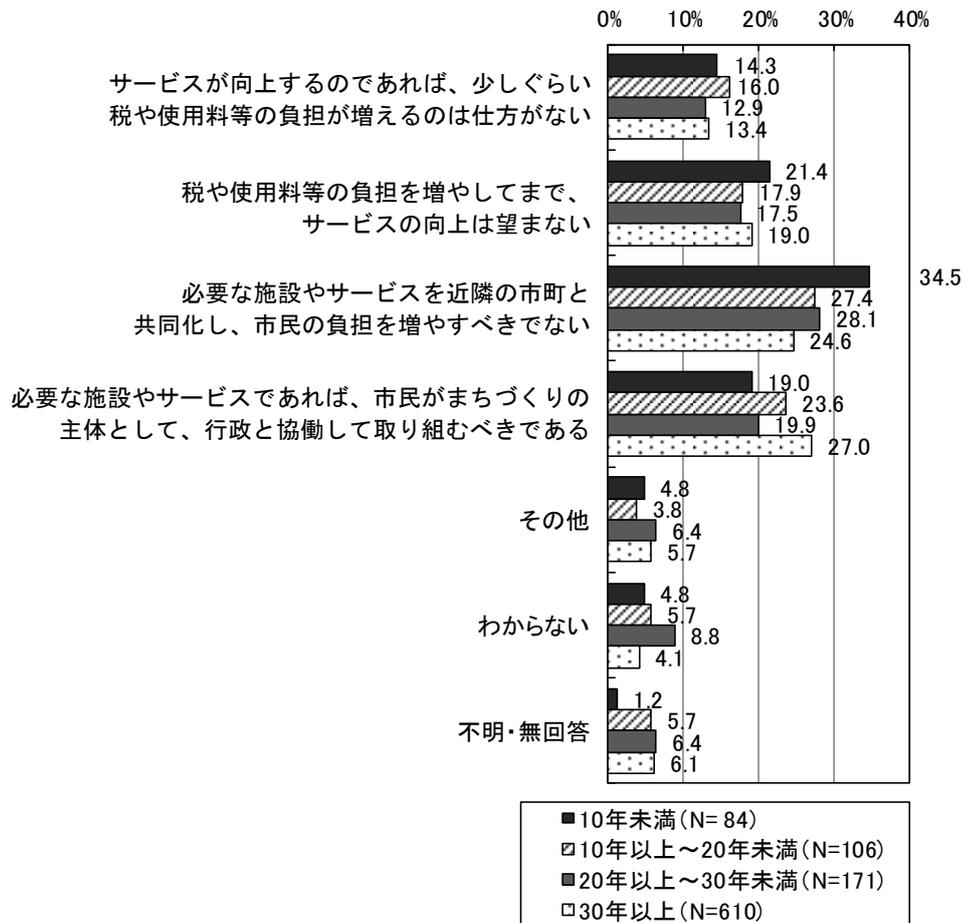
《男女別クロス集計》



《年代別クロス集計》



《居住年数別クロス集計》



**第5次亀岡市総合計画策定に係る
亀岡市まちづくりアンケート
【結果報告書】**

令和元年 12 月

発行：亀岡市 企画管理部 企画調整課

〒621-8501
京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL：0771-25-5006（直通）
FAX：0771-24-5501